

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	読むことの領域では、各教材の冒頭に「問い」が示され、中心的な学習活動が捉えやすくなっており、「見通す」「つかむ」「読み深める」「考えを持つ」「振り返る」の流れの「てびき」と、学習のポイントが示された「言葉の力」を活用することによって、学習目標が達成されるよう、よく工夫されている。
	2	各教材で、同世代のキャラクターから生徒に向かって問いかけるように「問い」を示すこと①で、主体的に思考が始まるよう、よく工夫されている。(2年 p.132 など)
	②	各学年に「対話の学び」のページを設定し、話の聞き方・質問の仕方、異なる考えの聞き方、合意形成の仕方のポイントを学び、対話で考えを深めながら学習が進められるように、とても配慮されている。(3年 p.202 など)
	③	各学年の巻頭の折り込みに「未来への扉」として九つのテーマを示し、そのテーマに関する教材で学んでいけるよう構成が、よく工夫されている。
	3	1年 p.174 『似ている言葉』スピーチ、2年プレゼンテーション、3年条件スピーチに、実写動画や具体例の資料がデジタルコンテンツとして掲載されており、ポイントが視覚的に確認できるよう、よく工夫されている。
	4	「読書への招待」では、作家、声優、宇宙飛行士など、多様な方の読書経験が、充実している。(3年 p.178 など)
	5	2年 p.68 「地域の魅力の紹介」など、地域や社会に目を向け、よりよく生活していくことについて考えを深めるよう、よく工夫されている。
	6	1年 p.118 「私のタンポポ研究」など、身近な自然や生物について考えを深めるよう、工夫されている。
	7	2年 p.106 「サハラ砂漠の茶会」など、他国の文化を尊重し、自国の伝統や文化について考えを深め、他国を尊重する態度や言葉への認識が養われるよう、よく工夫されている。
	8	多様性への配慮として、登場する4人の生徒のキャラクターに多様性を持たせてあり、よく配慮されている。(1年 p.5 など)
教科書展示会等の結果 (学校 12 一般 2 生徒 9 合計 23)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が1番読みやすいと感じた。文章の行ごとに印となるドットが付いているので、○行目の指示がしやすいと感じた。 ・生徒キャラクターの問いから始まるのが授業を組み立てるのに良いと感じた。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードで資料が児童自ら見ることができるようになり、自分で課題を設定し、自ら学ぶような作り方になっていると感じた。 ・1つ1つの教材にテーマがありとても良いと感じました。てびき等も以前より良くなっているという印象です。資料編が少し物足りないという気がします。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵や字が大きくて分かりやすい。色分けの色の部分が多くて見にくいところある。 ・見やすく触り心地がいい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
この教科書は、4人の中学生のキャラクターの「問い」が、中心となる学習課題となっているため、各教材で何を学習していくのが理解しやすく、よく工夫されている。さらに、語句に関する学習の「日本語探検」では、キャラクターの会話で興味・関心を持たせる工夫がいたるところに施されている。加えて、デジタルコンテンツの資料を活用し、内容の充実を図りつつも頁数を削減して、教科書の重さが生徒の負担にならないような教科書づくりを実現させている。		

発行	観点	調査結果
三省堂	1	読むことの領域では、教材の冒頭で目標と学習のポイントを色で囲い強調して意識させ、学習の手引き「学びの道しるべ」に、「構造や内容を捉える」「読みを深める」「自分の考えを深める」「学びを振り返る」の流れで学習活動を配置することで、学習目標が達成されるよう、よく工夫されている。(1年 p.34、35 など)
	2 ①	学習の手引きの最後の「学びを振り返る」には、振り返りのキーワードが端的に示されており、学習の目標に沿った振り返りができるよう、とても配慮されている。(2年 p.59 など)
	②	各学年の初めの単元にグループディスカッションの学習活動を配置し、各学年の発達段階に合わせた考えを広げたり深めたりする話合いのこつを身に付け、その後の学習に活用できるよう、とても配慮されている。
	③	「情報に関係づける」という単元が生まれ、情報の扱い方についての解説を漫画で示し、学年のテーマごとにデータ分析や吟味、複数の章の読み取りを踏まえて、自分の考えを書いたり発表したりする深い学びにつなげられるよう、よく工夫されている。
	3	文法や漢字ドリルのデジタルコンテンツがあり、また、漢字のクイズも掲載されており、漢字に興味を持てるよう、よく工夫されている。
	4	1年 p.98「1000円の価値を考える」には、現代の生活と深く関連する金融・消費者教育に関するものが取り上げてあり、よく工夫されている。
	5	2年 p.230 単元「地域の魅力を振り返って」での情報誌の作成は地域の発展に寄与する態度を育成するものとして、適している。
	6	2年 p.190「動物園でできること」では、動物と人間の共存の方法について考えられるように、また、3年 p.100「フロン規制の物語」では、科学と社会との関係について考えられるよう、配慮されている。
	7	3年 p.56「間の文化」では日本文化の特徴に気づき、p.88「海を越えた故郷の味」では他国の文化を尊重する態度が養えるよう、とても配慮されている。
	8	1年 p.190「意味と意図—コミュニケーションを考える」では、互いを理解することの難しさと大切さを考えられるよう、とても工夫されている。
教科書展示会等の結果 (学校 10 一般 1 生徒 8 合計 19)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・情報の扱い方という新しい教材が面白そうだった。 ・本市で使っているタブレットの思考ツールの使い方がリンクしていて良いと感じた。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・色つかいが、とても良いと感じました。1年生の最初の教材文「竜」ですが、導入教材としては少し長いと感じました。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・昔の文豪の作品が載っていて今まで見てこなかった新しい視点で見られるような気がした。 ・詳しくまとめており今の状況がわかりやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
この教科書は、説明的文章と文学的文章の系統を踏まえた読解方法を整理し、それを文章の「読み方」として示して読み深めるところに、とても工夫がある。さらに、「読み方を学ぼう」の頁には二次元コードで解説動画が掲載されており、必要な時に繰り返し見られるよう配慮されている。加えて、思考の深め方も「思考の方法」として具体的にチャート(図)と共に示し、どのような場面でどのように情報を整理して考えるのかわかりやすく示されている。		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	読むことの教材文の前や、話すこと聞くこと、書くことの活動の前に、その教材で「何を学ぶのか」を確認させる「学びナビ」を示し、学習のポイントへの意識を高めて学習できるように、工夫されている。
	2	読むことの領域の「学びナビ」において、文学的な文章と説明的な文章、それぞれの読み方を系統立てて進められるように、前の教材での学びを振り返られるよう、配慮されている。
	①	1年の初めの単元で「聞くということ」の教材文を読み、次に「お気に入りの一品を紹介する」というペアや対話の学習活動を配置し、対話的な学び実現のために、とても配慮されている。
	②	各学年に総合SDGs「持続可能な未来を創るために」を設定し、社会の課題に気づくような資料と本質を問う問いを示すことで、持続可能な社会の実現に向けてより深く考えられるよう、よく工夫されている。
	③	多様なテキストを組み合わせて読むことを通して、自分の考えを書く「学びのチャレンジ」の問題を掲載し、読解力の向上を確かめられるよう、よく工夫されている。
	3	1年 p.208「言葉がつなぐ世界遺産」p.218「地域から世界へ」では、伝統的なものづくりをどう発展させていくかについて深く考えられるよう、よく工夫されている。
	4	2年 p.71「社会で求められる表現」では提案書の書き方を示し、社会で必要とされるコミュニケーション能力について意識させるよう、工夫されている。
	5	3年 p.224「生命とは何か」p.22「地球は死にかかっている」では地球上の生命について、課題を意識して深く考えられるよう、よく工夫されている。
6	1年 p.208の「言葉がつなぐ世界遺産」では、技術の伝承において言葉での記録の果たす役割の大切さを感じられるよう、工夫されている。	
7	2年 p.99「どう思いますか—新聞投書から言葉を考える」では「障害」という言葉について深く考えるように、また、p.102『『ここにいる』を言う意味』ではマイノリティへの理解について考えるよう、よく工夫されている。	
8	教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 0 生徒 7 合計 13)	
	【学校】	<ul style="list-style-type: none"> ・質が高くおもしろいと感じたが、本校の生徒にはレベルが高すぎると感じた。 ・珍しい教材が多いが、古典などで選ばれている部分があり良くない。図が見づらい。
	【生徒】	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文の時、1ページが2つに分かれているのは見やすいけど、絵や写真がもっとあったら楽しく読める。 ・ひとつひとつが分かりやすかった。
選定委員会の意見		
この教科書は、教材文の前に、「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」を示し、「何ができるようになればいいのか」見通しを持って学ばせ、その力を日常に生かせるように、工夫されている。さらに、教材文も、現代が抱える課題について深く考えさせるようなメッセージ性に富むものが多い。加えて、多様な表現形式の情報を扱っており、生徒に様々な媒体や手法について学習させ、情報の扱い方や活用能力が高まるよう、工夫されている。		

発行	観点	調査結果
光村図書	1	教材文の冒頭に中心となる学習活動と目標を示しておき、学習の手引き「学びへの扉」には、「見通しを持つ」「捉える」「読み深める・考えを持つ」「振り返る」という学習の流れを、1 ページに横書きで図示し、身に付けさせたい事項の活動を色付きで強調して示すことで、学習目標が達成されるよう、よく工夫されている。
	2	振り返りが、知る、読む、つなぐの3観点で示され、何ができるようになったか自己評価でき、学んだことの価値や活用法を考えられるよう、工夫されている。
	②	「話すこと・聞くこと」の学習では、動画や音声の視聴から始まる学習活動となっており、対話を通して学ぶ映像に触れ対話的に学べるよう、とても配慮されている。
	③	「情報×SDGs」の単元を各学年に設定し、情報を集めて行動宣言をまとめたり、災害時の情報収集等について考えを深めたり、実用文を読み取って生活への生かし方を考えたりする活動を示すことで深い学びが実現できるよう、とても配慮されている。
	3	音声や動画などのコンテンツだけでなく、「国語の力試し」CBT 問題や、「書くことのミニレッスン」問題を設定するなど、書き込みや自己採点が可能なデジタル教材が、とても充実している。
	4	「いつも本はそばに」の中で、研究者や調律師など様々な職業との出会いを通して、自分を見つめながら読書できるように、工夫されている。
	5	1年 p.132「適切な根拠を選んで書こう」では、地域や社会の課題に気づき、それについて考えを深められるよう、よく工夫されている。
	6	2年 p.42「クマゼミ増加の原因を探る」など、研究者の何年もの実験や観察の過程に触れ、生物の生態と人間や地球の環境との関係について学べるよう、工夫されている。
	7	「季節のしおり」で詩歌や季語、「言葉を味わう」では動作や様子、色や時を表す和語を示し、美しい日本語に触れることができるよう、よく工夫されている。
	8	2年 p.192「いつも本はそばに」ではテーマに沿って、外国ルーツの方や障がいのある方などの文章が提示され、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校 12 一般 3 生徒 6 合計 21)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードの更なる充実で刷新されている。問題解決のための言葉の力をつけさせる教材が増えている。 ・SDGsに関連する内容が分かるように目次に工夫がしてあり、生徒に意識づけさせるのに有効だと思った。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料編はまとまっており良いと感じました。てびきが縦になっているので、わかりにくさがあると感じました。 ・光村図書の国語で、伊坂幸太郎さんがあるのがすごくうれしいです。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いろいろなことが分かりやすくギュッと詰まっている。でも、もう少し広くスペースがあったらもっと分かりやすい。 ・シンプルで見やすい。 		
選定委員会の意見		
この教科書は、学習活動の流れと学習のポイントである「学びのカギ」が見開きで図示しており、どんな流れで学習を進めればいいのか一目で分かるよう、よく工夫されている。さらに、作者や筆者のインタビュー動画や活動例の動画コンテンツも充実している。加えて、「話すこと・聞くこと」の学習の導入に二次元コードからの動画を取り入れ主体的に学べるよう、よく工夫されている。		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 16 一般 0 生徒 14 合計 30)

【学校】

- ・長年掲載されている文章が概ね残っているので安心した。特に文学の名作は高校で学習しない生徒もいるので、しっかり読み味わわせたいと思う。
- ・どの教科書も、ICTの活用を視野に入れてあり、活用しやすくなっていると感じた。全体的に見やすいデザイン、カラー資料が豊富だが特に古典資料は現行のものより更に見やすく工夫されていると感じた。
- ・どの教科書も分厚い。
- ・将来的に、国語の教科書は、生徒に合わせて、地区で採用できるようになればいいと思う。
- ・どの教科書も表紙が素敵で手に取りたくなくなりました。もう少し資料を精選して薄くしても良いと思います。
- ・全体的に前年度とそこまで変わりがないように感じました。もう少し、時代に合わせた作品に変えていいと思います。特に、説明的文章。
- ・どの教科書もQRコードが単元毎についており、資料の提示が分かりやすいと思った。
- ・活動の過程を生徒が視覚的にわかるように工夫されていると思いました。
- ・現代の課題（環境問題等）を踏まえた内容が多く、生徒が自分の考えや意見を持つことをねらった意図がうかがえた。また、各領域で身につけさせたい力を生徒たちもわかるように学習内容が整理されており、学習をスムーズに進めることができると感じた。
- ・SDGsと絡めて単元ごとの課題や資料があり、総合的な学習や社会科との教科横断的な指導などに生かせそうだったと思った。
- ・小学校とのつながりや、一年間で学ぶ学習用語、思考方法などが付録として掲載してあるものは、振り返り等に使いたいと思った。
- ・どの発行者も資料が充実しており、とても見やすかった。
- ・どの出版社も新しいものを取り入れているところは素晴らしいと思いました。ただ昔からの慣れ親しんだ教材がなくなっているのは寂しくなりました。現代の文章もいつかは古くなるので、何年も残っている名作をもっと残しておいた方がいいと思います。
- ・全体的に、教科書が簡略化され、見やすくなっていた。
- ・どの教科書会社も、学習指導要領や時代に応じた教材、単元を取り入れてブラッシュアップされていると感じました。

【生徒】

- ・絵が良くて中身が分かりやすかった。
- ・最初のページの詩や、デザインがいいと思った。
- ・絵が良くて、内容の字や物語などがわかりやすかった。国語を選択し、上の文と同じ理由なのです。
- ・今の教科書より表紙の絵が鮮やかになってとてもいいと思った。国語の教育出版と科学の学校図書の絵が今風でいいと思った。来年から採用してほしい。
- ・全体的に内容がわかりやすくまとめやすそうだった。
- ・表紙から目を引くもので、内容もとても興味深いものが多くてぜひ使って学習してみたいと思った。
- ・それぞれの個性が出ていてとても迷いました
- ・表紙が、どれもいろいろあって、イルカやペンギンが空を飛んでいたりして、夢があるなと思いました。中身は、重要などころの見分けがよくつくように色が濃ゆくていいと思いました。
- ・見やすかった 色が結構ついていて大切な所がわかりやすかった。
- ・表紙が色々違ってすごかったです。
- ・色んな写真や絵があっいい。
- ・デザインがさまざまなものがあって見ていて楽しかったです。
- ・文字や見出しがとてもわかりやすいです。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	学習の展開が「1 見つけよう」「2 確かめよう」「3 生かそう」の3つのステップで構成されており、指でなぞる活動や「書写のかぎ」のキーワードを示し、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用ができるよう、よく工夫されている。
	2	学習の進め方とポイントを1頁にまとめ、楷書と行書を比較して考える構成となっており、生徒がめあてや見通しを持ちやすいよう、工夫されている。
	②	「生活に広げよう」の「手紙を書こう—お礼状」や「年賀状を書こう」などでは、書写で学習したことをどのように生かすかを話し合う活動があり、対話を促すよう、よく工夫されている。(p. 22 など)
	③	「楷書と行書の使い分け」では、どの観点から考えたかを整理する活動があり、場面や目的に応じて情報を精査して考えを形成する学習として、適している。(p. 62～63)
	3	高等学校の生徒の活躍や篆刻を紹介し、高等学校の取組への関心につながるよう、工夫されている。(p. 104)
	4	「さまざまな書式」では、入学願書や履歴書、複写式用紙を示し、将来的に必要な書く場面が想起されるよう、よく工夫されている。(「書写活用ブック」p. 12 など)
	5	「地域の活動に参加しよう—防災訓練」では、書写の学習を地域の活動に生かす場面を紹介し、地域の一員として社会に関わる意識が高まるよう、よく工夫されている。(p. 65～67)
	6	「時候の挨拶」は、四季に対する興味・関心が高まるよう、とても充実している。(「書写活用ブック」p. 6～7)
	7	「本のポップを書こう」では、本の紹介の例として日本の伝統料理を取り上げ、日本の伝統食に対する関心を育むよう、工夫されている。(p. 61)
	8	服装に性別の区別がないイラストを示し、多様な生徒へ、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果（学校 2 一般 なし 生徒 2 合計 4）		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・手本が少なく、難易度は高すぎる。 ・硬筆ノートを別に購入する必要がある、扱いにくい。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・すごく表紙が可愛い。 ・かわいい 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、この伝統的な文字文化を継承し、これからの社会生活に生きる書写の力を身に付けるための基礎・基本となる知識や技能について、学習指導要領の内容を踏まえ、系統的・発展的にきちんと押さえてある。さらに、各単元の学習事項が焦点化されており、知識・技能の習得を図ることができ、既習事項と比較することで学習課題を捉える展開となっており、生徒がめあてや見通しを持てるように工夫され、主体的に学習に取り組むことができる。加えて、各教科や生活で積極的に生かすための単元も多数設定されており、書写の学習で身に付けた資質・能力を生かすという点で工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
三省堂	1	学習の展開について、まず「書き方を学ぼう」で毛筆の学習のポイントをつかんで書き、次に「書いて身につけよう」で学んだことを硬筆で繰り返し書いて確かなものにするという2つのステップになっており、基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用が、工夫されている。
	2	「この教科書の使い方」では、学習の流れが見開きで示され、学習者が進め方を確認できるよう、工夫されている。(p.4～5)
	②	各学年末の教材の「やってみよう」で、グループ新聞や情報誌、名言集を読み合っって推敲する活動が設定されており、協働的な活動により対話を促すよう、工夫されている。(p.44 など)
	③	「振り返ろう」では、学習したことを汎用的に用いることで学習が身に付いたかどうかを確認できるよう、多様な問いが設定されており、よく工夫されている。(p.21 など)
	3	「書写の広場」では、毛筆補充教材として楷書と行書の題材例を並べて示し、補充的な学習ができるよう、よく工夫されている。(p.87～89)
	4	「身の回りの文字」では、印刷工やイラストレーターなど、文字を扱う仕事を複数紹介し、仕事に関する興味・関心を広げられるよう、とても工夫されている。(p.70～71)
	5	「情報誌を作ろう」では、地域の魅力を伝える情報誌を作成する活動を通して、地域の一員として社会に関わろうとする意識が高まるよう、工夫されている。(p.64～65)
	6	「学力テスト問題」の設問では、自然に関するものが多く示されており、日本の自然を愛する心を育まれるよう、工夫されている。(p.66～67)
	7	「書いて身につけよう 47都道府県名」では、文字と共に各都道府県の地図や特産物のイラストも示されており、郷土の関心が深まるよう、工夫されている。(p.52～53)
	8	「グループ新聞を作ろう」では、例として「きずな新聞」を示し、学校行事で協力した内容を伝え、集団の一員として学級に関わる意識が高まるよう、よく工夫されている。(p.44～45)
		教科書展示会等の結果（学校 なし 一般 なし 生徒 4 合計 4）
		【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・表紙が神秘的で可愛かった。 ・表紙がすごく綺麗で興味がわく。 ・リアルでいい ・猫が欲しい
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、各単元において、まず書き方のポイントをつかみ、それが題材のどの部分に表れているかを見つける展開になっており、めあてや目標を意識できるよう、工夫されている。さらに、硬筆で書くページが充実しており、日常的な活用を図ることができる。加えて、学習の振り返りでは、学習したことを汎用的に用いる活動が設定され、身に付けた力が活用できたかどうかを学習者が確認できるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	「書写テストで確認」では、3年間で身に付けた力が理解できたかをテストに回答することで確認できるよう、工夫されている。(p.116～117)
	2 ①	「書写をとおして学んでいくこと」では、3年間で身に付ける力を図解で示し、学習者が見通しを持てるよう、工夫されている。(p.12)
	②	「学習の進め方」では、「振り返ろう」で相互評価をする活動があり、「話し合い活動をとおした学び方」について詳しく説明され、生徒が学習用語を使って意見を交換できるよう、よく工夫されている。(p.10～11)
	③	「学習を生かして書く」では、「まとめ書きと応用」があり、身に付けた力を汎用して書いて確かめるよう、よく工夫されている。(p.31など)
	3	補充教材集として、「楷書」「行書」「仮名との調和」の題材例や語句例が示され、補充的な学習が取捨選択できるよう、よく工夫されている。(p.134～136)
	4	「書式の教室」では、小包伝票や志願理由書などの書き方を示し、生活や将来に生かせるよう、よく工夫されている。(p.113～115)
	5	「学習を生かして書く 掲示物（ポスター）に案内を書く」では、地域の清掃活動の案内を示し、地域の一員として社会に関わる意識が高まるよう、よく工夫されている。(p.92)
	6	「生活に生かそう」での千羽鶴の短冊(p.78)や「多様な表現による文字」の「祈り・伝統」の例(p.100)など、生命を尊び、平和を希求する心が育まれるよう、工夫されている。
	7	熊本に関連する資料として、夏目漱石や細川ガラシャ(p.53)、「熊本県鞠智城跡」(p.103)を示し、郷土への関心が深まるよう、とても充実している。
	8	毛筆手本の頁は、枠内に掲載する情報を少なくし、全ての学習者が集中して取り組めるよう、とても配慮されている。(p.46など)
		教科書展示会等の結果（学校 2 一般 なし 生徒 2 合計 4）
		【学校】 ・他とサイズが少し違うので、整理の面では、しにくいかも。 ・教育資料は多いが、手本は少ない。 【生徒】 ・字が綺麗。 ・原始的
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、伝統的な文字文化を継承し、これからの社会生活に生きる書写の力を身に付けるための基礎・基本となる知識や技能について、学習指導要領の内容を踏まえ、系統的・発展的にきちんと押さえてある。さらに、各単元において序盤に硬筆の試し書き、終末でまとめ書きがあり、その比較を通して毛筆の知識・技能の習得が確認できるようになっており、工夫されている。加えて、国語や生活で積極的に生かす活動や事例が多く示されており、書写の学習で身に付けた資質・能力を生かすという点で工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
光村図書	1	導入の「考えよう」では、教科書に書き込んで課題について考えるようになっており、学びのポイントを確認する前にまず自分で考えるよう、とても配慮されている。
	2 ①	「学習の進め方」では、学習の進め方とタブレットの活用が上下段の見開きで示され、学習者が自分で進め方を確認できるよう、よく工夫されている。(p. 34～35)
	②	「学習の進め方」では、話し合いや確かめ合いなどの学習において、写真を多用して対話が意識されるよう、よく工夫されている。(p. 34～35)
	③	「楷書と行書の使い分け」や「文字の使い分け」では、選択した理由やその効果について考える活動があり、情報を取捨選択し他者の意見と比較しながら自分の考えを形成する学習として、適している。(p. 78 など)
	3	補充教材として、学年ごとに毛筆の題材例や硬筆のなぞり書き、二次元コードを用いた題材例が示され、補充的な学習ができるよう、よく工夫されている。(p. 152～164)
	4	「職業ガイドを作ろう」ですし職人(p. 86)、「文字の使い分け」で気候学者(p. 94)を紹介し、様々な職業観を育むことができるよう、よく工夫されている。
	5	コラム「全国フォント見つけ隊」では、地域の特徴を反映したフォントの制作を通して、地域の人々と思いを共有できる喜びに触れ、協力して社会を形成しようとする態度が育まれるよう、よく工夫されている。(p. 82)
	6	「SDGs×書写」で、SDGs の視点で取り組める事例を示し、「レポートの書き方」の事例でSDGs との関連を示すことで、書写を通じて環境について考えるよう、よく工夫されている。(p. 33、115 など)
7	熊本に関連する資料として、「くまもと本丸ゴシック」(p. 83)、「特別史跡熊本城」の文字 (p. 93)、熊本県南阿蘇村の避難所訓練の写真(p. 99)を示し、郷土への関心が深まるよう、よく工夫されている。	
8	「中学書写スタートブック」では、右利き・左利きの動画を二次元コードで示し(p. 31)、「書写ブック」では、書く欄を手本の下に配置するなど、とても配慮されている。	
教科書展示会等の結果（学校 2 一般 なし 生徒 5 合計 7）		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・使いやすいが、もっと手本がほしい。 ・資料が扱いやすい。ノートと一緒にしているので、硬筆練習ができるのはありがたい。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・漫画があって面白く、読みやすく集中できて勉強できるからとても良いと思った。 ・書くところの冊子とお手本、基本がかかっている冊子に分かれていて、いろいろな用途に使えるなと思った。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、各単元の学習事項が明確で、焦点化されており、学習者の思考の流れに沿って知識・技能の習得を図ることができるよう、配慮された展開となっているため、主体的に学習に取り組むことができる。さらに、学習の過程で生じると予想される疑問や意見について触れ、毛筆を学ぶ意義や手書きを学ぶ目的を考えるよう、工夫されている。加えて、各教科や生活で積極的に生かすための単元や例も多数示されており、書写の学習で身に付けた資質・能力を生かすという点で、工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 3 一般 0 生徒 4 合計 7)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・活用しやすい・各学年の書写の手本をもっと増やしてほしい。・日常生活の中で生徒が文字言語の美しさ等を意識し、実生活で使っていくことを重視した内容だと感じた。一冊にまとめてあるので、3年間学ぶ内容が一目でわかり、系統性を意識した授業展開が期待できる。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none">・表紙のデザインがとても良くて中身も興味が湧いてとてもいいと思いました。漫画のようにわかりやすく、読みやすいようにしたらいいと思います。・表紙と中身にイラストを多く取り入れて、読みやすいものにして欲しい。・字が綺麗に書ける気がするし描きやすい・表紙がいい

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	章ごとの単元を貫く「探究課題」が示され、「地理のミカタ」で分かりやすく視点が示されている。また、地理的な見方・考え方を働かせる場面が設定されており、課題解決学習になるよう、よく工夫されている。(p.9、13など)
	2	節末の「州(地方)の学習をまとめよう」では、知識の確認や課題について整理・表現する活動が設定され、学習を振り返ることができるよう、よく工夫されている。(p.74など)
	①	
	②	「みんなでチャレンジ」では、グループでの意見交換や協働学習の場が設定され、対話的な学びが行えるよう、よく工夫されている。(p.15、21など)
	③	節末のまとめの頁に「見方・考え方を働かせて探究課題に答えよう」の学習活動が設けられ、地理的な見方・考え方を働かせながら、対話的な学びを通して、深い学びが実現できるよう、よく工夫されている。(p.21、55、75、195など)
	3	世界や日本の諸地域の学習では、地域を大観する動画コンテンツが準備されており、生活経験が異なる生徒に単元の導入でイメージを持たせるよう、よく工夫されている。(p.62、185など)
	4	地域的特色と関連のある人物のインタビュー等が多数掲載されており、人々の生活や職業について考えることができるように、工夫されている。(p.37など)
	5	第4章持続可能な地域の在り方では、「スキルアップ」で地域の課題を見つけるヒント、主張の整理の仕方、プレゼンテーションソフトの活用、動画を使った発信の仕方が丁寧に説明しており、社会参画意欲を高めるよう、工夫されている。(p.270～279)
	6	九州地方における「環境と開発の両立を目指して」の学習では、本文に水俣市の過去と現在に関する記述がある。加えてゴミを分別する写真も掲載されており、持続可能な社会について考えることができるよう、よく工夫されている。(p.193)
	7	領土に関する記述では、学習指導要領に基づき、日本国の立場が明確に記されている。写真や地図を用いて、資源に着目した地理的な特色を解説するなど、配慮されている。(p.28～29)
8	オセアニアの学習では、チャイナタウンに住む人々や、先住民の権利の尊重についての記述があり、多文化社会を学ぶために工夫されている。(p.137)	
教科書展示会等の結果 (学校3 一般0 生徒2 合計5)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・1時間の構成が、①導入資料 ②学習課題 ③本文 ④チェック&トライという構成になっており、とても取り組みやすい印象を受けた。 ・流れや配慮などが良い。バランスが良い。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに大きな写真があり、こんな感じとイメージしやすかった。 ・表紙のデザインが好み。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>社会科の目標及び内容の達成が十分に図られるよう構成されている。特に、世界の諸地域や日本の諸地域の学習では、導入頁に中学生のコメントが記述されており、生徒の興味を喚起できるよう、とても配慮されている。さらに、節を貫く探究課題が設定されており、1時間ごとの学習課題、節を振り返る活動「探究のステップ」に取り組みながら、段階を踏んで探究課題を解決できる構成になっており、生徒たちの主体的・対話的で深い学びの実現のために、よく工夫されている。加えて、デジタルコンテンツも用途に応じて選択しやすいよう整理されており、個別最適な学びのために、とても配慮されている。</p>		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	世界地理の学習では、SDGs の 17 の開発目標と関連する地球的課題を取り扱い、グローバルな視点を持てるよう、工夫されている。(p. 124 など)
	2 ①	世界や日本の諸地域の学習では導入頁に関連する写真やグラフなどの資料とともに「学習テーマ」や「学習の視点」が示してあり、見通しを持って学習に取り組めるよう、工夫されている。(p. 42、61)
	②	毎時間の学習の振り返り「表現!」では、説明したり、話し合ったりする活動が設定されており、対話的な学びが実現できるよう、とても工夫されている。(p. 27 など)
	③	編、章のはじめに掲載されている「見方・考え方をはたらかそう」で、その単元で働かせる見方・考え方を提示し、地理的な見方・考え方を働かせた学びができるよう、配慮されている。(p. 5、25 など)
	3	導入資料を説明する「LOOK!」(p. 48 など)、追究に使う資料の読み取り・考察のポイントを提示する「THINK!」(p. 59 など)、思考力・判断力・表現力等を高める「TRY!」(p. 79 など6か所)が提示してあり、段階的に学習内容を深めることができるよう、よく工夫されている。
	4	阿蘇あか牛の写真に、エサを与える畜産家が写っているなど、地域の特色をあらわす写真資料に産業に携わる人物と一緒に写っているものが多く、生活と職業について考えることができるよう、よく工夫されている。(p. 179 など)
	5	地域の特色や課題から地域の未来について考える「第4章 地域の在り方」では、水俣市を取り上げ、水俣市の過去と現在、調査からわかるまちづくりの工夫など内容が、とても充実している。(p. 280～)
	6	世界の諸地域の学習では、州ごとにSDGsのアイコンがつけられており、学習テーマと地球的課題がリンクできるよう、よく工夫されている。(p. 44～45、80～81 など)
	7	九州地方の学習では、熊本城、阿蘇あか牛の写真が掲載してあり、熊本に対する郷土愛を高める学習内容の充実を図っている。(p. 172、179)
	8	アイヌに関する記述については、持続可能な社会づくりの視点から見開き2頁にわたって説明がなされている。多文化の共生について考えるための内容が、とても充実している。(p. 276～277)
教科書展示会等の結果 (学校0 一般0 生徒2 合計2)		
【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・同じ色が多くて少し見づらさを感じた。 ・落ち着いた色で見やすい。 		
選定委員会の意見		
<p>編・章の学習を始めるに当たり、「見方×考え方をはたらかそう」が示されており、何に注目して学習を進めればよいか視点を示す手立てがあり、とても配慮されている。さらに、導入頁の地域の写真や資料で生徒の興味を喚起した上で、章を見通した学習テーマや毎時間の学習課題などの「問い」が明確に示され、課題追究への意識付けを常に持たせる単元構成となっており、生徒の「主体的・対話的で深い学び」を実現できるよう、工夫されている。加えて、熊本地震を含めた自然災害における人々の取組や関係機関の役割、水俣病を題材とした人権教育など、熊本関係の地理的事象も多く掲載してあり、郷土愛を育むことができる内容が、とても充実している。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
帝国書院	1	地理的な見方・考え方にはどのような視点があるのか写真やイラストで提示し、目標が達成できるように、とても配慮されている。(巻頭8)
	2 ①	節末の「学習を振り返ろう」では、学んだ知識の振り返りと「節の問い」について、まとめ、深め、表現する活動が設定されており、効率よく単元の振り返りができるよう、工夫されている。(p.62～63 など)
	②	全51か所に設置してある対話アイコンでは、発表や話し合い活動が行えるようになっており、思考を広げ、深める対話的な学びができるよう、工夫されている。(p.75、79、97 など)
	③	特設頁「アクティブ地理AL」では、学習した知識及び技能を使って多面的・多角的に課題解決学習を行い、深い学びが実現できるよう、工夫されている。(p.90 など)
	3	「技能をみがく」(21テーマ)で、地図帳の統計資料の使い方や時差の調べ方などが扱われている。また、二次元コードから図解アニメーションで説明を視聴することができ、地理的技能を身につけるための手立てが、とても充実している。(p.5 など)
	4	「地理プラス+」では、「伝統的な産業の新しい形」というテーマで時代の変化に対応しながら、求められる職業のあり方や企業の努力について学ぶことができるよう、工夫されている。(p.191)
	5	日本の自然災害とその備えについて学習をした後、「アクティブ地理AL」で自然災害の危険予測とハザードマップを使い避難先を考える活動がそれぞれ1頁ずつあり、防災について実践的な学びができるよう、よく工夫されている。(p.150、151)
	6	「未来へ向けて」のコラムでは、地球温暖化への対策や、脱酸素社会に向けての取組が紹介され、自然環境を中核とした未来の社会を創造する意識が高められるよう、とても配慮されている。(p.156、182 など全40か所)
7	領土に関する記述では、学習指導要領に基づき、日本国の立場が明確に記載されている。年代における北方領土周辺の国境の変遷を示した地図や写真が、国際法に触れながら示されている。また、「地理プラス+」では、竹島に関する記述が見られ、人々の暮らしの面から歴史を知ることができるよう、配慮されている。(p.20～21)	
8	南アメリカ州の学習では、「未来に向けて」のコラムで、ブラジルに渡った日本人の記事を掲載し、共生社会について考えるための、配慮が見られる。(p.111)	
教科書展示会等の結果 (学校3 一般1 生徒2 合計6)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 写真、資料のバランスがいい。また、充実している。 地図帳と連動しているので、2冊まとめて有効に活用しやすい。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> 帝国書院の内容がよかった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 写真や話は多くていいが、それが1つのページにいくつもあり、混みあって見にくかった。 見やすく改良されていて◎。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
各「節・章を貫く問い」に対応した「学習課題」が明確に設定されており、毎時間の「確認しよう」「説明しよう」の学習活動を積み重ねることで「節・章を貫く問い」に迫ることができるよう、よく工夫されている。さらに、節末の学習を振り返る場面でも思考ツールを活用しながら対話を通して、「主体的・対話的で深い学び」が実現できるよう、工夫されている。加えて、「技能をみがく」や「地図帳活用」のコーナーが設けてあり、地理的技能を身につける手立てが、とても充実している。		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	地理的な見方・考え方についてイラストを交えて説明がしてあり、理解を促すために、とても配慮されている。(巻頭3、4)
	2	世界や日本の諸地域の学習では、写真資料、自然環境と人々の関わりの学習頁、節の問いの設定につながるようなトピックを扱う頁が設けられるなど、よく工夫されている。
	①	節の問いを立てる活動に、気付きを出し合う「学び合い」の活動が設定されており、協働的に問いが立てられるよう、工夫されている。(p.2、51、75など)
	②	世界や日本の諸地域の学習の節末に設定されている「議論してみよう」は、獲得した知識・技能を使った課題解決活動を対話的に行い、深い学びが実現できるよう、とても工夫されている。(p.61、185など)
	③	各単元で、二次元コードから進むことができる確認小テストでは、キャラクターによるヒントを表示させることができるなど、個々の生徒に応じた補充的な学習をすることができるよう、よく工夫されている。
	3	南アメリカ州のまとめの学習では、大豆農家・先住民の農家・政府の担当者など、異なる立場で多面的に考える場面が設定されており、職業観を育めるよう、工夫されている。(p.117)
	4	「せまりくる巨大地震に備えて」というタイトルで南海トラフ地震についての特集とハザードマップの使い方を学ぶ頁も併設されている。今後起こる可能性がある災害について学んだのち、防災への備えの学習ができるよう、工夫が見られる。(p.154～155)
	5	「持続可能な地域を目指して」のコラムがあり、環境問題や環境保全を考えるためにとても配慮されている。(p.50、110など全16か所)
6	領土に関する記述では、日本国の立場が明確に記載されている。国境の変化を表す地図や、島の写真等を掲載するなど、配慮されている。(p.20～21)	
7	オセアニアの学習では、多文化社会を目指す記述や、「地理+α」のコラムでは、性的少数者に配慮した社会づくりについての記載があり、人権的な視野を広げるための内容が、とても充実している。(p.124～125)	
教科書展示会等の結果 (学校2 一般0 生徒3 合計5)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・資料が少ない。 ・細かい配慮が行き届いている。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・見出しや、全体的に色が多めに使われていて、見やすかった。 ・資料多め。見やすいページ、見にくいページがある。 ・テストに出るかもしれないところがちゃんと出ているし、文字がまとまっていてよい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>地理的な見方・考え方が章や節ごとに系統的に示され、見方・考え方を働かせながら学習できるよう、工夫されている。さらに、節の問いを解決するために、生徒が「なぜ」を用いた問いを自ら立てる学習活動が設定されており、節末の「まとめとふり返り」の「議論してみよう」のコーナーで、対話を通して地球的課題や地域の課題の解決に向けて構想できるよう、よく工夫されている。加えて、「地理+α」では現代的な諸課題が紹介され発展的な学習ができると共に、各節の二次元コードからポートフォリオをダウンロードすることができる設定になっており、毎時間の学びを記述していくことで、自己の学習を調整することができるよう、よく工夫されている。</p>		

【学校】

- どの教科書も、写真や地図などの資料が大きく提示されており、とても見やすく感じた。
- もっと2次元コードが多くてもいいと思いました。
- どの出版会社も中身が充実してきており、出版会社の違いが小さくなっている。
- どの教科書会社も考えやすい資料が多く、そこまで大きな差を感じることはなかった。
- 自然災害に関するページで、最新の情報が掲載されており、子どもたちに身近に考えさせやすい。

【生徒】

- 内容は同じでも、写真の大きさや見出しの色使いが違って、イメージがかなり違った。
資料は大きくて、たくさんあるのはいいけど、詰め込みすぎると少し見にくく感じるがあった。
- 全体的に中身は似ている。ただ、レイアウトや資料の違いがあり、見ていて楽しかったし、ワクワクした。
- JR九州の特急36+3と西九州新幹線の「かもめ」の出荷される電車と次世代型路面電車システムLRTの試運転の姿の素晴らしい姿があってとても良かった
- 僕たちが今持っている教科書より文字がまとまっていて見やすい。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	毎時間の学習2頁分の構成は、「導入資料」、本時の「学習課題」、「本文」、本時の学習を振り返る「チェック&トライ」を基本としており、さらに、「スキル・アップ」「もっと知りたい」などが充実しており、目標達成に向けてよく工夫されている。(p.130～131など)
	2	各節さらには授業時間ごとに「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って学習できるように、よく工夫されている。(p.66など)
	②	授業の後半においても話し合い活動を促す「みんなでチャレンジ」が適宜設定されており、生徒が自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるように、よく工夫されている。(p.68～69など)
	③	毎時間の終末に、基本事項を確認する「チェック」と学習課題を振り返る「トライ」が設定されており、深い理解ができるように、よく工夫されている。(p.46～47など)
	3	補充的な学習については、二次元コードが全単元に配置されている。読み取ると、その節に関するメニュー画面から動画や思考ツール、用語解説など、多様なコンテンツが用意されており、生徒が補充的な学習をしやすいうように、工夫されている。(p.26など)
	4	現代の学習において、宇宙飛行士や医師など多岐に渡る職業が取り扱われている。その中には、生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており生徒が発達の段階に応じた勤労観・職業観を育むために、よく工夫されている。(p.259など)
	5	第1章第2節「身近な地域の歴史」では、テーマや調査方法など地域の歴史調査に有効な手立てが豊富に盛り込まれており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p.16～21)
	6	近世以降の学習において、災害・公害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計14か所ある。その中で特設の扱いが2か所あり、生徒が命の尊さを考える場面も設定されており、よく工夫されている。(p.268など)
	7	近代の学習において、コラム等で、新渡戸稲造や杉原千畝など国際社会の平和に寄与した人物が4人紹介され、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p.185)
	8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、7つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、よく工夫されている。(p.262～263など)
教科書展示会等の結果（ 学校11 一般4 生徒6 合計21 ）		
【学校】 ・文字と写真、絵図とのバランスが良い。見やすい。 ・ページごとにQRコードがついていて良い。		
【一般】 ・聖徳太子の十七条の御誓文のうち3つしか書いてなく日本の誇りを記していないので、不適切。 ・歴史の教科書は、図やイラストが豊富でこちらも良いと思った。		
【生徒】 ・デザインがわかりやすい。 ・資料が分かりやすい。文字がまとまっている。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、はじめに、小学校でその時代を学習した際に学んだ「ことば」の確認や、学習する時代に関連する資料を用いた「みんなでチャレンジ」「探究課題」が設定されており、それらの活動や課題設定を通して、多くの生徒がその章の学習への見通しを持てるように、よく工夫されている。		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、本時の学習を振り返る「確認」と「表現」を基本としており、さらに、「歴史の技」などのコラムが充実しており、歴史的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 130～131 など)
	2	各節の初めにおいて「節の問い」、さらに、毎時間「学習課題」が設定されており、生徒①が見通しを持って学習できるように、工夫されている。(p. 62 など)
	②	毎時間の学習頁の初めには、写真や図の資料とともに、気付きや感想の交流を促すためのキャラクターの吹き出しがあり、生徒が自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 66)
	③	毎時間の学習においては、終末に、「確認」と「表現」が設定されており、知識を関連付けたより深い理解ができるように、工夫されている。(p. 63 など)
	3	二次元コードは各節のまとめやコラム「歴史の技」などに配置され、学習に関する解説やクイズなどがあり、補充的な学習をしやすいように、工夫されている。(p. 25 など)
	4	現代の学習において、科学者やオリンピック選手団など、生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、よく工夫されている。(p. 268～271 など)
	5	第 1 章第 2 節「身近な地域の歴史を調べよう」では、テーマや調査方法など地域の歴史調査に有効な手立てが豊富に盛り込まれており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p. 12～18)
	6	近世以降の学習において、災害・公害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計 10 か所ある。その中で特設の扱いが 1 か所あり、生徒が命の尊さを考える場面も設定されており、よく工夫されている。(p. 236～237 など)
	7	近代において、杉原千畝など国際社会の平和に寄与した人物が 5 人紹介されており、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように工夫されている。(p. 247 など)
	8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、9 つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、よく工夫されている。(p. 281 など)
教科書展示会等の結果 (学校 3 一般 3 生徒 4 合計 10)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表の位置が題材名の上であり、学習する場所が時代のどこの部分にあたるのかを把握しやすく、よい。 ・国際的な視点で見出しなどが示されていた。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本の植民地政策」で朝鮮の人々に日本と同じようにする同化政策を進めたという部分。学校では、朝鮮語や朝鮮の歴史より日本語や日本の歴史、修身が重視されたと記載されているが、重視されたというより強制的に行われたというのが真実ではないでしょうか。大戦景気についても事実かもしれませんが、これを美化して書くことには違和感をおぼえました。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メインの文と資料で色が分けられてとても見やすい。 ・わかりやすくまとめてあり、色も使い分けていてとても読みやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、絵や写真の資料から気付きを出し合ったり、時代の様子を想像したりする活動が設定されている。それらの活動をもとに、その章の「問い」が設定される構成になっており、生徒が学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、学習内容につながる資料を掲載した「導入資料」、「学習課題」、「本文資料」、本時の学習を振り返る「確認しよう」と「説明しよう」を基本としており、歴史的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 38～39 など)
	2	各節において「節の問い」、さらに、毎時間「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って学習できるように、よく工夫されている。(p. 66 など)
	②	毎時間の学習頁の初めには、資料とともに、気付きや感想の交流を促すためのキャラクターの吹き出しなどがあり、さらに、生徒が意見を出し合える「資料活用」が適宜設定されており、「対話的な学び」が実現できるように、よく工夫されている。(p. 164～165 など)
	③	毎時間の終末に、基本事項を確認する「確認しよう」と学習課題を振り返る「説明しよう」が設定されており、より深い理解ができるように、工夫されている。(p. 69 など)
	3	二次元コードは全単元に配置されており、読み取ると、共通するメニュー画面から動画や思考ツール、学習を振り返ろうなど多岐に渡るコンテンツが用意されており、生徒が補足的な学習をしやすいように、工夫されている。(p. 16 など)
	4	現代において、映画監督や女性のバス運転手など多岐に渡る職業が取り扱われている。その中には、生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、生徒が発達の段階に応じた勤労観・職業観を育むために、よく工夫されている。(p. 293～295 など)
	5	「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、テーマや調査方法など地域の歴史調査に有効な手立てが豊富に盛り込まれており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p. 8～13)
	6	近世以降の学習において、生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計 14 か所あり、命の尊さを考える機会になるように、工夫されている。(巻末 2 など)
7	近代の学習において、杉原千畝など国際社会の平和に尽力した人物が 6 人紹介されており、平和と発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 206、263 など)	
8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、8 つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫されている。(p. 293 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 5 生徒 6 合計 17)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 掲載資料は考えを深めるのに役立つものが効果的に使われている印象。個人的には使いやすさがある教科書だと思うが、系図の省略箇所が破線で表されているのが若干の見づらさを感じる。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各時代の特徴が絵を含めてわかりやすい (タイムトライアル) 何が違って何が変わらないのか、考えさせることができる。 コラム「人権」「平和」などで、歴史の中に埋もれてきた人々を紹介している。(P93, 101, 137, 179, 222, 285, 293, 301 などが人権)「平和」については、P255, 283, 289 など。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太字になっていたりして見やすかった。 分かりやすくすぐにまとめたりできそう。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、絵や写真の資料から気付きを出し合ったり時代の様子を想像したりする活動が設定されている。また、各章の「問い」は全て「社会はどのように変化したのだろうか」と共通しており、生徒が学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
山川出版社	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、本時の学習を振り返る「ステップアップ」を基本としており、さらに、学習への理解を深めるコラムが充実しており、歴史的分野の目標達成に向けて、工夫されている。(p. 42～43 など)
	2	毎時間「学習課題」が設定され、また、適宜導入部分に「Q (問い)」が設定されている
	①	所もあり、生徒が見通しを持って学習できるように、工夫されている。(p. 64 など)
	②	毎時間の学習頁には、写真や図の資料とともに、適宜その資料に関連する問いが掲載されており、生徒が自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 65 など)
	③	毎時間の学習においては、終末に、その授業の学習内容の定着を図る問いが示された「ステップアップ」が設定されており、知識を関連付けたより深い理解ができるように、工夫されている。(p. 73 など)
	3	二次元コードは各節に 1 か所程度配置されており、読み取ると、拡大できる画像資料や動画などのコンテンツが用意されており、生徒が補充的な学習をしやすいように、工夫されている。(p. 31 など)
	4	現代の学習において、映画監督や自衛官など多岐に渡る職業が取り扱われている。その中には、大橋鎮子や緒方貞子など生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、よく工夫されている。(p. 273, 281 など)
	5	「身近な地域の歴史」では、調査方法など地域調査に有効な手立てが豊富に盛り込まれており、地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 8～13)
	6	近世以降の学習において、災害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計 2 か所ある。「明暦の大火」「足尾鉍毒事件」に関する資料が記述とともに掲載されており、命の尊さを考える機会となるように、工夫されている。(p. 207 など)
	7	近代の学習において、コラムで、新渡戸稲造が国際社会の平和に寄与した人物として紹介されており、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 219)
8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、4 つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫されている。(p. 281 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 3 一般 0 生徒 5 合計 8)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題がどれかわかりにくい。 ・資料を増やすなど工夫して欲しい。 ・資料が見やすい大きさを示されている。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・文字が小さめ、イラストは良い。 ・文字が多すぎて小さい。 ・たくさん色を使っていてわかりやすい。 ・文字が多くて微妙、結構細かく資料が載っている。 ・山川出版社の社会が写真がみやすく項目ごとに分けてあって良かった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成が工夫されている。各章の学習は、はじめに、写真や年表の資料とともに、学習する時代の大まかな様子が記述されており、生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	毎時間の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、本時の学習を振り返る「確認」「表現」を基本としており、さらに、「基本用語」や、「スキルUP」などのコラムが充実しており、歴史的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 40～41 など)
	2	各節には「問い」、授業時間ごとには「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って学習できるように、よく工夫されている。(p. 68～69 など)
	②	毎時間の学習頁の初めには、写真や図の資料とともに、気付きや感想の交流を促すためのキャラクターの吹き出しがあり、生徒が自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できるように、よく工夫されている。(p. 72 など)
	③	毎時間の学習においては、終末に、その授業で重要事項を確認する「確認」と学習課題に対応して振り返る「表現」が設定されており、知識を関連付けたより深い理解ができるように、工夫されている。(p. 73 など)
	3	二次元コードは全単元に配置されており、読み取ると本時の学習に関する動画や思考ツール、小テストなど多岐に渡るコンテンツが用意されており、生徒が補足的な学習をしやすいうように、よく工夫されている。(p. 22 など)
	4	現代の学習において、歌手や製造業など多岐に渡る職業が取り扱われている。その中には、科学者やオリンピック選手など生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、よく工夫されている。(p. 267 など)
	5	第1編第2節「身近な地域の歴史の探究」では、テーマや調査方法など地域の歴史調査に有効な手立てが豊富に盛り込まれており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p. 12～17)
	6	近世以降において、災害・公害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等は、計10か所ある。そこでは、「災害の歴史に学ぶ」など記述とともに生徒が命の尊さを考えたりする場面も設定されており、よく工夫されている。(p. 294～295 など)
7	現代の学習において、コラム等で、新渡戸稲造や吉野作造など国際社会の平和に寄与した人物が8人紹介され、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 209 など)	
8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、7つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、よく工夫されている。(p. 275 など)	
		教科書展示会等の結果 (学校2 一般0 生徒4 合計6)
		【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 資料作りが丁寧で利用しやすい。 資料の見やすさが良いと思う。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 時代や世紀が縦よりも下の方が見やすい。言葉に意味や説明をする文に線で囲ってメインの文と分けれるようにして欲しい。 文字が少なくてもどんな人でも読みやすい、資料のセンスがいい イラストがリアルでわかりやすいです。
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各編(第5編のみ第1章・第2章)、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、はじめに、学習する時代に関連する資料を用いた「気づいたことを出し合おう」が設定されている。その後、年表や地図の読み取りから「編の問い」や「節の問い」が設定されており、多くの生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
自由社	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、学習内容につながる資料を掲載した「導入資料」、本時の「学習課題」、内容理解のための「本文」、本時の学習を振り返る「チャレンジ」を基本としており、歴史的分野の目標達成に向けて、工夫されている。(p. 48～49 など)
	2	各章のはじめに、小学校で学んだ人物を中心に各章で学ぶことを紹介する「登場人物紹介コーナー」が設定されており、生徒が学習への見通しを持って取り組む「主体的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 149 など)
	②	授業毎時間のまとめにおいて、話し合い活動を促す「チャレンジ」が設定されており、「対話的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 71 など)
	③	毎時間の学習においては、終末に、その授業の内容をまとめる「チャレンジ」が設定されており、知識を関連付けたより深い理解ができるように、工夫されている。(p. 161 など)
	3	各時間の学習頁において、補足的な学習としては「歴史の言葉」、発展的な学習としては「知っ得ポイント」が適宜設定されており、工夫されている。(p. 47～49 など)
	4	現代の学習において、作家や研究者など多岐に渡る職業が取り扱われており、よく工夫されている。(p. 272 など)
	5	「地域の歴史を調べる」では、地域の歴史調査について大阪府堺市を例が紹介されている。レポートの例には、生徒が現代の地域とのつながりを意識した記述がされており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 12～15)
	6	近世以降の学習において、災害・公害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計 5 か所ある。その中で特設の扱いもあり、命の尊さを考える機会になるように、工夫されている。(p. 282 など)
7	近代の学習において、コラム等で、新渡戸稲造や杉原千畝など国際社会の平和に寄与した人物が 5 人紹介されており、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 246、280～281 など)	
8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、女性と拉致被害者の 2 つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫されている。(p. 279 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 2 一般 13 生徒 3 合計 18)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題がどれかわかりにくい。 ・単元構成を考えて欲しい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GHQ が日本にしたことを細かに記しており今日の日本につながる話であり、歴史から学び、未来にどう生かしていくか貴重な教科書である。よって適切。 ・日本の侵略戦争、植民地支配を正当化し、日本の被害ばかりを強調している。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が多くて分かりにくいところがある。他の教科書と比べてイラストが多い。 ・資料が多くていい、結構いい資料が載っていて興味がそそられる。キャラクターを使っている、わかりやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、本時で課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、はじめに、学習する時代に関連する写真資料などを掲載し、その下に「登場人物コーナー」として、小学校で学んだ人物を中心に、学習する時代に登場する主な人物が年表の形式で紹介されており、生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
育 鵬 社	1	毎時間の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認」「探究」を基本としており、さらに、「歴史ビュー」や、「人物クローズアップ」などのコラムが充実しており、歴史的分野の目標達成に向けて、工夫されている。(p. 58～59 など)
	2	各節さらには授業時間ごとに「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って学習できるように、よく工夫されている。(p. 68～69 など)
	②	毎時間の学習頁の初めには、気付きや感想の交流を促す記述がある。さらには、授業の後半においても話し合い活動を促す「資料活用」が設定されており、「対話的な学び」が実現できるように、よく工夫されている。(p. 165 など)
	③	毎時間の終末に、重要事項を確認する「確認」と学習課題を振り返る「探究」が設定されており、知識を関連付けて深い理解ができるように、工夫されている。(p. 73 など)
	3	各時間の学習頁において、補充的な学習としては用語を補足説明する「側注」、発展的な学習としては学習コラム「歴史ビュー」「人物クローズアップ」などが適宜設定されており、工夫されている。(p. 170～171, 179 など)
	4	現代の学習において、指揮者や俳優など多岐に渡る職業が取り扱われている。その中には、新幹線を開発した親子3代の開発者など生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、よく工夫されている。(p. 264～265 など)
	5	「身近な地域の歴史の調べ方」では、テーマや調査方法など地域の歴史調査に有効な手立てが盛り込まれており、生徒が地域社会の理解を深める学びができるように、工夫されている。(p. 18～23 など)
	6	近世以降の学習において、災害・公害・感染症など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計8か所あり、生徒が命の尊さを考える機会として、工夫されている。(p. 274～275 など)
	7	近代の学習において、新渡戸稲造など国際社会の平和に寄与した人物が4人紹介されており、平和と発展に寄与する態度を養えるように、よく工夫されている。(p. 281 など)
	8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、3つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫されている。(p. 269)
教科書展示会等の結果 (学校1 一般6 生徒4 合計11)		
【学校】 ・見方考え方が他に比べると利用しにくい。 【一般】 ・神話上の神武天皇を実在の天皇の始まりであるかのように記述されていることに疑問をもつ。はたして、これを事実として教えてよいものだろうか。教えてはいけない。 ・P272 昭和天皇をもちあげたエピソードは、戦争・多数の戦死者(今も残る犠牲者)を無視する、なかったことにするもので、とても危険です。不適切な教科書だと思う。 【生徒】 ・割とマイナーな人も肖像画が載っていて良い。 ・文字が多いが、文字がとても見やすい。分かりやすい写真も入っていてとても良い。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。各章の学習は、はじめに、学習する時代を簡単な絵巻物で概観する「歴史絵巻」が設定されている。その後、資料の読み取りから章や各節の課題が設定されており、多くの生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。		

発行	観点	調査結果
学び舎	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、学習内容につながる資料を掲載した「導入資料」、本時の「学習課題」、内容理解のための「本文」を基本としている。さらに、学習内容に関連したコラムが充実しており、歴史的分野の目標達成に向けて、工夫されている。(p. 43 など)
	2	授業時間ごとに「学習課題」が設定されており、生徒が見通しを持って学習できるように、工夫されている。(p. 38 など)
	②	毎時間の学習頁には、生徒の気付きを促す写真や図の掲載がある。また、章の終わりにおいても話し合い活動を促す「対話・討論にチャレンジ」が設定されており、対話的な学びが実現できるように、工夫されている。(p. 178～179 など)
	③	章のまとめの活動については、年表を基に学習内容を整理したり、文章でまとめたりする活動があり、学習した内容を振り返る時間が適宜設定されており、知識を相互に関連付けてより深く理解できるように、工夫されている。(p. 158 など)
	3	発展的内容については、「歴史を体験する」が 7 か所あり、その中には、生徒が自ら課題に取り組めるよう学習活動が設定されているものもあり、生徒が発展的な学習を充実させることができるように、工夫されている。(p. 34 など)
	4	現代の学習において、動物園職員やサラリーマンなど数種の職業が取り扱われている。その中で映画監督など、生徒が希望や憧れを持つことができる人物が紹介されており、よく工夫されている。(p. 252、262 など)
	5	「歴史への案内 4」では、地域の博物館で調べる意義や調査したことをどのようにまとめるのかなど、地域の歴史調査に有効な手立てが盛り込まれており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 132～133)
	6	近世以降において、災害・公害など生命及び自然を尊重する態度に関連するコラム等の記述は、計 5 か所あり、命の尊さを考える機会となるように、工夫されている。(p. 274)
	7	近代の学習において、コラム等で、吉野作造や山本宣治など国際社会の平和に寄与した人物が紹介されており、他国を尊重し平和と発展に寄与する態度を養えるように、工夫されている。(p. 210 など)
	8	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、4 つの項目について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫されている。(p. 252)
教科書展示会等の結果 (学校 0 一般 7 生徒 4 合計 11)		
<p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「荘園の人々」とか民衆の視点から書かれているのがよい。 ・「僧が見た朝鮮の民衆」など生徒に教えたい、伝えたい内容が豊富で、とても適切な教科書だと思う。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大事な単語や言葉を大きい濃い文字にしてほしい。 ・太字がないから要点がわかりにくい、詳しく図が載っている ・普通の教科書では載っていないようなものが、詳しく載っていて、とても分かりやすい。また、何章かごとに振りかえることができる所も良い。 ・題名によって色を変えているところがよくわかりやすいです。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各部、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成が工夫されている。各章の学習は、はじめに、北極を中心とする世界地図に、章のテーマに基づきその時代の各地の様子を表す写真や絵が配置してあり、生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
令和書籍	1	毎時間の学習頁分の明確な区分は見られないが、テーマごとに、「課題」、内容理解のための「本文」、本時の学習について考察する「考えよう」を基本としており、さらに、「文献史料」が適宜掲載されており、目標達成に向けて、工夫されている。(p. 194～195 など)
	2	各章のはじめに、学習する主な出来事をまとめた年表と「政治」「外交」「文化」「産業」それぞれについて問いが設定されており、生徒が学習への見通しを持って取り組む「主体的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 270 など)
	①	テーマ数項目に1回程度、考察や表現を促す「考えよう」が設定されており、生徒が「対話的な学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 350 など)
	②	テーマ数項目に1回程度、考察や表現を促す「考えよう」が設定されており、知識を関連付けたより深い理解ができるように、工夫されている。(p. 161 など)
	③	発展的内容については、各章末の特設頁に学習した時代の年表が掲載されており、その年表に一部穴埋め式の問題も設定されており、生徒が発展的な学習を充実させることができるように、工夫されている。(p. 265～267 など)
	3	現代の学習において、ノーベル賞受賞者や芸術家、小説家など多岐にわたる職業が取り扱われており、生徒が勤労観・職業観を育むために、よく工夫されている。(p. 432)
	4	「現代」の学習の後に掲載されている「歴史小説・歴史漫画を読むときの注意」では、その娯楽性ゆえ創作が含まれることを留意する必要があると呼びかけるなど、情報リテラシーに関する記述がなされており、生徒が地域社会の発展に寄与する態度を養えるように、配慮されている。(p. 460～461)
	5	近世以降の学習において、災害に関するコラム等の記述があり、そこでは、東日本大震災時の避難の様子が詳細に紹介されるなど、生徒が命の尊さを考える場面も設定されており、工夫されている。(p. 447)
	6	領土に関する内容について、計10頁で取り扱われており、さらに、明治時代の領土問題に関して生徒が考える活動も設定されており、我が国を愛する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 304～305 など)
	7	現代の学習において、熊本県が位置づける人権課題のうち、拉致被害者について取扱があり、人権教育を推進するために、工夫がみられる。(p. 443 など)
教科書展示会等の結果 (学校4 一般32 生徒5 合計41)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本神話や明治天皇についての記述が多い。思想が少し偏っているような気がする。 ・教科書というよりは、資料としての読み物に近いと思います。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A5版といえ、写真を含めて500ページ近くあり、中学生の学ぶ意欲を高めるどころか意欲低下につながるのではないだろうか。 ・中学歴史、令和書籍が良い。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容は面白いが見にくい。 ・令和書籍の国史、読みやすい。縦読みが良い。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、本時で課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成が工夫されている。各章の学習は、はじめに、学習する主な出来事をまとめた年表と「政治」「外交」「文化」「産業」それぞれについて問いが設定されており、生徒がその章の学習への見通しを持てるように、工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 13 一般 10 生徒 14 合計 37)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料掲載が増加しているように見受けられる一方で、概ね 300 ページ前後にまとまっているのは現行の使用教科書と大差があるわけではない。太字(重要語句)は各社で特に差異が見られやすい。個人的に中学校での学習に向いていると思われるのは東京書籍、帝国書院、教育出版、日本文教出版のもので、ワークの採択にも合わせやすい印象。山川出版、令和書籍は記述が細かく内容がやや高度、文章量も多めといった感触で、公立校よりは私立校などでの採択が適しているように思う。学び舎はかなり独自の路線で構成されており、誤解を恐れずに言えばかなり好みが分かれるのではないかな。 全体的に、資料が大きかったり、わかりやすいイラストになっていたり、授業の導入や思考させるのに、とても有効だと感じた。 教科書会社ごとの問いの違いが面白かった。もっと 2 次元コードがあってもいいと思った。 出版社ごとに特色があり、見応えがありました。どの出版社も文字数が減り写真や絵図が多くなっていると思いました。 図版が美しく、効果的に取り入れられている。 資料が大きく、かつ高画質で掲載されており、見やすい。ほとんどの教科書に世紀や年代が一目で分かる時系列の表があって、どの時代を学習しているのかがわかりやすい。 採択されている歴史教科書は 9 社だと思うが、5 社の展示でやや残念だった。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 時代錯誤の歴史記述の教科書は絶対に採用しないでください。特にヒドいのは令和書籍の「国史教科書」。歴代天皇の皇位継承図に始まり、時代表記は元号(西暦)。元号=天皇制を意識させるこの表記に驚きです。同様に育鵬社の「新しい日本の歴史」自由社の「新しい歴史教科書」このような教科書で学び、教え込まれる子どもたちを危ぶみます。そもそも歴史教育は現代から逆上って教えていく方がいいと思います。小生(74才)。私達の頃は、明治時代頃まで教わると、現代はほとんど教わっていません。それよりも、少しずつ遡って古代までいきつかなくても OK。こんな流れにして欲しいものです。 中学校歴史教科書を見ました。東書、山川、帝国、日文、教出の教科書が展示されていました。特に、福沢諭吉についての記述を読みましたが、いずれも人間の自由や権利について欧米からその思想を紹介したと簡単に説明してあり、コラムで教科書によって内容が違っていました。日文はコラムの内容がちがって欧米の学問や思想に出てくる言葉を日本語に書きかえたことを紹介していました。帝国は、諭吉の思想が欧米の草分けだと簡単な紹介でした。他は「学問のすすめ」の一部の紹介でした。 一番関心のある社会科、しかも問題が多いと聞いている令和書籍・自由社・育鵬社の教科書がないのがおかしい。 何故社会は 4 社しか置いてないのでしょうか？ 熊本市出身の井上毅公が表紙を飾られている点も選定の重要事項だと考えます。 今回の教科書を読み比べてみると、「日本という国と日本人に誇りと自信を持てる。そして他国の事も大事に思う教科書」という本来の日本人としての心を育てる事が出来る教科書だと思いました。歴史観と人としてあるべき価値観は切り離せません。国民性を作る上で大変大きなウェートを占めています。 キリシタンの取り締まりについて、幕府の命令に従わなくなることを恐れたからとあるが、人身売買の防止が目的として実施された点は、全く記載がない。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表現に意味が込められているものが多く、わかりやすかったです。全体的に、内容がしっかり詰め込められていて、勉強する意欲が湧きました。 社会を白黒縦読みで文章を難しいところまで書いてもらいたい。 色々な表紙とか中身が全部違って色々な特徴的なものもあってすごいと思いました。 見やすいものが多い。聖徳太子を英雄化しすぎているものはほぼない。 時代ごとに色が分かれていていい。教科書の文と資料にある文が見分けにくいので線などで囲って分けて欲しい見にくい。

発行	観点	調 査 結 果
東京書籍	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、学習内容につながる具体事例を示した「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「チェック」及び「トライ」を基本としており、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 86～87 など)
	2	各章のはじめに、その章の学習内容と関連する「小学校の社会で習ったことば」や写真が掲載されている。その後、各節の学習課題(探究のステップ)や章の「探究課題」が設定されるなど、「主体的な学び」ができるように、工夫されている。(p. 37～39、71 など)
	①	各節数カ所、他者と意見交流する「みんなでチャレンジ」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(p. 54～55 など)
	②	各章のまとめでは、基本事項を確認する「確かめよう」、関係図を作るなどして整理する「ふり返ろう」、そして、「導入の活動」に対応させた活動で理解の深化を図る「深めよう」が設定されており、「深い学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 122～125 など)
	③	各章のまとめでは、基本事項を確認する「確かめよう」、関係図を作るなどして整理する「ふり返ろう」、そして、「導入の活動」に対応させた活動で理解の深化を図る「深めよう」が設定されており、「深い学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 122～125 など)
	3	二次元コードの取扱いとしては、毎時間の学習頁に掲載されており、多彩なコンテンツが用意され、補充的な学習を充実されるために、よく工夫されている。(p. 131 など)
	4	第 4 章「私たちの暮らしと経済」において、計 33 の職業が取り扱われている。さらに、生徒が自身の職業観について意識を高める場を設定するなど、生徒が勤労観・職業観を育むことができるよう、よく工夫されている。(p. 148～149 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、その全てについて生徒が具体的に意見を述べたり、提案したりする活動が設定されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 62～63 など)
6	環境問題など生命及び自然の尊重に関する記述は数多く掲載されている。その中には「温室効果ガスの排出削減について考えよう」など、生徒が環境保全について考える活動が設定されており、自然を尊重する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 199 など)	
7	第 5 章第 2 節「さまざまな国際問題」では、「貧困」「難民」「環境」「気候・エネルギー」がテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 199 など)	
8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、中でも水俣病やハンセン病については、生徒が人権課題として考えるような記述もみられ、人権教育を推進するために、配慮されている。(p. 73 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 2 一般 1 生徒 1 合計 4)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・単元を貫く課題、節や章のまとめなど一番わかりやすく構成されていた。 ・円高・円安の問題が掲載されており、貿易と旅行の 2 つの観点で考える問題となっているから、理解しやすい。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、公民は東京書籍が内容が良かった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・文字が少し小さかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。さらに、各章の学習は、学習内容と関連する「小学校の社会で習ったことば」や、内容に関する写真、「導入の活動」という順に展開されており、それらの活動を通して、多くの生徒がその章の学習に興味・関心を持てるように、よく工夫されている。加えて、今日的課題を取り上げた「未来に向けて」や「公民プラス」など、持続可能な社会を実現する市民を育成するための配慮も、とても充実している。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
教育出版	1	毎時間の学習は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、終末に確認する「確認」及び振り返りのための「表現」を基本としており、さらに、「公民の窓」などのコラムも充実するなど、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 58～59 など)
	2 ①	各時間の学習頁では、はじめに、導入資料とキャラクターの吹き出しが掲載され、その次に本時の学習課題が記述されるなど、生徒が興味・関心を高めて、主体的に学習できるように、よく工夫されている。(p. 92～93 など)
	②	各節数カ所、自分の意見をまとめたり、他者と意見交流したりする「THINK!」や「公民の技」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(p. 88～89 など)
	③	各章末「学習のまとめと表現」では、「HOP」で基本的な知識を習得し、「STEP」で、思考・表現の力を高め、「JUMP」で章の問いに対する SDGs との関連を考える活動が設定されており、知識を相互に関連付け、問題を見出したり、考えをまとめたりする「深い学び」が実現できるように、工夫されている。(p. 190～192 など)
	3	二次元コードの取扱いとしては、学習頁に適宜掲載されており、動画や法令集などのコンテンツが用意されている。「中学社会クイズ」では、クイズ形式の問題に対して解答を入力することができ、補充的な学習を充実させるために、よく工夫されている。(p. 41 など)
	4	第4章「私たちの暮らしと経済」において、計36の職業が取り扱われている。また、仕事への条件を交流する振り返りも設定されており、生徒が勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(p. 144～145 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、そのうち3つについて生徒が具体的に意見を述べたり、提案したりする活動が設定されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 125 など)
	6	災害・感染症・環境問題など生命及び自然の尊重に関する記述が数多く掲載されている。その中には、特設などで生徒が主体的に考える活動が設定されており、生命や自然を尊重する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 224～225 など)
	7	第6章第2節「国際社会が抱える課題と私たち」では、「紛争」「民族・宗教」「経済」「人口」「エネルギー」「貧困・女性」「資源・エネルギー」「環境」がテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 223)
	8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、中でも水俣病やハンセン病については、生徒が人権課題として考えるような記述もみられる。さらには、路面電車、フェアトレード、免田事件など、人権課題を考える場として熊本県の事例がいくつも掲載されており、人権教育を推進するために、とても配慮されている。(p. 55)
		教科書展示会等の結果 (学校0 一般0 生徒2 合計2)
		【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラストが多くてわかりやすい。 ・表紙がとてもシンプルで見やすかったです。中身もパツと見、太文字が見やすくて勉強に励めると思います。
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成がよく工夫されている。さらに、各章の学習は、内容に関する写真資料、「第〇章のはじめに」「ウォーミングアップ公民」の順に展開されており、それらの活動を通して、多くの生徒がその章の学習に興味・関心を持てるように、よく工夫されている。加えて、今日的課題を取り上げた「持続可能な社会に向けて」や終章「私たちが未来の社会を築く」など、持続可能な社会を実現する市民を育成するための配慮も、とても充実している。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
帝国書院	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文資料」、「確認しよう」、「説明しよう」を基本としており、さらに、学習に必要な技能習得のための「技能をみがく」や、学習内容への理解を深める「未来に向けて」などのコラムが充実しており、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 50～51 など)
	2	各時間の学習頁では、はじめに、本時の内容に関わる写真などの導入資料が掲載されており、その次に本時の学習課題が記述されるなど、生徒が興味・関心を高めて、主体的に学習できるように、よく工夫されている。(p. 96～97 など)
	①	
	②	各節数カ所、他者と意見交流したりする「アクティブ公民」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(p. 76～77 など)
	③	各章のまとめでは、各節の学習内容についてキーワードを用いて簡単な図に整理したり、節の問いについて考えたりする活動が設定されている。さらに、章のはじめの「学習の前に」や、第 5 部の「課題探究学習」と関連した活動も設定されており、知識を相互に関連付け、問題を見出したり考えをまとめたりする「深い学び」が実現できるように、よく工夫されている。(p. 70～73 など)
	3	二次元コードの取扱としては、多彩なコンテンツが用意されている。学習の振り返りができるワークシートが PDF と word の形式収録されており、印刷して使用することができ、補足的な学習やを充実させるために、工夫されている。(p. 22 など)
	4	第 3 部「経済」において、計 49 の職業が取り扱われている。さらに、「将来何を重視して仕事を選択したいだろう」と職業観について生徒が意見交流する場を設定するなど、勤労観・職業観を育むことができるよう、よく工夫されている。(p. 138～139 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、生徒が具体的に意見を述べたり提案したりする活動が設定されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 148～149 など)
	6	「環境保全への取り組み」などの特設頁やなど、生徒が環境や生命の尊重について主体的に考える活動が設定されており、生命や自然を尊重する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 16 など)
	7	第 4 章第 2 節「地域的課題とその解決」では、「核兵器」「エネルギー」「脱炭素」などがテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 200 など)
8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、人権教育を推進するために、配慮されている。(p. 53 など)	
		教科書展示会等の結果 (学校 1 一般 1 生徒 0 合計 2)
		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 円高・円安の図は載っているが、問題形式でなかったため、アウトプットが難しい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日社会、特に帝国書院の教科書を読みましたが、人権や女性の立場、LGBTQ+などの事にもしっかり触れてあり、良かったです。
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>各章の授業においては、はじめのイラストとその時間の学習とを関連付ける『学習の前に』を振り返るも適宜設定されている。さらに、章のまとめにおいても、はじめに使用したイラストをもとに、生徒が自己の学びを自覚する活動が設定されている。加えて、第 5 部には、各章のまとめと関連させながら、解決すべき課題について自分たちでテーマを決めて考察、構想、論述する「課題探究学習」が設定されており、生徒が各節・章の学習を関連させながら、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、学習内容につながる具体事例を示した「導入資料」、本時の「学習課題」、内容理解のための「本文」、終末に重要事項を確認する「確認」及び振り返りのための「表現」を基本としており、さらに、学習内容への理解を深めるコラムや、学習内容への理解を深めるための活動「アクティビティ」も充実しており、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 27 など)
	2	各時間の学習頁では、はじめに、本時の内容に関わる写真などの導入資料とその資料に関連する「問い」の吹き出しが掲載されて、その次に本時の学習課題が記述されるなど、生徒が興味・関心を高めて、主体的に学習できるように、よく工夫されている。(p. 58 など)
	①	
	②	各時間の学習頁のはじめに、本時の内容に関わる導入資料とともに、キャラクターの吹き出しで導入資料に関する問いの記述が設定されている。さらには、各節数カ所、自分の意見をまとめたり、他者と意見交流したりする「アクティビティ」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(p. 213 など)
	③	「私たちの課題－持続可能な社会をめざして－」では、これまでの学習の振り返りをもとに、生徒が探究したいテーマを選び、レポートを作成する活動が設定されている。その中で、資料収集のヒントや構想のヒントがされていたり、レポートやプレゼンテーションスライドの例が掲載されたりしており、深い学びを実現することができるように、工夫されている。(p. 222～230)
	3	二次元コードの取扱としては、授業時間の頁ごとに掲載されており、動画などのコンテンツが用意されている。「チェック問題」では基本問題を直接解答することができ、補足的な学習や発展的な学習を充実させるために、よく工夫されている。(p. 10 など)
	4	「私たちの生活と経済」において、計 55 の職業が取り扱われている。さらに、特設「職業について調べてみよう」で生徒が職業観を意見交流する場を設定するなど、生徒が勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(p. 160～161 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、それらの大切さを伝える記述が掲載されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、工夫されている。(p. 71 など)
	6	災害・感染症・環境問題など生命及び自然の尊重に関する記述が数多く掲載されている。その中には、「災害に強いくらしをきずく」など環境や生命の尊重について考える活動が設定されており、自然を尊重する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 102 など)
	7	「国際社会の課題と私たちの取り組み」では、「紛争」「軍縮」「平和維持」などがテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 208～209)
8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、中でもハンセン病については、生徒が人権課題として考えるような記述や、免田事件の取扱も見られ、人権教育を推進するために、配慮されている。(p. 61 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 0 一般 0 生徒 1 合計 1)		
【生徒】 ・イラストが多くて良かった。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各編、章、節、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように構成が、よく工夫されている。さらに、今日の課題を取り上げた「明日に向かって」や「チャレンジ公民」など、持続可能な社会を実現する市民を育成するための配慮も、とても充実している。		

発行	観点	調査結果
自由社	1	毎時間の学習2頁分の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「ここがポイント」を基本としている。また、学習への理解を深める「ミニ知識」や、「やってみよう」が適宜設定されており、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p.48～49 など)
	2	各時間の学習頁では、はじめに、本時の内容に関わる導入資料が掲載されて、その次に
	①	本時の学習課題が記述されるなど、生徒が興味・関心を高めて、主体的に学習できるように、工夫されている。(p.92～93 など)
	②	各時間の学習頁のはじめに、本時の内容に関わる写真などの導入資料が示されている。さらには、各節数カ所、他者と意見交流する「みんなでチャレンジ」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、工夫されている。(p.61 など)
	③	各章末の「学習のまとめと発展」では、基本事項を確認する「学習のまとめ」と、その章の「学習の発展」が設定されており、知識を相互に関連付け、問題を見出したり、考えをまとめたりする「深い学び」が実現できるように、工夫されている。(p.164 など)
	3	補充的な学習としては、毎時間の要点を記述した「ここがポイント」や章末「学習のまとめ」、発展的な学習としては、学習コラム「ミニ知識」や章末「学習の発展」が設定されており、補充的な学習や発展的な学習を充実させるために、工夫がみられる。(p.120 など)
	4	「国民生活と経済」において、計35の職業が取り扱われている。さらに、「なぜ働き方改革が行われたのでしょうか」と、勤労観を考える意見交流の場を設定するなど、生徒が勤労観・職業観を育むことができるよう、よく工夫されている。(p.148～149 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、それらの大切さを伝える記述が掲載されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、工夫されている。(p.38～39 など)
6	災害・環境問題など生命及び自然の尊重に関する記述は数多く掲載されている。その中には、「地方自治と防災・防衛」などの特設頁や、「地球温暖化とCO ₂ 」などのコラムが設定されており、生命や自然を尊重する態度を養うために、工夫されている。(p.116 など)	
7	「紛争」「集団的自衛権」「各兵器」「エネルギー」「貧困と人口」「環境」がテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p.196 など)	
8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、人権教育を推進するために、配慮がみられる。(p.190～191 など)	
教科書展示会等の結果 (学校0 一般3 生徒1 合計4)		
<p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民の中学校教科書について、自由社を採用して頂きたい。 理由は、これまでの教科書は、多くの外国と日本の違いは自国(日本)についての記述が少ない事や、自国に誇りを持てるような記述が少なかった。また愛国心を育てる記述が多い。他にも多々ありますが、今まで自国である日本と日本人の良いところを記述している教科書があまりにも少なかったように思います。 ・自由社の公民を採択しないしてほしい。P60～61 天皇を元首と子どもたちに教えようとしている。P62 改憲推進である。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文字が大きくて良かった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、構成は、各章と本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように、工夫されている。さらに、学習内容をより深く理解するための「もっと知りたい」や終章「持続可能な社会を目指して」など、持続可能な社会を実現する市民を育成するための配慮も、充実している。		

発行	観点	調査結果
育鵬社	1	毎時間の学習 2 頁分の構成は、「導入資料」、「学習課題」、「本文」、「確認」及び「探究」を基本としており、さらに、「資料活用」や、学習内容への理解を深めるコラムが充実させるなど、公民的分野の目標達成に向けて、よく工夫されている。(p. 46～47 など)
	2	各時間の学習頁では、本時の内容に関わる写真などの導入資料とその資料に関連する
	①	「問い」の吹き出しが掲載されており、その次に本時の学習課題が記述されるなど、生徒が興味・関心を高めるように、よく工夫されている。(p. 92～93 など)
	②	各節数カ所、他者と意見交流する「資料活用」が設定されており、日々の授業において「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(p. 50～51 など)
	③	「よりよい社会をめざして」では、テーマを決めて、よりよい社会を築くために必要なことをレポートにまとめる活動が設定され、その手順や方法も掲載されており、生徒が深い学びを実現することができるように、工夫されている。(p. 207～213)
	3	二次元コードの取扱としては、各章の扉頁に掲載され、動画などのリンク集につながるようになっており、補足的な学習や発展的な学習を充実させるために、工夫されている。(p. 37 など)
	4	第 4 章「私たちの生活と経済」において、計 61 の職業が取り扱われている。さらに、「企業の社会貢献活動を見てみよう」などの意見交流の場を設定するなど、生徒が勤労観・職業観を育むことができるよう、工夫されている。(p. 142～143 など)
	5	公共の精神の育成する「法やきまり」「公共の福祉」「地方自治」「情報モラル」に関して、それらの大切さを伝える記述が掲載されており、社会の発展に寄与する態度を養うために、工夫されている。(p. 32～33 など)
	6	災害・感染症など生命及び自然の尊重に関する記述が数多く掲載されている。中には「防災・減災と情報通信技術 (ICT)」など生徒が防災・減災について考える活動が設定されており、生命や自然を尊重する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 16～17 など)
	7	第 5 章第 1 節「持続可能な社会をつくるために」では、「貧困」「人口」「環境」「エネルギー」「文化・宗教」「領土」がテーマとして取り上げられ、それらの支援策について考える活動が設定されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うために、よく工夫されている。(p. 179 など)
8	本県における人権の重要課題に関して、多くのテーマが扱われており、中でもハンセン病については、生徒が人権課題として考えるような記述もみられ、人権教育を推進するために、配慮されている。(p. 63 など)	
		教科書展示会等の結果 (学校 0 一般 4 生徒 1 合計 5)
		<p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 育鵬社「公民」は採択しないほしい。P45 大日本帝国憲法を美化し、当時の天皇制を美化している。象徴としての天皇の説明で、国事行為の責任は内閣が負う事洩れている。「現代の立憲君主制のモデルの 1 つとなっています」は天皇を君主と言っているが間違い。象徴以上でも以下でもない <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字が多くてわかりやすくまとめてあった。
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、社会科の目標及び内容の達成を図るために、各章、本時それぞれに課題が示されており、課題への追究や解決を通して系統的・発展的な学習ができるように、工夫されている。さらに、今日的課題を取り上げた「学習を深めよう」や「よりよい社会をめざして」など、持続可能な社会を実現する市民を育成するための配慮も、とても充実している。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校3 一般5 生徒2 合計10)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・もっと2次元コードが記載されていても良いのではないかと思います。・どの教科書会社も、大きな差は感じられなかった。・資料が細かく、分かりやすく掲載されており、図示化されていて学習しやすい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none">・LGBT 法案が施行された事により、教科書にどのように反映されたのかと思い見てみました。すべての教科書において、過激な記述がなかったのが安心しました。・労働権について読みくらべました。東書、教出、帝国、日文の4社が展示されていました。特に、労働の意義について「人はなぜ働くのか」を読みくらべました。将来の労働者である学習者に安心して働く指針を示す教科書としては、日本文教出版を推めます。・一番関心のある社会科、しかも問題が多いと聞いている令和書籍・自由社・育鵬社の教科書がないのがおかしい。・何故社会は4社しか置いてないのでしょうか？・ただ公民では、働く人達の問題が深刻で離職、引きこもり等になっていく人達のことを考え、自分がありのままの自分で良いこと、働く者の立場がしっかり守られていくべき展望がないのが惜しいと思いました。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none">・どの表紙もいろいろ工夫されて写真が載っていてとても見やすかったです。中身もそれぞれ見やすくていいと思いました。・表紙は前と変わっていたが内容などはほとんど変わっていなかった。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	学習指導要領の社会科の目標が達成できるよう、必要な地図・統計資料・絵地図などが構成されていると共に、大判化したA版の大きさで活用しやすいよう、とても配慮されている。
	2	世界の各州は一般図→基本資料→テーマ資料、日本の各地域は一般図→拡大図→資料図と決まった配列で構成され、テーマに沿って精選された資料を提示することで、見通しを持って学習ができるよう、とても配慮されている。(p. 45～48、69～74 など)
	①	
	②	「Bee's eye」の問いにより、一枚または二枚以上の図を読み取って諸課題を的確に捉えたり、課題解決に取り組んだりする学習活動を通して、対話的な学びが実現できるよう、工夫されている。(p. 14、136、154 など)
	③	巻末の統計資料(世界、日本)は州別(地方別)に色分けがなされ、日本の統計では上位県の数値が赤字で示されるなど、数値的に特色を捉えやすくなっており、深い学びの実現に向けて、工夫されている。(p. 156～160)
	3	一般図の見開き2頁に地図活用に最低限必要な情報であるインデックス、方位、縮尺が掲載され、地図を活用した学習ができるよう、工夫されている。(p. 77～78 など)
	4	日本の地方ごとの資料や地図上の絵記号があり、地域の特色を自然や産業などの資料から関連させて勤労観・職業観を身に付けることができるよう、工夫されている。(p. 67～130)
	5	「Bee's eye」のコーナーを用いて社会の課題にどう取り組むかを問う質問が設定されており、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう、工夫されている。(p. 8、142、148 など)
6	東日本大震災などの自然災害の被害のようすを示した資料やハザードマップなどの安全・防災に関する資料が掲載され、生命及び自然を尊重する精神や保全に寄与する態度を養うことができるよう、配慮されている。(p. 118、135～136)	
7	我が国の国土・領域について理解が深められるように、日本の東西南北端や北方領土、竹島、尖閣諸島について写真付きで解説してあり、充実している。(p. 171～172)	
8	UDフォントの書体で漢字にふりがなが付けられている。各国名や都市名に英語表記が掲載されており、外国籍の生徒の学習にも、とても配慮されている。(p. 35～36 など)	
教科書展示会等の結果 (学校1 一般3 生徒0 合計4)		
【学校】 ・ビーズ・アイがおもしろく、QRコードですぐ解答例にアクセスできるのもよい。 【一般】 ・字が大きくて見やすい。 ・情報がしぼられていて子どもはなじみやすい。 ・土地の高低がやや分かりにくい。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本地図帳は、学習指導要領の目標及び内容に沿うと共に、歴史的分野・公民的分野での活用度を高めた特設頁が設定され、社会科教科書との連携が図ることができる「教科書準拠的資料集」の役割となるよう、よく工夫されている。また、巻頭の「この地図帳の地図記号」「この地図帳の活用方法」、バラエティに富むデジタルコンテンツなど、補充的な学習や発展的な学習に関する内容が、充実している。さらに、資料と関連の深い資料をつなぐ「ジャンプ」(59か所)が設定され、資料の情報を関連付け結び付けたり、資料から新たな事項を推察したりするなど、思考・判断や社会的な見方・考え方を働かせた学習ができるよう、よく工夫されている。加えて、我が国の国土の様子、世界の伝統文化、世界の紛争地域に関する資料や写真が多く収録されており、我が国や郷土への愛情を育てると共に、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てるために、適している。		

発行	観点	調査結果
帝国書院	1	地理的分野の学習指導要領の目標・内容に沿っており、かつ歴史的分野・公民的分野の学習でも活用できるように、歴史・公民アイコンが目次や頁に設置されるなど、よく工夫されている。(p. 23、85 など)
	2	世界の各州には、生活・文化・産業などの絵を配置した鳥瞰図が6か所あり、地域的特色を視覚的に大観できるよう、よく工夫されている。(p. 29～30、47～48、53～54 など)
	①	
	②	「地図で発見!」の問いにより、諸課題を捉えたり、課題解決に取り組んだりする学習活動を通して、対話的な学びが実現できるよう、工夫されている。(p. 13～14、149 など)
	③	資料と関連の深い資料をつなぐ「リンク」(32か所)が設定され、資料の情報を関連付け結びつけたり、資料から新たな事項を推察したりするなどの思考・判断や社会的な見方・考え方を働かせた学習ができるよう、工夫されている。(p. 173 など)
	3	一般図の見開き2頁の全てにインデックス、方位、凡例、縮尺が掲載されており、地図活用の基礎・基本をどの頁でも繰り返し学習できるよう、よく工夫されている。(p. 97～98 など)
	4	日本の地方ごとの資料や地図上の絵記号があり、地域の特徴を自然や産業などの資料から関連させて勤労観・職業観を身に付けることができるよう、工夫されている。(p. 83～154)
	5	世界における日本の国際協力や平和への取組の資料が掲載されており、国際社会における我が国の役割について考えることを通して社会との関わりが身に付くよう、工夫されている。(p. 14)
	6	自然災害に対する備えや東日本大震災、熊本地震、人吉豪雨災害に関する、身近な資料が掲載され、生命及び自然を尊重する精神や保全に寄与する態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(p. 159～162)
	7	日本や世界の衣食住・祭り・伝統などの資料図が豊富に掲載されており、我が国と郷土を愛する学びにできるよう、よく工夫されている。(p. 19～20、141、173～174)
8	UDフォントの書体で漢字にふりがなが付けられている。各国名や都市名に英語表記が掲載されており、外国籍の生徒の学習にも、とても配慮されている。(p. 49～50 など)	
教科書展示会等の結果 (学校1 一般4 生徒0 合計5)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコンテンツが豊富。すぐに調べて活用できる。持続可能な社会から始まるのが興味深い。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高低差が分かりやすい。 ・地図マスターへの道等、地図帳を使いこなすためのステップがある。 ・教科書でバラバラ出ているものがまとめてあり、子どもが統計のところを資料として使いやすかった。 		
選定委員会の意見		
<p>本地図帳は、学習指導要領の目標及び内容に沿うと共に、歴史的分野・公民的分野の学習でも活用を図りながら学習効果が高まるよう構成され、よく工夫されている。また、巻頭の「地図帳の凡例」「地図帳の使い方」、一般図の凡例、豊富なデジタルコンテンツなど、補足的な学習や発展的な学習に関する内容がとても充実している。さらに、自然環境、自然災害、SDGsに関する資料が充実しており、生命及び自然を尊重する精神や保全に寄与する態度を育むことができるよう、とても配慮されている。加えて、我が国の国土の様子、世界の伝統文化や紛争地域に関する資料や写真が多く収録され、我が国や郷土への愛情を育てると共に、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てるために、最適である。</p>		

意見書 中学校 種目 (地図)

教科書展示会の全体的な意見 (学校 1 一般 0 生徒 1 合計 2)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・詳細な統計が載っており使いやすい。世界の様子がしっかり載っているのが中学校らしいと感じる。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none">・そのままがいいと思いました。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各章の「深い学びのページ」では、数学の問題発見・解決の過程に、これまでの学びを利用した課題が与えてあり、生徒に興味・関心を与え、思考力・判断力・表現力の育成が図られるよう、よく工夫されている。(2年 p. 49 など)
	2	日常生活の場面と「？」で問題を提示することで、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう、よく工夫されている。(1年 p. 117 など)
	①	
	②	登場人物などの発言で、生徒が考えを広げ深め、各章の利用では「話し合ってみよう」の注釈から、対話的な学びが実現できるよう、よく工夫されている。(3年 p. 86 など)
	③	「深い学びのページ」では、習得した知識・技能を活用して問題解決できる場面設定がよく工夫されている。さらに、「深める」の注釈から、数学的な見方・考え方を働かせて「深い学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(1年 p. 104 など)
	3	節の終わりには「基本の問題」、章の終わりには発展的な内容の問題が用意してあり、個々の理解に応じた指導ができるよう、とても配慮されている。(2年 p. 31 など)
	4	「数学×仕事」では、仕事のなかで数学を活用している人が紹介され、生徒が数学の有用性を実感できるよう、よく工夫されている。(2年 p. 90 など)
	5	題材に「視聴率や世論調査」を使い、生徒が社会規範を守ったり、公德心を持ったりする態度を養うことができるよう、工夫されている。(3年 p. 214、221 など)
6	「活用の問題」では、「ごみやエネルギー問題」「二酸化炭素の排出量」などについて、数学を通して考えさせており、SDGs の意識を高められるよう、とても配慮されている。(1年 p. 156、2年 p. 56、3年 p. 126 など)	
7	「日本の伝統模様」や「金沢駅の鼓門」などは、日本の伝統文化のよさを感じ、生徒が我が国と郷土を愛する態度を養えるよう、よく工夫されている。(1年 p. 167 など)	
8	「まちづくり条例」や「点字のきまりを知ろう」の題材では、人権尊重の精神や多様性尊重の態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(1年 p. 189、2年 p. 238)	
教科書展示会等の結果 (学校 10 一般 0 生徒 9 合計 19)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入での学びがおもしろく、考えてみようや調べてみようの内容がそのまま授業で使える発問になっているので、授業者としてとても扱いやすく感じた。 ・表紙の絵に数学的要素が巧みに盛り込まれており、生徒にも数学的な視点から見て捉えさせると面白いと思った。 ・写真やイラストが多く、子供達の目をひける。章末問題が具体的な場面が多く分かりやすい。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図や表が多くてわかりやすいなと思った。 ・表紙で惹かれ、見やすくてわかりやすいし、使いやすそう。 ・説明が書かれていて分かりやすい 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、日常生活の場面と「？」で問題を提示することで、生徒の興味・関心を高め、主体的に学習に取り組めるよう、よく工夫されている。さらに、登場人物などの発言で、生徒が考えを広げ深め、各章の利用では「話し合ってみよう」の注釈から、対話的な学びが実現できるよう、よく工夫されている。加えて、節の終わりには「基本の問題」、章の終わりには発展的な内容の問題が用意してあり、個々の理解に応じた指導ができるよう、とても配慮されている。</p>		

発行	観点	調査結果
大 日 本 図 書	1	各章に、「活用・探究」のコーナーがあり、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 64、2年 p. 63、3年 p. 132 など)
	2 ①	「考えよう」では、既習事項との関連を重視した導入となっており、生徒が既習事項をもとに新しい学習内容に興味・関心を持って取り組めるよう、よく工夫されている。(1年 p. 240、2年 p. 56、3年 p. 162 など)
	②	「活動」では、登場人物などの考えやヒントが示されており、生徒が新たな考えに気付いたり、自分の考えを深めたりできるよう、よく工夫されている。(1年 p. 255 など)
	③	各章の「利用」の問題では、「問題を見いだそう」など4段階が示され、生徒が自分の考えを深めることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 59、2年 p. 58 など)
	3	各章の「Q」「たしかめよう」や章末の「章をふり返ろう」「力をのばそう」、巻末の「補充問題」など、理解を深め、学びを確かなものにするための問題が設けられ、基礎・基本が確実に定着するよう、工夫されている。(1年 p. 62、p. 286、3年 p. 40、260 など)
	4	「MATHFUL」では、「魔法陣」「期待値」「数のひろがり」などが掲載され、数学が生活の中に生かされていることを理解できるよう、よく工夫されている。(2年 p. 199 など)
	5	「世論調査」「国勢調査」などの題材では、社会参画への興味・関心を持たせ、社会発展に寄与する態度を養わせることができるよう、工夫されている。(3年 p. 218 など)
	6	「素数の力で生き抜いてきたセミ」などの題材では、生徒が自然や生命の偉大さを感じ、自然尊重の精神を養えるよう、工夫されている。(1年 p. 270 など)
	7	「マグニチュードと地震のエネルギー」では、熊本地震により崩れた熊本城の石垣の写真が紹介されており、郷土を愛する態度を養えるよう、よく工夫されている。(3年 p. 74)
8	「オリンピック・パラリンピック」を題材にすることで、生徒に人権尊重の精神や多様性を尊重する態度を養うことができるよう、工夫されている。(1年 p. 174、p. 201)	
教科書展示会等の結果 (学校 3 一般 0 生徒 3 合計 6)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・無駄な日本語の説明が少なく、高校の教科書を意識した作りになっている。教師の指導力が求められる。 ・問題のスペースが広い。教科書に直接、解答を記入させて良いようにということかと推察する。意見の分かれるところだと思う。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・表紙のところが惹かれるなど思った。 ・式が一から丁寧に書かれていてわかりやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、「考えよう」で、既習事項との関連を重視した導入となっており、生徒が既習事項をもとに新しい学習内容に興味・関心を持って取り組めるよう、よく工夫されている。さらに、「活動」では、登場人物などの考えやヒントが示されており、生徒が新たな考えに気付いたり、自分の考えを深めたりできるよう、よく工夫されている。加えて、各章の「利用」の問題では、「問題を見いだそう」など4段階が示され、生徒が自分の考えを深めることができるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
学校図書	1	各領域の「ふりかえり」、各章の「章・節のとびら」では、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されている。(各学年 p.8 など)
	2 ①	教科書の内容とリンクした様々な二次元コードが用意されており、生徒が興味・関心を持ち、主体的に取り組めるよう、よく工夫されている。(1年 p.255、2年 p.160 など)
	②	各章の「数学的活動」では、生徒同士の対話を中心に学習の流れが設定されており、対話的な学びが充実するよう、よく工夫されている。(2年 p.27、3年 p.34 など)
	③	「数学的活動」では、1つの問題を解決して終わるのではなく、新たな問題を提示することで、深い学びが実現できるよう、よく工夫されている。(3年 p.35 など)
	3	章末の「章のまとめの問題」は、問題の難易度が基本、応用、活用に分類されており、生徒の習熟度に応じて学力を伸ばせるよう、工夫されている。(1年 p.61 など)
	4	「数学の力」では、数学を実際の仕事に役立てている人のコラムが掲載されており、様々な職業で数学が使われていることを実感し、自分の将来について考えることができるよう、配慮されている。(各学年裏見返し)
	5	「カーボンニュートラル」や「久山町研究」などの題材では、環境問題などの社会的な問題に取り組むことで、それらを自分の問題として考え、主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるよう、配慮されている。(1年 p.127、3年 p.258)
	6	「今の自分を知ろう」では、「SDGs」や「海面上昇」「エシカル消費」など、自然・環境の問題を自分自身の問題として考え、生命や環境の保全を大切にする態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(1年 p.278、3年 p.262 など)
7	「フェアトレード」や「フェルマーの最終定理」など、国際関係や世界の数学者の偉業について学ぶことができる題材が紹介されており、生徒が他国を尊重し異文化を理解する態度を養うことができるよう、配慮されている。(2年 p.220 など)	
8	「点字のしくみは？」の題材では、点字について学び、人権意識を高め、多様性を尊重しようとする態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(2年 p.230)	
教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 0 生徒 7 合計 13)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・学びの後の振り返りを教科書で書けるのはとてもいいと思った。そのまま授業の振り返りとして使用できる内容だった。 ・ポイントとなる部分を色や枠を使わずに表記しているため、しっかりと読み込まないと大事な部分かわからないような設定になっている。暗記対策をする生徒にとって有効である。問題が説明させるような問題が多く、対話的な学びを意識している。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・絵もしっかり載っていて数学が嫌いな人でもわかりやすい。 ・複雑でもなく、そんな簡単でもなく、ちょうどいいバランス。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、各領域の「ふりかえり」、各章の「章・節のとびら」で、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されている。さらに、教科書の内容とリンクした様々な二次元コードが用意されており、生徒が興味・関心を持ち、主体的に取り組めるよう、よく工夫されている。加えて、「今の自分を知ろう」では、「SDGs」や「海面上昇」「エシカル消費」など、自然・環境の問題を自分自身の問題として考え、生命や環境の保全を大切にする態度を養うことができるよう、とても配慮されている。</p>		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	各章に「学習のまとめ」「章の問題」が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 63 など)
	2 ①	章末には、「学習のまとめ」「確かめよう」「力を伸ばそう」「学んだことを活用しよう」「数学仕事人」「数学の広場」など、章でのつながりが分かりやすく、「主体的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(1年 p. 102、2年 p. 142、3年 p. 176 など)
	②	「みんなに説明しよう」の注釈が多く、誤った考え方を論理的に説明しながら「対話的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。(2年 p. 136、3年 p. 18 など)
	③	「学びのプロセス」では、問題発見・解決の過程をより意識付けられるよう、よく工夫されている。(2年 p. 59 など)
	3	既習内容を確認する「〇〇を学習する前に」、章で学んだことの確認ができる「学習のまとめ」「章の問題」「活用」が設けられ、生徒の理解や興味・関心に応じて取り組むことができるよう、工夫されている。(3年 p. 138、176 など)
	4	「数学しごと人」では「章とびら」と関連付けて社会で活躍している方へのインタビューがあり、数学を学ぶ意義が実感できるよう、よく工夫されている。(1年 p. 70 など)
	5	「エコキャップ集め」などの題材を通して、生徒が主体的に社会の形成に参画しようとする態度を育成できるよう、配慮されている。(1年 p. 164)
	6	「数学の広場」には、AED や地球温暖化問題の紹介があり、生徒に生命の尊さや環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、工夫されている。(2年 p. 88、3年 p. 252)
	7	「ユークリッドの原論」や「アロゴンとよばれた数」の題材では、他国の数学の歴史を紹介することで、数学の普遍性が感じられるよう、よく工夫されている。(2年 p. 140、3年 p. 59)
	8	登場人物の名前を全て「さん」付けで呼ぶことや、登場する比率や役割も偏りが無いなど、生徒が固定観念を抱くことや性による差別がないよう、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校 2 一般 0 生徒 7 合計 9)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題の量が多く感じた。キャラクターが常に疑問形で問いかけていて、生徒だけでも学習が進められそう。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表紙は数学という感じがしていいし、みんなと話し合おうという場を与えていたのでいいと思った。 大事なところは背景が黄色っぽくなっていてわかりやすかった。 表紙が頭良さそうなデザインで勉強の意欲が高まる。 図形や大切なところが囲まれていて、見やすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、各章に「学習のまとめ」「章の問題」が用意されており、生徒が基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができるよう、よく工夫されている。さらに、章末には、「学習のまとめ」「確かめよう」「力を伸ばそう」「学んだことを活用しよう」「数学仕事人」「数学の広場」など、章でのつながりが分かりやすく、「主体的な学び」が実現できるよう、よく工夫されている。加えて、「学びのプロセス」では、問題発見・解決の過程をより意識付けられるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
啓林館	1	各章の「利用」の節では、身のまわりから問題を発見し、解決して深めるまでの流れが3つのステップで示されており、生徒の思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう、よく工夫されている。(2年 p. 49～51 など)
	2	各節の導入では、身のまわりの場面などを取り上げ、言語活動を通して、主体的に学習に取り組めるよう、よく工夫されている。(1年 p. 221 など)
	①	
	②	各章に「説明しよう」や「話し合おう」「まとめよう」の見出しと共に課題が提示されており、対話的に学ぶことができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 223 など)
	③	各章の「利用」の節では、問題設定→問題解決→振り返り・深化と学びの過程が示されており、生徒が自ら問題を発見・解決し、深める力が身に付くよう、よく工夫されている。(2年 p. 50 など)
	3	各学年「章末問題」「数学広場」の「学びを振り返ろう」「力をつけよう」では、基礎から発展まで問題が設けられ、解答例や説明動画にアクセスできる二次元コードもあり、進度や多様な学びに応じられるよう、よく工夫されている。(3年 p. 220、221 など)
	4	「数学ライブラリー」には、「雷様はどこ？」や「大矩(おおがね)」など、数学と日常生活や実生活を意識した題材が取り上げられており、数学の学習と生活や職業を関連付けて考えることができるよう、工夫されている。(2年 p. 64、3年 p. 189 など)
	5	国連が掲げる「SDGs」関連の題材などは、生徒が公共の精神を持ったり、社会の役に立つ喜びを味わったりすることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 289 など)
6	「最高気温の推移から気候変動について調べよう」や「大雨の発生状況を調べよう」などの題材では、自然を尊重する精神や環境の保全に寄与する態度を養うことができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 286、2年 p. 224 など)	
7	「日本の伝統模様」や「曲尺の秘密」などの題材は、日本の伝統文化のよさを感じ、我が国と郷土を愛する態度を養えるよう、工夫されている。(3年 p. 262 など)	
8	配色やデザインなどにユニバーサルデザインを取り入れたレイアウトで、誰もが見やすく分かりやすくなるよう、よく工夫されている。(1年 p. 138、2年 p. 167 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 15 一般 0 生徒 4 合計 19)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 例題の難易度が適度に良く、授業や家庭学習など、いろいろな場面で活用しやすい構成になっている。また練習問題は個別学習に適している。 身近なことから数学の問題に導いていく工夫がされていた。PDCA サイクルを意識した見た目になっていて分かりやすい。色合いが良くなっている。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 応用問題でちょっと難しい問題が入っているから数学好きも楽しくできそう。 ところどころわかりやすい絵が載っていて見やすかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、各章に「説明しよう」や「話し合おう」「まとめよう」の見出しと共に課題が提示されており、対話的に学ぶことができるよう、よく工夫されている。さらに、各章の「利用」の節では、問題設定→問題解決→振り返り・深化と学びの過程が示されており、生徒が自ら問題を発見・解決し、深める力が身に付くよう、よく工夫されている。加えて、各学年「章末問題」「数学広場」の「学びを振り返ろう」「力をつけよう」では、基礎から発展まで問題が設けられ、解答例や説明動画にアクセスできる二次元コードもあり、進度や多様な学びに応じられるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
数 研 出 版	1	各章の「利用」では、問題を解決するときの手順やヒントが示されており、生徒の思考力・判断力・表現力の育成ができるよう、よく工夫されている。(3年 p.100 など)
	2 ①	教科書の内容とリンクした「補充」「イメージ」「資料」「考察」「探究」の5種類のデジタルコンテンツが用意されており、生徒が主体的に課題解決に向けて取り組めるよう、よく工夫されている。(2年 p.155 など)
	②	問題解決に取り組む過程を対話形式で示すことで、生徒が自分の考えを数学的な表現を用いて伝えたり、さまざまな視点の考え方を取り入れたりしながら対話的に学習を進めることができるよう、よく工夫されている。(3年 p.25 など)
	③	「関数」「図形」「データの活用」のデジタルコンテンツでは、さまざまな数値設定をすることができ、学びを深めることができるよう、配慮されている。(2年 p.115 など)
	3	巻末の「チャレンジ編」では、「力をつけよう」「力をのばそう」と区別され、デジタルコンテンツの「補充」では、問と同じ形の問題や発展的な問題が繰り返し解くことができ、興味や関心に応じて取り組めるよう、よく工夫されている。(3年 p.266 など)
	4	「数学旅行」では、仕事をされている人のインタビュー記事やメッセージが掲載されており、生徒が勤労観や職業観を育めるよう、工夫されている。(2年 p.212 など)
	5	環境問題など、SDGsに関連した題材が取り上げられており、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう、工夫されている。(2年 p.108 など)
	6	「日本の気候変動」の題材では、地球温暖化に伴う気候の変化が掲載されており、より身近な問題として環境保全の態度を養えるよう、よく工夫されている。(1年 p.266)
7	「塵劫記」や「日本の数学～和算～」などの題材は、日本の伝統文化のよさを感じることができ、生徒が我が国と郷土を愛する態度を養うことができるよう、配慮されている。(1年 p.260、3年 p.262 など)	
8	「ペットボトルキャップ回収とワクチン支援」の題材を通して、生徒が人権を尊重しようとする態度を養うことができるよう、配慮されている。(1年 p.148)	
教科書展示会等の結果 (学校 7 一般 0 生徒 4 合計 11)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 問題数が少ないが一題あたりのボリュームがあり、段階を踏んで考えさせている。計算式で重要なところを太字で表しており、どこに着目すべきか一目でわかる。 必要なページに補充内容へリンクするためのQRコードが載っており、自学の助けになると思う。 章の始めに関連ある既習事項の振り返りが入っていて、わかりやすい。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 端っこに考察のQRコードが載っているのがいい。 会話で進行していくことが多く、理解しやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、各章の「利用」で、問題を解決するときの手順やヒントが示されており、生徒の思考力・判断力・表現力の育成ができるよう、よく工夫されている。さらに、巻末の「チャレンジ編」では、「力をつけよう」「力をのばそう」と区別され、デジタルコンテンツの「補充」では、問と同じ形の問題や発展的な問題が繰り返し解くことができ、興味や関心に応じて取り組めるよう、よく工夫されている。加えて、「日本の気候変動」の題材では、地球温暖化に伴う気候の変化が掲載されており、より身近な問題として環境保全の態度を養えるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	巻頭に、「数学の学習を始めよう！」「学びに向かう力を育てよう！」「数学的な見方・考え方を身につけよう！」などの項目で学び方を示し、目標を達成できるよう、よく工夫されている。(各学年 p. 4)
	2 ①	各章の「章の扉」では、日常生活や社会の事象、数学の事象から問題を見だし、問いを持たせる展開となっており、生徒が興味や関心を持って主体的に学ぼうとする意欲的な態度が育まれるよう、とても配慮されている。(1年 p. 116、2年 p. 38、3年 p. 202)
	②	「学び合おう」には、切り離して使用できるワークシートを巻末に用意しており、「対話シート」を使って互いに考えを伝え合う協働的な学びを通して、考える力や説明する力を高めることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 299 など)
	③	「学び合おう」では、問題解決の過程を「見通しをもとう」「考えよう」「話し合おう」「ふり返ろう」「深めよう」(「もっと深めよう」)の5~6段階で示されており、生徒が自分で考えを深めることができるよう、よく工夫されている。(3年 p. 36 など)
	3	「例」と「問」そして「練習問題」「章の問題」が適切に設けられており、生徒が基礎・基本を確実に定着できるよう、配慮されている。(3年 p. 66 など)
	4	「数学を仕事に生かす」では、生活の中の数学や社会で働く人の姿から、勤労観や職業観を育むことができるよう、工夫されている。(1年 p. 250、2年 p. 204 など)
	5	「空き缶を集めてリサイクル」「自動車が止まるまでの距離を考えよう」などの題材では、生徒が公共の精神を持ち、社会の形成に参画しようとする態度や社会規範を守ろうとする態度を形成できるよう、工夫されている。(2年 p. 57、3年 p. 112)
	6	「地震のP波とS波」「雷に気をつけよう」の題材では、自然の大きさや防災について考えることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 253、2年 p. 87)
	7	「エラトステネスのふるい」「記号∞の起源」などの題材では、他国を尊重し、異文化を理解する態度を養う内容となるよう、工夫されている。(1年 p. 56、3年 p. 136)
	8	UD フォントや配色、線種、意味や文節での改行などに配慮されたユニバーサルデザインを取り入れたレイアウトで、誰もが見やすく理解できるよう、よく工夫されている。
教科書展示会等の結果 (学校 4 一般 0 生徒 6 合計 10)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・余白が大きい。言語化してあることが多く、数学らしい言葉遣いの定着を狙っているように感じた。 ・次の章を学ぶ前のページが、振り返りにとても良いと感じた。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要な部分の色分けがされたりして目立つようになっていた。 ・問題が見やすかったし、表紙も数学という感じがしてよかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、巻頭に、「数学の学習を始めよう！」「学びに向かう力を育てよう！」「数学的な見方・考え方を身につけよう！」などの項目で学び方を示し、目標を達成できるよう、よく工夫されている。さらに、各章の「章の扉」では、日常生活や社会の事象、数学の事象から問題を見だし、問いを持たせる展開となっており、生徒が興味や関心を持って主体的に学ぼうとする意欲的な態度が育まれるよう、とても配慮されている。加えて、「地震のP波とS波」「雷に気をつけよう」の題材では、自然の大きさや防災について考えることができるよう、よく工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 18 一般 1 生徒 22 合計 41)

【学校】

- ・説明能力が問わせる問題が増えており、対話的な学びを重要視しているように感じた。余白が広く、ユニバーサルデザインがより意識されている。QRコードが増えていて、教育のIT化についても意識されており、生徒にとってもわかりやすく、教師にとっても授業しやすくなっていると思います。
- ・どの教科書もキャラクターが登場し、会話を通して導入がしてあり、生徒に寄り添った内容にしてあった。また、図が色遣いや見せ方など工夫してあり、分かりやすかった。
- ・各教科書の巻末に着目しました。どの会社も工夫があり、楽しく学習できそうな題材がたくさん載っていました。和算やSDGsなど、不易と流行がともに大切に扱われていると思いました。
- ・高校とのつながりを意識している教科書が多くなったように感じた。
- ・後ろ表紙の公式集が復活していたので良かったです！
- ・啓林館以外の教科書もそれぞれの教科書会社のよさがあった。数学は苦手意識をもちやすいため、導入が生徒の興味を持ちやすい内容であったり、応用問題もレベルが簡単などころから始められるのもであると、様々な生徒に対応できると思った。
- ・啓林館を授業で活用していますので、拝見しました。ICT活用に特化した教科書になっていてよいです。例えば、家庭学習に使用できる補充問題をタブレットで読み込むことができている。
- ・カラフルになり、生徒からすると手に取りやすい雰囲気になっていると感じた。
- ・色合いがバリアフリーに配慮してあると感じた。日常生活でどのように役立っているのかが感じられるような内容も増えているように感じた。
- ・どの教科書も、カラーになり、見やすくなりました。その分、教科書が重くなり持ち帰るのが大変でしょうか。QRコードが増え、映像で、理解を助けてもらえる場面が増えたようです。しかしながら、文章を読んで書いてあることを、自分がわかりやすいように、図式化する力を身につけるといった点では、以前の教科書の方がまさっている気がします。デジタルコンテンツは、増えてタブレットを有効に使える機会はふえました。書くことに抵抗がある生徒が増えないことを願います。
- ・全体的に表紙が幼い感じがしました。

【一般】

- ・中学校数学は、視覚的に見やすい教科書が多かった。中でも啓林館と日本文教出版はとくに見やすかった。

【生徒】

- ・まず、表の絵が良くて内容は、覚えたいキーワードなどを濃く書いていたので良かったと思う。
- ・まずは、絵が良くてやる気も出るなと思いました。大切なところの色が濃くなっているのがいいなと思いました。図があるところもです。あとわかりやすかったです。
- ・問題が見やすかったし、一つ一つが綺麗にまとめられていたので、解きやすいと思いました。
- ・習った単元が終わったらもう一度解くのがいい。
- ・大切な言葉は太く囲んだり色で分けたりしていて、わかりやすかった。
- ・全体的に見やすく大事なところがわかりやすいなと思いました。
- ・それぞれの教科があって内容とかほぼ一緒だけど分かりやすいのがいっぱいありよかった。
- ・全体的に見て、スタイリッシュなデザインだと持ち運びやすいし、使っていて良いなと思えるデザインだったら勉強したくなると思いました。
- ・表紙に興味湧くと使いたくなると思いました。
- ・どの教科書にも今の時代に合った工夫が見られた。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各単元・章の最初と最後のページに「Before & After」があり、学習前と学習後に同じ質問について考えることで、効果的な振り返りができるように、とても工夫されている。
	2 ①	各単元・各章の始めに、関連する写真を大きく掲載し、二次元コードからも「スタート動画」を見ることができ、興味・関心を高めることができるように、とても工夫されている。(1年 p.138～139、141、2年 p.86～87、91、3年 p.8～9、11 など)
	②	対話場面を生徒のイラストで適所に掲載したり、漫画で示したりすることで、協働的に学習する態度が育成できるよう、とても工夫されている。(1年 p.24、2年 p.16 など)
	③	探究のステップに「活用」というアイコンを設け、学習したことを日常生活や社会と結び付けて考えることができるように、とても工夫されている。(1年 p.21、2年 p.20 など)
	3	単元始めの「これまでに学んだこと」では、二次元コードを利用して動画やシミュレーションを見ることができ、個々の生徒の理解に応じ、自分で既習内容を確認できるよう、とても工夫されている。(1年 p.72、2年 p.14、3年 p.128 など)
	4	「社会につながる科学」では、二次元コードを利用して、様々な職業に就いている人のインタビューを視聴することができ、科学の有用性ととも、職業観を育むことができるよう、とても工夫されている。(1年 p.137、2年 p.85、3年 p.71)
	5	1年生は巻頭に、2・3年生では巻末に「理科室の決まり」を掲載し、「理科室の心得」や「やってはいけないこと三原則」を記し、応急処置や地震が起きたときの対応などを詳細に掲載している。また、1年生では、イラストで誤った行動を示し、生徒自ら正しい方法を考えることができるよう、工夫されている。(1年 p.8、2年 p.292、3年 p.310)
	6	「私たちのSDGs」が関連したところに掲載され、よりよい未来をつくるために、生徒自ら何ができるかを考えることができるよう、工夫されている。(1年 p.31、2年 p.199 など)
7	伝統については、「たたら製鉄」(2年 p.61)が記されており、また「温泉と酸性・アルカリ性」(3年 p.39)では草津温泉について取り上げるなど、郷土愛を深めるよう、工夫されている。	
8	生徒のイラストについて、服装は男女同じ色のシャツを着用している。肌の色、髪の色、車いすの使用など、一部に多様性がみられ、配慮されている。(1年 p.85、87、102 など)	
教科書展示会等の結果 (学校9 一般0 生徒6 合計15)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙に自然現象の不思議さが写真として示してあるのは、子どもの意欲を高める上でよい工夫だと感じた。 わかりやすくまとめられており、二次元コードも充実していた。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 探究する 新しい科学 「次の？に会いに行こう」で、普通の教科書じゃなくて、疑問を探るのが大事と、先生が言ったことみたいなのが書いてあったから。 図に記号をつけてあり、どれを見ればいいのか分かりやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>学習指導要領の理科で重視されている「科学的に探究する力」を育むために、ビジュアルな紙面構成から学習意欲を引き出す工夫がなされている。単元扉や章扉には「スタート動画」が設定されており、学習の動機付けを行う仕組みとなっている。節のはじめには「レッツスタート」として『問題発見』の場面があり、その「課題」をもとに、生徒が目的意識を持ち続けて学べるよう、工夫されている。また、教科書のレイアウトが流れを追いやすい構成となっており、生徒の視線の移動が少なく、学習内容の理解の深まりにつながっている。さらに、基礎的・基本的な学力が身につくよう、「Before & After」では学習の前後で振り返りができるようになっており、生徒の深い学びにつながるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
大日本図書	1	単元末には「まとめ」や「単元末問題」、「読解力問題」が設けられており、生徒の学力が確実に高まるように工夫されている。(1年 p. 66～69、2年 p. 74～78、3年 p. 78～82)
	2 ①	単元の終わりに、学習活動を振り返って行う「探究活動」があり、生徒が主体的に探究活動を行うことができるよう、工夫されている。(1年 p. 64～65、2年 p. 148～149 など)
	②	「話し合おう」の場面では、生徒のイラストと吹き出しを掲載し、対話しながら協働的な学びを深めていくための具体的なイメージが持てるよう、工夫されている。(1年 p. 24)
	③	その単元で探究すべき課題を「？」を使って示し、1年生の巻末にある「見方の例」「考え方の例」を用いて探究することで、生徒に問題解決の力が育つよう、工夫がみられる。(1年 p. 21、268～269、2年 p. 11、3年 p. 10 など)
	3	二次元コードを利用して、ルーペの使い方や電流計の使い方、記録タイマーによる運動の記録の仕方等、実験の基本操作について動画で確認することができるように、工夫がみられる。(1年 p. 19、2年 p. 163、3年 p. 33 など)
	4	「Professional」では研究者へのインタビューが掲載され、職業観を育てることができるよう、とても工夫されている。(1年 p. 63、2年 p. 289、3年 p. 178 など)
	5	1年生は巻頭に、2・3年生では巻末に「理科室のきまり」を掲載し、「実験の心構え」や「火を使うときの注意」「地震の時の注意」を記している。また、全学年に、イラストで誤った行動を示し、生徒自ら正しい方法を考えることができるよう、工夫されている。(1年 p. 6～7、2年 p. 302～303、3年 p. 352～353)
	6	3年地域の自然災害では、阿蘇山の活動についての「私のレポート」が紹介されており、生徒自ら対策を考える力を育むよう、工夫されている。(3年 p. 298)
7	「日本を知る」のマークのついた資料は、日本伝統・文化やものづくりについても学べ(1年 p. 25 など)、「そのころの日本」では、日本の歴史に関心が持てるよう、工夫されている。(1年 p. 97 など)	
8	生徒のイラストについて、服装は男女同じ白いシャツに緑のネクタイである。役割や性別に偏りが生じないよう、配慮されている。(1年 p. 24、2年 p. 97、3年 p. 16 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 11 一般 0 生徒 4 合計 15)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> これまで使用してきた経験の長い教員にとっては使いやすいと思われるが、今回新しくなっていないので、他の教科書に比べて、二次元コードなどが少なかったり、「単元問題」などもややシンプルでであったりと物足りなさを感じる。 図や絵が多い。唯一 B5 の教科書で、ノートと同サイズなのが良かった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 途中で問題がついていて予習&復習がしやすい。 基本の基本がまとめられているのでとても見やすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>学習指導要領の理科の趣旨を踏まえ、生徒が見通しを持って学習に取り組めるように、「課題の把握」「課題の探究」「課題の解決」「探究活動」「単元のまとめ・単元末問題・読解力問題」「巻末資料」という6つの段階で各単元が構成されている。探究の過程全体を通して、理科における資質・能力の育成が図れるよう工夫されており、学習の振り返りがしやすいまとめや問題が充実している。また、理科での学びを日常生活や文化・伝統・歴史、科学技術、環境保全につなげて考えることができるよう、幅広い視点につながる資料もある。さらに、取り組みやすい観察・実験に重点が置かれており、UDフォントの使用や、改行の工夫など、特別支援教育に配慮したつくりで、全ての生徒に読みやすく使いやすい紙面の工夫がなされている。</p>		

発行	観点	調査結果
学校図書	1	単元始めの「Can - Do List」で、できるようになりたい目標が、学習指導要領に示された三つの柱に沿って明確に記されており、とても工夫されている。(1年 p.7 など)
	2 ①	単元始めに、見開きのダイナミックな写真が使われ、興味・関心を学習ができるよう、工夫されている。(3年 p.146 など)
	②	全学年で生徒や教師のイラストが数多く用いられて、疑問や意見を交わしている場面が設定されており、生徒の対話が活発になるよう、とても工夫されている。(1年 p.51 など)
	③	各頁に「この時間の課題」や「この時間の見方」「考え方」などの例の記載があり、新しい知識を既習事項と結びつけるヒントが示され、工夫されている。(3年 p.118 など)
	3	二次元コードから「ミライ教科書」にアクセスすると、上位学年や下位学年へのページリンクにより、復習したり興味を膨らませたりすることができ、チャットボットに理科の質問を打ち込むと、教科書の記述や練習問題などを教えてくれるなど、個に応じた学習が、とても充実している。(全学年)
	4	1年の巻末補充資料の中で、社会に貢献する人たちが紹介され、2・3年の補充資料の中では、SDGsを意識した地域の産業や企業、活動団体などが生徒のイラストつきで紹介しており、工夫されている。(1年 p.202～203、2年 p.240～241 など)
	5	1年生の巻末の補充資料の中に、「理科室の使い方」を掲載し、「基本」「探究を始める前、行うとき、終わったら」「活動中に地震が起こったら」を記している。また、同じ補充資料の中にさまざまな器具や薬品の使い方、野外調査の注意点等がまとめてあり、生徒が安全への意識を高めることができるよう、工夫されている。(1年 p.206～215)
	6	各章の扉に、SDGsとの関連の一例をマークで示しており、また、巻末の補充資料に「SDGsを意識して脱炭素社会へ」を掲載し、環境問題に目が向くように、工夫されている。
	7	箏の演奏の写真や青森ねぶた祭の山車を引く人の写真がダイナミックに見開きで掲載されるなど伝統文化について興味・関心が高まるよう、工夫されている。(1年 p.120 など)
	8	生徒のイラストについて、肌の色は示さず、男女で服装が異なっている。対話の場面も正面を向いたイラストが多い。教師の性別や眼鏡の有無などはバランスが考えられており、配慮が見られる。(教科書全体)
教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 0 生徒 8 合計 13)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード教材がたくさんあり充実している。写真一つ一つが大きく、とても見やすい。文字も大きい部分と小さくたくさん書かれている部分とメリハリがあり、工夫されている。巻末には資料集的に多くのことがまとめてあり利用しやすい。やや「学習のまとめ」の部分は少なく感じた。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ページずつに二次元コードがあって一番いいと思います私は普通に買いたいです。 ・線が引いてあってわかりやすかったです。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>学習指導要領の理科の目標に掲げられた「科学的に探究するために必要な資質・能力」を育成するために、巻頭には「課題をとらえる」「実施する」「結果から考察する」の3つのステップが示されている。各章の始めには「Can - Do List」が記されており、できるようになりたい目標が具体的に、そして詳細に示されている。各章の始めには、見開きでダイナミックな写真が掲載されており、また頁内にも多くの写真が掲載されるなど、効果的に学習意欲を引き出す工夫がなされている。「探究」の中にある「気づき」「計画」「仮説」「考察」で、生徒や教師のキャラクターを多く用いて疑問や意見を示しており、「対話的な学び」から「深い学び」へとつながるよう、様々な工夫が施されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
教育出版	1	各章毎に「要点をチェック」があり、単元の最後には、「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」、巻末には「学年末総合問題」が掲載され、5段階のチェックで、基礎的・基本的な学力が身に付くように、とても工夫されている。(1年 p. 63～68 など)
	2	1年の岩石の学習において、写真だけでなく3Dモデルを頁の下部にある二次元コードから見ることができ、興味・関心を高めることができるよう、工夫されている。(1年 p. 150)
	①	
	②	「疑問」「仮説」「計画」などの探究の過程ごとに、生徒のイラストを使って意見交換し、科学的な根拠に基づいて議論するなど、対話する場面が数多く記載されており、生徒が対話的に学び合って学習を進められるよう、とても工夫されている。(1年 p. 74～75 など)
	③	全学年「課題」「仮説」「計画」「観察・実験」「考察」「結論」の流れが明確に示され、p. ⑤の折り込みを利用して、頁を開いた状態でも確認できるよう、とても工夫されている。
	3	読み物資料「ハローサイエンス」や「広がる科学の世界」では、高等学校の学習内容を扱うものもあり、興味・関心が高まるよう、工夫されている。(1年 p. 177、203 など)
	4	「ハローサイエンス」では、アジア初の新元素を発見した研究者のコラムや、「広がる科学の世界」ではIPS細胞の作成に成功した山中博士についてのコラムを掲載し、科学分野で活躍する人々を紹介するなど、工夫されている。(2年 p. 22、3年 p. 115 など)
	5	全学年、巻頭に基礎技能として「理科室のきまりと応急処置」が掲載されており、「理科室のきまり」「薬品等の扱い」「応急処置」「地震が起きたときには」「感染症が広がっているときには」について全学年共通した内容が記され、授業を始めるに当たって、指導しやすいよう、工夫されている。(全学年 p. 2～3)
	6	多くの植物や身近な動物の写真や、古代の生物の化石や生活環境のイラスト(1年 p. 158～161)が掲載されており、生徒の興味・関心が高まるよう、とても工夫されている。
	7	巻末資料に、日本の歴代ノーベル賞受賞者が掲載され、巻末の「探究の歴史」には、科学技術の発展に寄与したさまざまな世界の科学者の業績がまとめられ、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう、工夫されている。(3年 p. 326、p. ⑨～⑩)
8	生徒のイラストについて、服装は男女同じ白いシャツである。髪の色、肌の色など、一部に多様性が見られ、配慮されている。(1年 p. 15、3年 p. 268 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 0 生徒 6 合計 12)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・ シンプルな構成で、非常に見やすいものになっていて、生徒が自分で復習をする時にわかりやすい構成だと思う。 ・ 文字が大きめであるのと太字の用語が黒ではなくオレンジで示してあり見やすくできていた。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 図と文章の境目がわかりにくかったです。 ・ 表紙が綺麗、文字が大きい、図が小さい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>学習指導要領の理科の目標に示される「科学的に探究する力」が育まれるように、各学年の教科書の巻頭には「探究の進め方」が記載され、探究学習をどのように進めていけばよいのか、折り込みでいつでも確認できるようになっている。各単元に1か所程度、探究学習が設定されており、提示された現象から疑問点をつかみ、順序立てて探究学習を進めていけるような構成となっている。また、確かな学力の定着のため、「要点をチェック」「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」と5つのステップで土台となる科学的な知識・技能を習得できるよう工夫されている。さらに、デジタルの学びについても、「まなびリンク」「まなびリンク+」を通して、個に応じた学習が展開できるようになっている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
啓 林 館	1	単元始めの「学ぶ前にトライ」及び二次元コードから読み取れる「振り返りシート」で、単元を貫く本質的な問いが設定されており、「学んだ後にリトライ」で、同じ問いを再考することで自分の成長を実感できるように、とても工夫されている。(1年 p.19 など)
	2 ①	各章の最初の頁「はてなスイッチ」の二次元コードが設けられており、その動画視聴により興味・関心が高まるよう、とても工夫されている。(1年 p.65、73、2年 p.4、18 など)
	②	探Q実験において、巻末の切り取りシートまたは二次元コードを利用して、まず自分の考えを入力し、他の人の考えを聞いたうえで、根拠を持って仮説を立てることができるように、とても工夫されている。(1年 p.15、2年 p.35、3年 p.23 など)
	③	各節ごとに「Action」が配置されており、新たな課題に対して、学習して身に付けた力を活用することができるように、とても工夫されている。(1年 p.77、2年 p.87 など)
	3	章末の「Review」「学習のまとめ」では、二次元コードを利用して個別に繰り返し学習することができ、「力だめし」では身に付いた知識・技能を「動画でチャレンジ！」で更に活用できるように、とても工夫されている。(1年 p.53～58、2年 p.59～64 など)
	4	「お仕事ラボ」で、学習内容と職業との関連が紹介されており、暮らしの中に理科の学びが活かされていることを認識させ、将来に向けた勤労観・職業観が育まれるよう、とても工夫されている。(1年 p.108、2年 p.53、3年 p.91 など)
	5	各学年のサイエンス資料に「実験を正しく安全に進めるために」を掲載し、実験前、実験中、実験後の注意点と共に、「地震が発生した場合」、「危険に備えて～事故の予防と対処法～」について生徒のイラストを添えて記されている。
	6	関連するコラムや資料などに「SDGs マーク」が添えられている。また、巻末に「地域・環境資料集」を掲載し、全国6地域のSDGs目標達成への取り組みを紹介し、更に意識を高めることができるよう、とても工夫されている。(全学年巻末 p.⑫～⑬など)
	7	熊本に関する記述は、「ステゴサウルス(御船町恐竜博物館)」、「馬場楠井手の鼻ぐり(菊陽町)」、「火力発電所(荅北町)」などが掲載され、充実している。
	8	生徒のイラストについて、肌の色、服装に多様性が見られ、ズボンを着用した女子生徒も掲載されるなど、とても配慮されている。(2年 p.132～133)
教科書展示会等の結果 (学校 15 一般 0 生徒 3 合計 18)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードで実験の動画や説明などを見ることができるので、生徒が家庭学習で振り返ることができるので良いと思いました。 ・落ち着いた色合いに変わり、写真が大きくなったので見やすい。本文や指導内容と資料の整合性が高くなったので、授業に活かしやすい。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・言葉では表せないわかりやすさがある。 ・字が少し小さく見にくかったです。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>学習指導要領の改訂を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」「協働的な学び」「個別最適な学び」を柱とする構成になっている。「単元導入」として、見開きのダイナミックな写真が学習意欲の喚起につながっており、観察・実験の「展開」の部分では『探Q実験』『探Qシート』を通して「探究する力」を育む過程が組み込まれている。また、「まとめ」の部分では活用・応用、ふり返り、問題演習のための『Action』『Review』『力だめし』が掲載されており、効率よく学習が深まるよう、とても工夫されている。さらに、二次元コンテンツも充実しており、「はてなスイッチ」「ICTでトライ」「ふり返りシート」「動画でチャレンジ」などの豊富な内容で、個別最適な学びを実現している。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 28 一般 1 生徒 17 合計 46)

【学校】

- ・学習の流れにそった内容で学びやすくなっていました。
- ・全体的に探究的な活動を意識して構成してあり、生徒の主体的な活動へつなげやすい工夫が見られた。また、二次元コードが増え、各教科書で工夫を凝らしたデジタル教材があり興味をもって学ぶことができるようになっていた。
- ・どの教科書も写真やイラストが多かった。また、発展的な内容が補足してある教科書、興味がある生徒にはうれいしと思う。どの教科書が良いというわけではないが、実験への疑問の投げかけ方の違いがあったり、学ぶ前後での変容がわかるような問いかけが各社で工夫されていると感じた。
- ・学習指導要領が変わっていないので、全体的に内容も変わっていない印象でした。啓林館は单元ごとに振り返りが設けられており、学習指導要領の考え方が反映されたものであると感じる。また、随所に二次元コードがあり、家庭で学習する生徒にとってとても役立つと思う。情報が多い印象もあるが、理科が得意な生徒にとっては満足できる内容になっているのではないかと思います。
- ・写真や二次元コードなど前回の教科書に比べ、多く掲載されており、子どもたちの学習の手助けになると思う。

【一般】

- ・理科を中心に閲覧しました。どの教科書も工夫がされていて、見やすくなっている、つかいやすくなっているなど感じます。なかでも QR コードを用いて、実験や観察の様子の説明、また発展学習の解説など、どんどん進化しているなど感じました。自分で利用しながら教科書は A 4 サイズがいいなと思っていますが、子どもたちにとってはどうなのかと最近思うようになりました。A 4 サイズがのせる情報量が多いのではという思いこみなのですが。子どもたちにとってはどうなのだろうと思っています。今後も教師も子どもも利用しやすい教科書が作成されることを願います。

【生徒】

- ・理科の教科書は、表紙も好みのものが多かったし新しい科学と書いてある部分も理科っぽくて好きでした。内容も前の教科書より資料が多かったり、矢印などを使って注目するところに線を引いていたりなどいろんな工夫があつてとてもよかったです。
- ・二次元コードがあつてわかりやすい。表紙が綺麗で内容が短くわかりやすい(表や図がある)
- ・表紙から内容に関連していてわかりやすい。QR コードがあつて良い。大切なところには色分けされていて良い
- ・どれもわかりやすい図や写真、表などがあつた。
- ・絵などで見てみたくなる教科書が多いと思います。
- ・テストに出そうなところなどを色付けしたり、重要語、重要記号な場所を取ったりするのいいと思います。(みんなが手に取る)
- ・大事な言葉に太字で色がついていて、重要記号などもしっかり記されている方がいい。
- ・大切な言葉を太文字で書かれてあつて分かりやすかったです。この問題を解くというのが分かりました。
- ・教科書によってのってる内容は同じでも表現の仕方が異なっていて、新鮮で楽しかったです。
- ・基本的にわかりやすかった。会社ごとに実験内容が微妙に違ったりして面白かった。
- ・基本的に全部良かった。会社ごとに少し違う内容で面白かった。
- ・今の教科書とは違うところがあつていいなと思った。

発行	観点	調査結果
教育出版	1	学習指導要領の各学年の目標や内容に対応した題材が、系統性と発展性を持って組織され、全学年を通じた領域・分野ごとの系統性に基づいて配置されている。
	2	アウトリーチについて写真付きで掲載されており、音楽を通じた教育活動を通して生活や社会とのつながりが理解できるよう工夫されている。(例:2・3年下「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」 p.66～67)
	①	音楽を形づくっている要素の働きから感じ取ったことを話し合い、学習を深めることができ、工夫されている。(2・3上「どんな特徴があるかな」 p.62)
	②	思いや意図を生かして創作ができるよう、キャラクターが吹き出しで活動の手順を示すなど、工夫されている。(例:2・3下「音のスケッチ」 p.30～33)
	③	全学年において全校合唱曲「故郷」が掲載されており、学習段階において編成が工夫されている。
	3	アウトリーチなど、音楽が実社会で活用されていることについて紹介されており、生活や職業と音楽とのかかわりについて考えることができるよう、工夫されている。(例:2・3下「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」 p.66～67)
	4	著作物について身近な疑問をQ&Aで示してあり、とても工夫されている。(2・3年上「私たちのくらしと音楽」 p.64～65)
	5	日本の自然の情景を歌った楽曲を取り上げるとともに、印象的で美しい写真が数多く掲載されとても充実している。(例2・3上「日本の歌 みんなの歌」 p.16 など)
	6	歌舞伎と文楽を比較して、共通点や相違点を見つけたり、鑑賞で学習した音楽の特徴を体験しながら学習したりすることで、自分なりの価値をもち理解を深めることができるよう、とても工夫されている。(2・3下「歌舞伎勸進帳」 p.42～49)
	7	鑑賞教材では、写真や絵を大きく取り上げ、生徒がイメージを持ちやすいよう示されており、工夫されている。
教科書展示会等の結果（ 学校 3 一般 0 生徒 0 合計 4）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年で取り扱う題材（教材）が適切。学年によって生徒が無理なく発声出来る歌唱教材が記載されている。表紙が低年齢化しているように思う。 ・「教育出版」・・・日本の伝統音楽（芸能）の掲載曲が多く、比較鑑賞することができる内容になっているため、違いや共通点に気付き、学習が深まる内容となっている。 ・教育出版は合唱曲を多く掲載されていて、校内の合唱には使いやすい。 <p>【一般】 なし。</p> <p>【生徒】 なし。</p>		
選定委員会の意見		
<p>音楽科の目標及び内容を着実に達成するために、学習目標と活動文が分かりやすく記述され、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように構成されている。また、伝統と文化に関する教材は、題材が多く掲載されていることで、教材を繋げたり主要教材と関連教材を比較したりすることで学習を深めることができるよう工夫されている。歌舞伎や文楽など日本音楽を学習した後に、長唄などの表現活動を体験することで実感を伴った学習につなげることができるよう工夫されている。加えてウェブサイトのデジタル教材「学びリンク」（二次元コード）は、教科書の内容にリンクした音声や動画、ワークシートで構成されており、音楽的な見方・考え方を働かせながら学習が展開できるよう充実している。</p>		

発行	観点	調査結果
教育芸術社	1	音楽科の目標及び内容が領域ごとに提示され、学習内容と各教材との関連が表してある。〔共通事項〕についてもそれぞれの教材で何を学習するのか把握ができ、教材の系統配列も明確に示され、とても工夫されている。
	2 ①	音楽の学びを振り返ろうというタイトルで、学んだことを振り返り他者へ伝えるプレゼンを考えるコーナーが設定され、よく工夫されている。（例：1年「音楽の学びを振り返ろう」p. 91 など）
	②	全学年、全領域の学習内容に「学びのコンパス」のコーナーがあり、学習理解を深める活動を段階的に協働で実施できるようになっており、とても工夫されている。
	③	楽器の演奏や記譜に課題がある生徒も、創作ツールを活用することで、主体的に学習が行えるようにとても工夫してある。
	3	「指揮をしてみよう」のコーナーでは、段階的に学習活動が深まる工夫がされている。（例：1年「指揮をしてみよう！」p. 40～41）
	4	オペラの上演に関わる人々の仕事が分かりやすく図で解説されており、芸術と職業のつながりを知る資料として、とても充実している。（例：2・3年上「オペラ上演に関わるさまざまな人たち」p. 51）
	5	生徒に分かりやすい絵やことばで具体例を挙げながら、情報モラルや著作権についての学習ができるよう、とても工夫されている。（例：1年「ルールを守って音楽を楽しもう」p. 66～67 など）
	6	生命尊重や友情、希望などを取り上げた楽曲が多く掲載され、他者を尊重し生命を大切に思う心を育てるよう、工夫されている。
	7	日本音楽の歴史や発展してきた流れが理解できるようにとても工夫されている。（例：1年「日本音楽入門」p. 50～52）
	8	「世界の諸民族の音楽」では、日本と世界の楽器と聴き比べることで、諸外国の音楽文化への理解を深められるよう、工夫されている。また、「ポピュラー音楽」では、影響し合う様々な音楽を地図で分かりやすく示し、多様性について考えられるよう、配慮されている。（例：2・3年下 p. 56～59 など）
教科書展示会等の結果（ 学校 3 一般 0 生徒 1 合計 4）		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在扱っているところだが、より詳しくわかりやすい内容になっていた。 ・「学びのコンパス」のページが協働学習を促し、学びを深めるための手立てとなっている。また、「イラストによる吹き出し」学習活動を促す内容となっている。 <p>【一般】 なし。</p> <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見やすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>音楽科の目標及び内容を着実に達成するために、「学習目標」と「活動文」が分かりやすく記述されている。さらに「考えたいポイント」を問いかけることで、生徒が課題意識を持ち、主体的に学習に取り組むことができるように構成されている。</p> <p>学習指導要領に示された3つの資質・能力と、学習内容や教材を示した「学びの地図」があり、身に付ける学力が明確に示されており、生徒が見通しを持って学習できる工夫がとてもなされている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見（ 学校 6 一般 0 生徒 1 合計 7 ）

【学校】

- ・現在の教科書とあまり変更はなかった。
- ・音楽全体としては、例年教材はさほど変わらないが、内容は工夫されており、授業しやすくなっている。
- ・内容や表記の大幅な変更はなかったものの、資料として載っているページが多くこどもの興味を持てるものになっていてよかったです。
- ・生徒の興味関心を引き出すような工夫がなされている。
- ・掲載される合唱曲はあまり短いサイクルで変えないでほしい。歌わせたいと思った年度になくなっている曲がいくつもあった
- ・各社とも二次元コードによる動画や音声、資料の提示ができるようになっており、主体的に学習に取り組むことを意識している内容になっていた。また、意見交流、グループ活動を意識したページが構成されており、思考を深める場面、活用する内容を含んでいた。

【一般】なし

【生徒】

- ・見やすい。

発行	観点	調査結果
教育出版	1	ソプラノリコーダーとアルトリコーダーで違った曲を課題として楽器の特性に合った選曲を行ったり、息のコントロール図を示してわかりやすく説明したりし、目標に迫まるための手立てとしている。(例:「リコーダー」p.17)
	2	各楽器の詳しい解説図や写真など、教科書を使って主体的に取り組み、技能を身に付けることができるよう工夫している。(例:三味線の撥の詳しい持ち方の図 p.55)
	②	合奏では、楽器・構成・オプション旋律などを話し合う「対話的な学び」により、自分や小集団の考えを広め深めることができるよう工夫されている。(例:「音のスケッチ」)
	③	「深めてみよう」では、学習した内容を生かして更にレベルアップした奏法を使って演奏する曲を提示することでより深めることができるよう工夫されている。(例:「深めてみよう」p.37)
	3	アルトリコーダーでは、難易度の高い曲を配置し、発展的に学習するとともに、鑑賞とも関連を図り、知識と技能を結び付けて充実した学習ができるよう工夫されている。(例:「ブランデンブルク協奏曲」p.21)
	4	各楽器の学習の冒頭に、プロ奏者からのメッセージが掲載されており、それぞれの楽器の魅力に触れるとともに、演奏家という職業への理解を深めるよう工夫されている。(例:「表現を求めて」p.8)
	5	ストリートピアノの紹介では、表現により積極的に社会と関わることが紹介され、社会の発展に寄与する態度を養う工夫がなされている。(例:「音楽のチカラで人と社会を未来へつなぐ」p.4)
	6	美しい自然を思いおこさせるような曲を採用し、自然を大切にしようとする態度を育てよう、工夫されている。(例:「さくらさくら」p.64)
	7	諸外国の楽器を紹介することで自国の楽器と外国の楽器を比べ、他国を尊重する態度を養えるような工夫がよくされている。(例:「吹く楽器の仲間たち」p.31)
	8	写真の大きさや絵図の配置など、誰もがポイントを理解し、練習を進められるよう配慮されている。また、ギターや箏など指の押さえ方や弦の弾き方について大きな写真とともに文章でわかりやすく示されており、とても工夫されている。(例:「ギターの各部の名称」p.33)
		教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 0 生徒 0 合計 0)
		【学校】「人権などに細かな配慮が見られた。創作の部分が、じっくり考えてやり方を試行してみないといけない。」 【一般】なし。 【生徒】なし。
選 定 委 員 会 の 意 見		
音楽科の目標及び内容を達成するため、見開きごとに学習を見通せる紙面構成になっており、生徒がスモールステップで主体的に取り組むことができるよう、工夫されている。また、ウェブサイトのデジタル教材「学びリンク」については、音声や動画を活用することで、楽器の正しい奏法や音色を感じ取りとることができるよう工夫されている。さらに、器楽と関連させた創作活動も取り入れられており、見通しを持って学習に取り組み、深い学びにつながるよう工夫されている。		

発行	観点	調査結果
教育芸術社	1	アンサンブル楽曲にはそれぞれ「何をねらって演奏練習すれば楽しめるか」が囲みで示され、音楽科の目標・内容が達成できるようになっている。また、楽器の構え方や細かな注意点について二次元コードから視聴できる動画は、言葉や文字を超えた情報を生徒に提供することができ、目標達成に大きく寄与している。(例:p.71)
	2	器楽への導入として、ドラマーである筆者の幼いころの体験を語る言葉が掲載され、
	①	学ぶことそのものに興味を持たせ、生徒のキャリア形成の方向性に関連付け主体的な学びが実現されるようとても工夫されている。(例:p.2メッセージ)
	②	アーティキュレーション例を参考に演奏し、話し合いにより演奏を高め合うなど、「対話的な学び」が実現できるようとても工夫されている。(例:p.17学びのコンパス)
	③	パートの役割を考えて楽器を選び合奏に取り組む課題では、これまでに身に付けた知識・技能を生かし、よりよい音や演奏を模索し、深い学びを実現することができるようよく工夫されている。(例:p.93「奏法について」)
	3	旋律楽器の演奏に打楽器を付加する楽曲を掲載するなど、発展的に学習できるよう工夫されている。(例:p.77「トリストレーザ」)
	4	和楽器の学習では、「よい姿勢がよい音につながる」「礼に始まり礼に終わる」などの内容が示され、生活とのつながりが意識できるよう工夫されている。(例:p.36「姿勢と礼儀」)
	5	曲の中で互いの役割を考えたり、示された音を重ねるルールに沿って演奏を工夫したりすることにより、和音の美しい響きや、互いの役割を感じ取り、よりよい表現を求められるよう工夫されている。(例:「パートの役割を考えよう」p.81)
	6	「樹木の枝や幹、葉。動物の毛や皮、爪。楽器を弾くことで多くの自然素材とコミュニケーションをとる」という言葉に始まり、和楽器の成り立ち紹介でも「ニシキヘビの皮、猫や犬の皮、篠竹」など、素材を具体的に記し、自然との関わりを明確に示している。(例:「音楽って何だろう?」p.4)
	7	掲載された写真はすべて二次元コードから動画を鑑賞できるようになっており、多様な文化への理解を深めることができるよう工夫されている。楽器の解説や演奏に用いる言葉の解説が充実しており、我が国や他国の伝統と文化を尊重する態度を養うための工夫がとてなされている。
8	共生の土台となる考え方が示され、人権教育を推進するための工夫がとてなされている。(「心と心をつなぐリズムの響きを求めて」p.50)	
教科書展示会等の結果 (学校 2 一般 0 生徒 0 合計 0)		
【学校】「創作が格段にしやすい。ツールが秀逸。QRコードで見たり聴いたりできる内容が適切。」「リコーダーの曲は、一単元でできる使いやすい教材で良いと思う。」		
【一般】なし。		
【生徒】なし。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
音楽科の目標及び内容を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能の定着ができるよう、精選された教材を取り上げ、題材の系統配列もとても工夫されている。また、巻頭では、音楽科で身に付けられる資質・能力を確実に育成できるよう、教材の系統配列を明確に示し、器楽と創作の学習を見通す工夫がなされている。さらに、「学びのコンパス」は、具体的な手順を示し、協働しながら学習を進めるためのヒントが多数掲載されている。		

意見書 中学校 種目（器楽）

教科書展示会の全体的な意見（ 学校 5 一般 0 生徒 0 合計 0 ）

【学校】「QR コードなどが増えて学びたい人が学べるようになっている。」
「興味を引く教材配置になっている。」

【一般】なし。

【生徒】なし。

発行	観点	調査結果
開隆堂	1	表紙の「ゴッホのひまわり」の筆づかいを感じることができるような凹凸加工が施してあり、作品のよさや美しさをより体感できるよう、よく工夫されている。(2・3年表紙)
	2	生徒作品において、作者の言葉が掲載されており、作品への興味・関心を高め、主体的な学びが実現できるよう、よく工夫されている。(1年 p.18)
	①	「鑑賞シート」「振り返りシート」が二次元コードの先に準備されており、対話的な学びが深められるよう、工夫されている。
	②	原寸大の大きさを掲載されている作品があり、筆づかいや表面の質感などが細かく鑑賞でき、本物を実感できるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.26、27、45、91)
	③	巻末に「学びの資料」として、「表現」と「鑑賞」どちらにも基礎的・基本的な事項や発展的な内容を紹介する事項が掲載されており、補充的な学習が充実するよう、工夫されている。(2・3年 p.94～123)
	3	「美術と私と社会」では、美術で学んだ力を生かした仕事や職業などについて、作者の言葉を通して紹介されており、自分自身や社会とのつながりについて、美術を通じた視点で考えることができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.120～123)
	4	「共に学ぶ美術」では、美術を通して友達や地域の人たちと交流しながら生み出された作品や活動の様子が紹介されており、地域や社会に影響を与える美術の力を感じとることができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.110～111)
	5	各題材に SDGs に関する造形的な取り組みや作品を紹介したコーナーがあり、持続可能な社会の形成に寄与する美術の力を感じとることができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.37、51、63、67、75、79、85、89、93)
6	「物語だから動かしたい」では、世界に影響のある日本の漫画やアニメーションについて、絵巻物とのつながりを感じながら学習できるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.38～41)	
7	「ひと目で伝える表示」では、言語や年齢などを超えて全ての人に分かりやすく伝えるデザインを考えて表現するという視点から、共生社会を目指せるよう、とても配慮されている。(2・3年 p.64～67)	
8		
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 0 生徒 13 合計 21)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙の手触りが面白く、興味をひく。中身も優しい紙の質感と配色が良い。 作品が大きく、開放感のある並びで配置されていて想像力が膨らむような構成になっていた。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙が凹凸で教科書丸ごと芸術を感じた。たくさん芸術作品が載っていたので良いと思った。 最近のアニメが使われていて興味が出る教科書だと思った。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書には、学習指導要領の趣旨に則り、造形的な視点を豊かに持ち、社会の中の造形や美術文化と関わる資質・能力の育成を目指した工夫が見られた。特に、「主体的な学び」が実現できるよう、具体的な制作過程や多様な参考作品が掲載されており、視点を絞って作品を鑑賞したり、発想を広げたりできるよう、とても配慮されている。また、表紙の凹凸加工は、他社にない試みであり、五感に訴えかける魅力がある。さらに、各題材に SDGs に関する造形的な取り組みや作品を紹介したコーナーがあり、他教科等や社会とのつながりを意識して、持続可能な社会の形成に寄与する美術の力を感じとることができるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
光村図書	1	題材の配列がよく考えられており、系統感のあるスムーズな構成となっている。また、「表現」と「鑑賞」の相互の関連が意識されており、一つの題材の中で一体的に学ぶことができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.70～73)
	2	「日本の絵画を楽しむ五つのキーワード」では、浮世絵や水墨画、日本画等の作品を和紙のような風合いの用紙を用いて、興味や関心を持たせ、日本文化をじっくり味わうことができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.27～42)
	①	「最後の晩餐を鑑賞しよう」をはじめ主要な鑑賞の題材では、作品や作家のねらいや工夫について興味が高まる問いかけをしており、よく工夫されている。(2・3年 p.12～15)
	②	書き込みツールや解説動画等を使うことで生徒同士が見方・考え方を共有し、深い学びが実現できるよう、よく工夫されている。(1年 p.21)
	③	
	3	多くの題材で他教科等とのつながりを示すコラムがあり、他教科等での学びを意識でき、発展的な学びが充実するよう、よく工夫されている。(2・3年 p.91)
	4	「暮らしの中のデザイン・工芸」では、生活の中で身の回りにある製品等から美術との深い関わりに気付いていくことができるよう、工夫されている。(2・3年 p.68～69)
	5	「防災のデザイン」や「地域の魅力を表すパッケージ」「憩いの場をつくる」では、美術を通して公共の役に立つ喜びや主体的に行動することについて考えられるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.82～83、88～93)
	6	「明日の神話を鑑賞しよう」では、原爆への恐怖や怒りと共に復興・再生する人間の強さを感じ、生命について考えることができるよう、よく工夫されている。(2・3年 p.24～26)
	7	「暮らしをいろどる文様」「世界の仮面と出会う」では、日本と他国の表現の違いや共通点を見つけたり、よさを感じとったりすることで、日本の文化と他国の文化のどちらも尊重する態度につながるよう、よく工夫されている。(1年 p.52～53、64～65)
8	肖像権や著作権については別冊資料に文章で紹介されており、情報モラルについては教科書裏表紙の二次元コード内で紹介されていて、とても配慮されている。	
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 1 生徒 3 合計 12)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容が系統的である。また、QRコードからの題材、設問が秀逸である。 ・別冊資料に具体的な技法が載っていてよかった。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いちおしは光村図書。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本っぽくていいと思った。 ・絵が綺麗だと思う。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書には、学習指導要領の趣旨に則り、造形的な視点を豊かに持ち、社会の中の造形や美術文化と関わる資質・能力の育成に向け、随所に工夫が見られた。特に、題材の配列が秀逸で、系統感のある構成となっている。また、各題材に掲載された二次元コードの内容がよく研究されており、映像資料や書き込みツール、作者の制作過程など、生徒の「主体的」「対話的」「深い」学びを実現できるような工夫が見られ、とても充実したものとなっている。さらに、「〇〇科とのつながり」という表記があり、教科等横断的な学びが実感できるよう、よく工夫されている。別冊の資料や、和紙のような風合いの用紙を使用した日本美術の紹介、見開きによるダイナミックな作品の提示の多さなど、基礎的・基本的な学びを支え、五感を刺激する工夫が随所に見られる。</p>		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	各題材に「造形的な視点」を設け、生徒の思考を促す問いかけが掲載されており、よく工夫されている。
	2	各題材に「表現のヒント」が示されており、表現に工夫を加えたり、発想の幅を広げたりできるよう、よく工夫されている。
	①	
	②	「学びの言葉」では、各界のアーティストの言葉が紹介され、著名人の考えを基にした対話から、学ぶことの目的意識が高まるよう、工夫されている。(1年 p. 2～5)
	③	原寸大の大きさを掲載されている作品があり、造形的な視点を基に作者の心情や表現の意図などを追求できるよう、工夫されている。(2・3上 p. 26～29)
	3	巻末にある「学びを支える資料」では、「鑑賞」と「技法」に分類されて資料がまとめてあり、個々の生徒の理解や探究心に応じた補充的な学習が充実するよう、よく工夫されている。(1年 p. 58～74)(2・3年上 p. 50～64)(2・3年下 p. 48～59)
	4	「アーティストはどうやって作品をつくるんだろう？鈴木康広さん 田中達也さん」「社会に生きる美術の力」「デザインで地域を豊かに」では、実社会で働く様々な職業の人の発想や構想の仕方や、美術との関わりなどの話が紹介されており、生徒自らの考えを広げられるよう、よく工夫されている。(1年 p. 58～59)(2・3年下 p. 5～7、44～45)
	5	「その1枚が心を動かす」では、核廃絶やマナー、観光等についての題材、「使う人の立場で考える」「デザインの力でできること」「暮らしに息づくパブリックアート」では、公共の精神に基づいた題材が取り上げられており、美術を生かした社会参画への関心が高まるよう、とても配慮されている。(2・3年上 p. 42～53)
	6	「あの日を忘れない」では、人間や動物の生死について、実際に起こった災害や戦争をもとに描かれた作品を大きく取り上げ、美術を通して生命の尊さについて考えることができるよう、とても配慮されている。(2・3年下 p. 24～29)
	7	「日本文化との出会い」では、ジャポニスムを通して、日本と西洋双方の表現の違いや共通点を見つけたり、よさを感じ取ったりすることで、日本の文化と他国の文化のどちらも尊重する態度につながるよう、よく工夫されている。(2・3年上 p. 30～31)
8	掲載されている全ての作品に番号が示してあり、日本語や漢字に慣れていない生徒でも分かるよう、とても配慮されている。	
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 1 生徒 2 合計 11)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道具による表現の差を比べられる資料があり、道具を選択する際に役立ちそうだった。 ・ 鑑賞に使いそうなものが多く、その点では教科書をしっかり活用できそうだ。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日本文教出版もすっきりして見やすい。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 絵がリアルでいいと思った。 ・ もう少し色を使っても良いと思う。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書には、学習指導要領の趣旨に則り、造形的な視点を豊かに持ち、社会の中の造形や美術文化と関わる資質・能力の育成を目指して、随所に工夫が見られた。特に、各題材に「表現のヒント」が示されており、表現に工夫を加えたり、発想の幅を広げたりできるよう、よく工夫されている。また、3年間で学ぶ内容や系統性を視覚的に捉え、キャリア形成の視点も見据えて学習に見通しを持って主体的な学びができるよう、よく工夫されている。さらに、全ての題材に「造形的な視点」と「鑑賞の入り口」が示されており、視点を持って構想したり、作品を味わったりすることができるよう、よく工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 12 一般 0 生徒 16 合計 28)
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主題、題材の目標が書かれていてわかりやすい。・ 写真が大きく見やすくてよい。・ 参考作品や技法の写真が詳しく載っていてよかった。取り上げられている作品が、最近のものが多く生徒の関心をひくと感じた。・ 美術分野では、紙媒体の資料では作品の詳細がわかりにくいという問題があった。しかし、新しい教科書どの会社でも、QR コードが掲載されているページが増えた。それを読み込むことで動画の資料を見ることができるため、指導の幅が広がると感じた。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 内容がわかりやすくなってる。有名な人が出てきて学習に興味を持てた。・ 面白そうな内容や有名な作品などが載ってあって勉強したくなるような内容だった。・ 表紙がどれも特徴的で良いと思います。・ 全部面白かった。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	他教科との関連が示されており、教科等横断的な学びができるように、よく工夫されている。(p.18、30、79、135)
	2 ①	「休養・睡眠と健康」の単元では、生徒にとって身近な問題や課題解決についての資料が数多く取り上げられており、自分の生活を見直し改善できるよう、とても配慮されている。(p.25、184、185)
	②	各小単元の「活用する」では、他者に説明したり、他者と話し合ったりする活動が適切にできるよう、工夫されている。(p.17、31、59など)
	③	各小単元の「広げる」や「活用する」では、課題や学習活動が多く設定されており、体育や保健の見方・考え方を働かせて、自分自身や地域の状況を見つめた深い学びができるよう、とても配慮されている。
	3	巻末スキルブックには、保健の技能をはじめ、命や健康を守るために必要な20のスキルが提示してあり、そのスキルを確認できる動画のデジタルコンテンツがいつでも見られるよう、よく工夫されている。(p.177～194)
	4	章の扉には、教科内容に関連したスポーツに関わる職業に従事している方々が豊富に記載してあり、豊かな勤労観を育むよう、よく工夫されている。(p.13、27、55など)
	5	情報モラルに関する指導において、インターネットのトラブルや犯罪を題材として取り上げており、安全な生活に向けた取り組みへの参画意識を高めるよう、工夫されている。(p.187)
	6	「胎児を育てる母体の神秘-胎盤とへその緒-」が掲載されており、生命を尊重する態度を育むよう、工夫されている。(p.50)
7	「感染症」と「スポーツ」の視点から私たちの未来とSDGsについて見つめてあり、持続可能な社会を目指すことで国際協調の精神を養うよう、よく工夫されている。(口絵1)	
8	章末資料の「性の多様性」において、SOGIEという言葉の説明が掲載されており、多様な性との関わりについて知ることによって人権尊重の精神の涵養を図るよう、工夫されている。(p.51)	
教科書展示会等の結果 (学校 10 一般 1 生徒 1 合計 12)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図や写真が1ページ内でも満遍なくあり、見やすい。一つひとの文書も短く、読むのが苦手な生徒も使いやすいと感じた。 現在使っている教科書と内容はほぼ変わりませんが、写真や画像がより丁寧に鮮明になると感じました。視覚的な配慮という面からも、生徒たちがイメージしやすいという面からもいいことだと感じました。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料が大きくなっており、(グラフ、表など)見やすい。文字が少ない。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> イラストがあって分かりやすかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、巻末に健康や安全に関する実習について20のスキルがまとめられており、生徒が見つめやすく、適切な技能を身に付けられるつくりとなっている。さらに、学習指導要領の目標及び内容の達成が十分に図れるよう各小単元が「見つける、学習課題、課題解決、広げる」のステップで分かりやすく構成されており、主体的・対話的で深い学びとなる授業実践ができるよう、よく工夫されている。加えて、Dマークコンテンツの中には豊富な思考ツールがあり、自己の考え方をまとめたり、課題を解決するために活用したりすることができ、「深い学び」が達成できるよう、とても充実している。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
大 日 本 図 書	1	「心肺蘇生法」の単元では、実技の習得が可能となるよう手順ごとの写真や実技のポイントが豊富に掲載されていると共に、二次元コードを活用して動画を見ながら主体的に学習ができるように、よく工夫されている。(p. 106～109)
	2	「休養・睡眠と健康」の単元では、資料が見やすくまとめてあり、自分の課題解決のために主体的に学習に取り組めるよう、工夫されている。(p. 22、23)
	②	各小単元の「話し合ってみよう」では、生徒同士が課題解決のために話し合う時間を多く設定されており、全ての生徒が対話を通して多くの考えに触れることで、自分の考えを深める学習となるよう、とても配慮されている。(p. 19、23、25、33など)
	③	単元「感染症の予防」では、章末資料にインフルエンザウイルスの生存率と環境条件、HIV 感染者の動向などが掲載されており、発展的な学習となるよう、工夫されている。
	3	各小単元においては、「キーワード」での学習内容の振り返りを、各章末においては中学校保健体育 WEB の「まとめの問題」での振り返りができるよう、工夫されている。
	4	トピックスでは、有名メジャーリーガーが夢をかなえるために目標やイメージしてきたことが記載されており、目標を持つことの重要性に気付くよう、工夫されている。(p. 40)
	5	ヘルメット着用努力義務や自転車安全利用五則が掲載されており、安全な生活に向けた取組への参画意識が持てるよう、工夫されている。(p. 92、94)
	6	「生命を生み出す体への成熟」では、器官の働きや説明がイラストで大きく掲載されており、生命や自然を尊重する態度を育むよう、工夫されている。(p. 34～37)
7	日本の伝統的な食文化である「和食」を取り上げて、写真と共に4つの特徴も記載されており、伝統・文化の尊重と郷土愛の育成が図られるよう、工夫されている。(p. 20)	
8	「個性や能力を大切にす」トピックスが掲載されており、性別に関係なく接することの大切さを認識することで人権尊重の精神を育むよう、工夫されている。(p. 38)	
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 0 生徒 4 合計 12)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 単元の右半分のページが全て、【話し合ってみよう・やってみよう】となっており、知識技能を習得した後に、主体的に活動できるような展開がしやすい作りになっていると感じた。 ほかの教科書と比べて本文が少なく資料が多い。話し合いなどを授業の中に入れるならこのくらいの量でもいい。 トピックスや資料が詳しくわかりやすかったりで使いやすそう。 見開きの左のページに文書、右側に図があって使いやすい。しかし、その分、字数が多く感じ、読むのが苦手な生徒には自主的に開きにくいと感じた。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 表紙は普通だったけどとても分かりやすかった。 すごく見やすい。 これがいいと思う。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、本文と資料が1ページずつに分かれており、確実に身に付けたい学習内容は本文の頁にまとめてある。さらに、毎時間の学習活動に「話し合ってみよう」が設定されており、対話を通して課題を解決することができるつくりとなっている。加えて、各小単元の流れを、課題を発見する活動、課題を解決する活動、学習したことを生かす活動と明確に提示されており、主体的に学習に取り組むことができるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
大修館	1	各章末に思考力、判断力、表現力等を育むための活用問題が設けられており、知識・技能を活用する学習活動の充実が図られるよう、とても配慮されている。(p. 14、15、28、29、60、61 など)
	2	「休養・睡眠と健康」の単元では、「早寝早起き」等のキーワードが明示されており、自分の生活の課題解決のヒントになるよう、とても配慮されている。(p. 24、25)
	②	各小単元の「課題をつかむ」では、意見を出し合ったり、グループで話し合ったりする場面や発表をする場面を多くなるよう、工夫されている。(p. 6、8、10、18、20 など)
	③	各単元の「ほり下げる」では、学習したことの説明がされており、学びがさらに広まったり、深まったりするよう、工夫されている。(p. 6、7、10、19、20 など)
	3	各小単元の「学習のまとめ」では、学習過程で身に付けた見方・考え方を確認したり、次の学びにつなげたり、実生活や実社会で活用したりできるよう、とても配慮されている。(p. 23、60、76、98 など)
	4	車椅子の科学者、プロサッカー選手、保健室の先生、制服デザイナー、プロ棋士など、多様な職業を取り上げて記載されており、勤労観を育むと共に、それぞれの職業で気を付けていることなどが取り上げられ、工夫されている。(p. 18、23、31、43 など)
	5	「ヘルメットは命を守る」のコラムや自転車安全利用五則が掲載されており、社会の形成に参画する態度を育むよう、工夫されている。(p. 106)
	6	「けがの防止と応急手当」では、過去の事例を取り上げた「コラム」や多くの資料が掲載されており、生命及び自然を尊重する精神を育むよう、工夫されている。(p. 100～123)
7	世界が目指す社会の在り方の視点から SDGs について見つめていると共に、取組が気候変動への対策とつながることで国際協調の精神ともつながるよう、よく工夫されている。(口絵 7～8、p. 180)	
8	特集資料「性」についての固定的な考え方に気づこうでは、性の多様性が掲載されており、多様性の中で学ぶことの大切さが理解できるよう、よく工夫されている。(p. 42、43)	
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 4 生徒 2 合計 14)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1つ1つのページに資料が多く、文字で理解ではなく画像・イラストの方が頭に残る生徒に優しい教科書だと感じた。 ・ 学習が3ステップで構成され、誰もが授業が流しやすいものである。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中学校保健の教科書を見比べました。大修館は親しみやすいデザイン、分かりやすい見出し文などよく工夫されていると思いました。保体クイズも手軽に使えるコンテンツで良いと思います。 ・ 章末問題が量・質ともに良い。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字が小さくて読みにくかった。 ・ 中身の文字が小さい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、単元の始めや特集資料に多くの写真が配置されており、視覚的に理解しやすい。さらに、巻末に用語解説がまとめられており、生徒が自主的に重要語句を調べたり確認したりすることができる作りとなっている。加えて、特集資料「『性』についての固定的な考え方に気づこう」では、「性的マイノリティ」の人たちが抱える不安や悩みなどの資料を通して、性の多様性が掲載されており、多様性の中で学ぶことの大切さが理解できるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
学 研	1	他教科等との関連や体育分野と保健分野との関連が示されており、それらの系統性やつながりが一覧でまとめられ、教科等横断的な学習に取り組むことができるよう、とても配慮されている。
	2 ①	「休養・睡眠と健康」の単元では、ウォームアップ（課題の発見）で自分の体の症状をチェックすることで自分の健康について課題意識を持つことができ、学習を主体的に取り組めるようにとても配慮されている。(p. 34)
	②	各小単元は「ウォームアップ」「エクササイズ」「学びを生かす」など、協働的に話し合うための活動ができるよう、よく工夫されている。
	③	「感染症とその予防」の単元では、「学びを生かす」や「探究しようよ！」で多くの話題が掲載されており、学んだことをどのようにしていくかを考えたり探究したりすることで日常生活に生かしたり、学習したことをさらに深めたりすることができるよう、とても充実している。(p. 164～166)
	3	各章末に「探究しようよ！」が設定されており、習熟度や興味・関心に応じて学習できるよう、よく工夫されている。(p. 22～24、38～40、66～67、80～82 など)
	4	医療ソーシャルワーカーへのインタビューが詳しく記載されており勤労観を育むよう、工夫されている。(p. 103)
	5	「ヘルメットの着用」や「探究しようよ！」に自転車安全利用五則が掲載されており、安全な生活に向けた取り組みへの参画意識を高めるためにルールやマナーを守ることの重要性に気付くよう、工夫されている。(p. 113、130)
	6	動物由来感染症（ズーノーシス）の話題が取り上げられており、生命や自然を尊重する態度を育むよう、工夫されている。(p. 165)
	7	地球規模の環境問題に対する積極的な行動が SDGs につながるということが、国際協調の精神とつながると分かるよう、工夫されている。(p. 189)
	8	「探究しようよ！」では、性の多様性としてLGBTやSOGIが掲載されており、多様性の中で学ぶことの大切さが理解できるよう、よく工夫されている。(p. 66)
教科書展示会等の結果 (学校 7 一般 1 生徒 2 合計 10)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・とても見やすく、使っている図もわかりやすかった。生徒も理解しやすいと感じた。 ・系統性、教科横断的な学習がしやすい。協働的な学習がしやすい仕掛けが多い。 ・フォントが他社異なり工夫がしてあった。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・UDフォントで見やすい。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・表紙がカッコよかったし分かりやすかった。 ・色をもっとはっきりさせた方がいい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、単元の終わりに「探究しようよ！」という探究的な課題が設定されており、生徒が探究的な学びを経験することができるつくりとなっている。さらに、「コラム」で本文の横に関連事項を掲載しており、生徒の興味・関心を高めることができるつくりとなっている。加えて、他教科等との関連や体育分野と保健分野との関連を示し、それらの系統性やつながりが一覧でまとめられており、教科等横断的な学習に取り組むことができるよう、よく工夫されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 11 一般 0 生徒 5 合計 16)

【学校】

- ・授業の流れやQRコード等による補足などがあり、分かりやすく、使いやすい教科書であると感じた。
- ・写真図が多く、分かりやすかった。
- ・道徳も見ましたが、保健体育は、自然災害の取扱いを中心に見ました。
取扱いの時期は、夏前に扱えるよう、早い時期に持って来てあった方が良かったと思います。また、自然災害の後、救命、救急、怪我の対処が続くように組まれている会社もあり、良かったです。また、心配蘇生が、折り込みの見開きで解説してあったので、どのような手順で行うのか、一目瞭然とても良かったです。
- ・幸田公民館の展示会に参加しました。小学生が教科書を見に来ており、意見を書いていたのが印象的でした。自分が使うかもしれない教科書を自分の目で確かめることもできて、意見も書くことができる貴重な機会だなと感じました。また、一般の方も教科書を見ることができ、社会に開かれた学校に近づく機会だなと思いました。中学校の講師ですが小学校教科書も拝見でき、どのような内容を学んでから戻ってくるのかわかるのでありがたいかったです。
- ・分かりやすくまとめてあった。
- ・どこの教科書も似通ってきていると感じた。資料が多く掲載されている。
- ・資料において、現代の健康課題に関連する内容が記されているため、生徒が身近に健康課題と向き合えると感じた。
- ・保健は体育の中で年間の限られた時数で扱うのに、1時間で進める教科書のページ数が多く、有効に進めるためにしっかり計画を立てて、学習活動を組み立てないといけないと感じた。記入欄の多い教科書は使いにくい気がする。
- ・QRコードが増えていてわかりやすかった。
- ・それぞれの会社で特徴があり、見やすく工夫されているなどと思いました。
- ・文字が少なくなっていたように感じる

【生徒】

- ・たくさんの教材が揃っていてすごいなと思いました。
- ・写真がたくさん使っていてわかりやすかった。表紙がとてもかっこよかった。
- ・いつも使っているのよりも解説などが分かりやすかった。
- ・人を乗せるのではなくイラスト系の表紙がいいと思いました。
- ・一緒に教科でも全部からが一緒じゃないのがすごいなと思いました。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	目次にガイダンス、4 内容 (1～4 編)、統合的な問題解決が縦列で掲載され、各章の文字の大きさや色分けがしてあり、学習内容全体が確認できるよう、よく工夫されている。
	2 ①	技術について考える場面が各内容の最後に示され、技術ガバナンスと技術イノベーションが明確になっており、学んだことを社会の中で生かせるよう、よく工夫されている。
	②	Y チャートを使って立場を分けて話し合い、技術の上手な使い方について多面的に話し合いができ、デジタルコンテンツの質、量ともに、とても充実している。
	③	技術の見方・考え方 (p. 16～19) について漫画で解説され、「技術のめがね」や「最適化の窓」は各編の最初の 4 つの視点と関連付けられており、技術によって生活の最適化を図れるよう、よく工夫されている。
	3	二次元コードからワークシートやシミュレーションなど、試行錯誤できる動的コンテンツが 412 コンテンツ用意され、個別最適な学びや協働的な学びに活用できるよう、とても充実している。
	4	社会で活躍する人物を「すごいぞ！技術」や「技術の匠」として紹介し、ものづくりにおける責任感や倫理観、工夫・創造を伝えるとともに、職業観・勤労観が養われるよう、工夫されている。
	5	情報モラルについてイラストでまとめてあり (p. 212～217)、生徒たちが対話しながらプラス面とマイナス面を考慮し、最適な行動を考えることができるよう、配慮されている。
	6	生物育成の技術の中で動物福祉 (p. 99) の視点と共に、生命倫理についても考えられるように、とても配慮されている。
7	建築に生かされている日本の伝統的な技術 (p. 79, 81) などを多数取り上げ、「伝統文化マーク」を示すことで、日本の伝統のよさに気付き継承できるよう、よく工夫されている。	
8	キーボードの配列について、入力しやすいように色分け (p. 278) されており、視覚的に理解できるよう、配慮されている。	
教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 0 生徒 0 合計 6)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決学習のプロセスのあり方を生徒が主体的に学びとることができるようとても工夫されている。 ・全ページ QR コード付きで、タブレットで見られるコンテンツがたくさんあり、授業などで活用しやすく、生徒の理解を助けてくれると思う。 ・動画等のコンテンツが充実していてよかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、学習指導要領に示された育成すべき資質・能力として、各編の最後に示され、よりよい生活や持続可能な社会を構築し、学んだ技術を生活の中でどう生かしていきたいか意思表示するようになっており、学習指導要領の目標を達成できるよう、とても工夫されている。さらに、技術の見方・考え方について、「技術のめがね」や「最適化の窓」が解説され、各編の学習と関連付けられており、技術によって生活の最適化を図れるよう、とても配慮されている。加えて、身近なものから社会の中の問題に気付き課題を設定する場面では、問題解決の探究とニーズ探究 (社会からの要求)、シーズ探究 (どんな技術を用いて) が示され、何をつくるかではなく、どのような問題をどのように解決するかを探究できるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
教育図書	1	目次にガイダンス、4内容（A～D編）、夢をかなえる技術（統合的な問題解決）を色分けして縦列で並べ、左側に統一テーマが掲げられ、学習内容全体が確認できるよう、よく工夫されている。
	2	技術のプラス面・マイナス面など、多面的に評価し技術の誠実な生かし方を考え持続可能な未来の社会につなげてあり、とても充実している。
	①	各項目のはじめに「見つける」という1コマ漫画（p.16）があり、生徒の「なぜ・どうして」を引き出し、教師と生徒、生徒同士の対話を促しやすいよう、よく工夫されている。
	②	別冊にけがき、切断、穴あけ、折り曲げ作業をする際に、どんな材料をどんな工具を使えば効率的で安全で経済的なのかを考えることができるよう、とても配慮されている。
	③	別冊にけがき、切断、穴あけ、折り曲げ作業をする際に、どんな材料をどんな工具を使えば効率的で安全で経済的なのかを考えることができるよう、とても配慮されている。
	3	巻末に紙のワークシートがついており、二次元コードからは、121のコンテンツがあり、個別最適な学びや協働的な学びに活用できるよう、とても充実している。
	4	社会で活躍する方を「技ビト」（p.22、64、65）と「スゴ技」（p.67）と「先輩からのメッセージ」（p.250、251）として紹介し、職業及び生活との関連を重視し、進路及び勤労を重んずる態度を養うよう、配慮されている。
	5	知的財産や個人を守る権利や法律（p.67）について、市販品のデザインの参考の仕方（p.45）や日本の農業分野の知的財産（p.253）についても紹介されており、生活場面で気付きやすいよう、とても配慮されている。
	6	環境問題を取り上げることで（p.67、133、168、169）、生命尊重や自然保護、環境保全に寄与する態度を養うよう、よく工夫されている。
	7	日本の技術を生かしたものづくりを伝承されている人や事例から（p.29、65、252）、先人の知恵や製品に込められた生産者の思いが伝わるよう、よく工夫されている。
8	車椅子が必要な生徒が安心して花壇の作業ができるような記載がされており（p.6）、誰もが安全に作業できるよう、配慮されている。	
教科書展示会等の結果（学校 4 一般 0 生徒 0 合計 4）		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・別冊がついており、技能の習得のために適宜活用できるよう工夫されている。 ・スキルアシストや計画シートが添付されていて付属品が充実していた。 ・題材例がやや多い。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、「未来のために技術を誠実にいかす」ために、技術のプラス面・マイナス面など、技術を多面的に評価し、技術の誠実な生かし方を考え、持続可能な未来の社会につなげてあり、章末の「やってみよう」では、これから技術とどう向き合っていきたいか意思表示することで、学んだことを社会の中で生かせるよう、よく工夫されている。さらに、技術の見方・考え方については、巻頭にイラストで紹介してあり4つの視点から考えることが大切であること、立場が変われば解決策も異なるなど、最適な解決が考えられるよう、工夫がみられる。加えて、問題解決の流れを考える場面では、4ステップで流れが示され、作品の完成後も「成果を評価」し「原因と修正案を考える」過程や身近な問題解決の前に、別冊のスキルアシストや「プチ問題解決にチャレンジ！」が用意され、容易なものから取り組めるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
開隆堂	1	目次にガイダンス、4 内容 (1~4 編)、統合的な問題解決が縦列で掲載され、各章の文字の大きさや色分けがしてあり、学習内容全体が確認できるよう、よく工夫されている。
	2 ①	章の始めに興味を引きそうな写真や概要、「小学校や他教科とのつながり」が示され、授業の流れを、「学習の目標」「学習課題」「CHECK」の項目で構成されており、自己の学習をつながりながら進めることができるよう、よく工夫されている。
	②	キャラクターの吹き出し (p.28) は、「なぜ、どうして、ポイント」を話してくれ、教師と生徒、生徒同士の対話を促しやすいよう、よく工夫されている。
	③	各内容の問題解決の流れが、「①問題の発見と課題の設定」「②構想・計画」「③製作・制作・育成」「④評価・改善」の順で示され、実習例の中にも技術の見方・考え方が働くよう、よく工夫されている。
	3	技術の見方・考え方と関連付けて問題発見から課題の設定、評価・改善までの実習例が示されており、生徒の課題設定に応じて実習例を参考にできるよう、よく工夫されている。
	4	各編の最後に、「Interview」が掲載され (p.104~105)、中学生へのメッセージや技術に関する職業観・勤労観を育み、将来をイメージしやすいよう、配慮してある。
	5	知的財産の保護と活用 (p.236~239) について、私的利用など具体的な場面の事例を示し、特許制度の解説とともに新たな技術開発を促進できるよう、とても配慮されている。
	6	問題解決の評価・改善では SDGs の実現に向けてどのように関わっていたか、具体的なゴール番号と関連付けて国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うよう、よく工夫されている。
7	伝統的な建築物である姫路城や地域において活用されている「博多曲物」「明治~昭和の学校の机」(p26、31、48) が資料として掲載されており、地域や伝統文化に目を向け大切にすることを育むよう、とても配慮されている。	
8	登場するイラストや写真の男女比に偏りが無いようにしてあり、色覚特性に配慮したカラーユニバーサルデザインが採用されており、文章は、単語が途中で改行されず単語として認識しやすいよう、配慮されている。	
教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 0 生徒 0 合計 5)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 詳しい題材例が掲載されており、免許外の先生でも指導しやすいように工夫されている。 ・ ガイダンスや技術の出口が詳しく丁寧に作成されていた。技術で学ぶことが、社会でどういうところに活かされているかが具体的で、学習意欲が高まる工夫がされていた。 ・ 実習例が豊富で説明が詳しい。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、学習指導要領に示された資質・能力の育成のため、4 内容 (A~D) の最後に「技術を適切に活用するためには」、技術の役割を評価、活用、選択、維持・管理することで、よりよい生活と持続可能な社会の構築に貢献できるよう、配慮されている。さらに、技術の見方・考え方については、巻頭の具体例をもとに最適化について考える場面があり、「Wants、環境、安全、経済」というキーワードで見方・考え方が働くよう、よく工夫されている。加えて、問題解決の流れにおいても、ニーズ (消費者の要求) とシーズ (使用できる技術) やトレードオフが示され、日常生活における状況から問題発見と課題設定ができるようワークシートやキャラクターの発問が用意され、問題解決を目指せるよう、とても充実している。</p>		

【学校】

- ・各出版社とも工夫されていて、旧版から大幅に学びやすくなっているように感じた。
- ・画像が多く掲載されており、視覚的に訴えやすい内容でよかった。
- ・内容が精選され、図が多くなり、生徒が理解しやすい内容であった。
- ・イラストや画像がたくさん活用され、生徒の興味関心をひく教科書ばかりだった。
- ・イラストや図、写真もわかりやすくものになっていた。
- ・見やすくていいと思いました。
- ・全体的に字が大きくなっていた。
- ・社会問題や近代技術を反映されていると感じた。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	生徒の発達段階や興味・関心などの実態を踏まえ、教科書の構成が、自立から共生へ向かうストーリーになるよう系統的に配列されるなど、よく工夫されている。(各編)
	2 ①	各節の始めには、学習の導入として「レッツスタート」を設け、キャラクターの吹き出しを参考に学習課題が設定できるようになっており、学習の見通しを立てられるよう、よく工夫されている。(p. 32、178 など)
	②	各頁の「レッツスタート」や「活動」において、デジタル思考ツールやキャラクターのヒントを活用することで、自分の考えを深めたりクラスの意見をまとめたりすることができるなど、対話的な学びが実現できるよう、よく工夫されている。(p. 25、74、138 など)
	③	住生活の学習では、模擬家族の住空間の使い方について様々な状況を提示し課題解決できる場面が設定されており、より深く理解できるよう、よく工夫されている。(p. 170～171)
	3	布作品の製作の学習では、家庭での実践も促せるようにデジタルコンテンツがとても充実している。シンプルな作り方、工夫を広げるアレンジなど、幅広い難易度の題材が掲載され、生徒の技能に応じた製作ができるよう、よく工夫されている。(p. 142～161)
	4	「プロに聞く」や巻末には、家庭分野の学習内容に関係の深い仕事に就いている方たちを取り上げ、豊かな勤労観を育むよう、よく工夫されている。(p. 37、284～285 など)
	5	地域や社会のために中学生ができることの活動例が示してあり、社会参画に寄与する態度を養うよう、工夫されている。(p. 187、265 など)
	6	デジタルコンテンツの「防災・減災手帳」も掲載されており、家族と一緒に防災対策ができるなど、防災意識を高められるよう、よく工夫されている。(p. 182～185 など)
	7	日本や郷土に昔から伝わる衣食住の例が写真や動画と共に分かりやすく掲載されており、日本の伝統と文化を尊重する態度を育むよう、よく工夫されている。(p. 98～103 など)
	8	家族と家庭生活の学習では、「アニメや漫画などに見る暮らしの例」を挙げ、生徒のプライバシーに関わる内容には深く踏み込み過ぎず、発達段階に応じた提示をすることで、互いを尊重して生きていく力を育むよう、よく工夫されている。(P20、21)
教科書展示会等の結果 (学校 11 一般 1 生徒 0 合計 12)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題設定から振り返りまで、見開き 1 ページの中で完結するように配置されていてわかりやすい内容になっていると思った。資料やイラストも見やすく、洗練されている印象であった。 ・活動がアクティブになるようなものを載せていたり、パフォーマンス課題が漫画を用いられたりしており、子供にもわかりやすくなっていたのが良い。 ・生徒が興味関心を持って主体的に学びやすい教科書だと感じた。生徒の思考の流れにそって教科書が作っており、課題設定や振り返りなどスムーズにできる。動画がたくさんあり、写真もとてもきれいで、学ぶ意欲がますます増すと感じた。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れ 5年→6年、分野→分野のつながりの記載があって良い。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、各編、「知りたいこと、できるようになりたいこと」として題材を通した課題設定から始まり、「生活に生かそう」「まとめよう」として学んだことを生活に生かせるよう、また、自分事として主体的に学ぶことができるよう、よく工夫されている。さらに、生徒が見方・考え方を働かせながら課題解決していくことができるような場面設定もよく工夫されている。加えて、主体的・対話的で深い学びに生徒をいざなう見開き 1 頁の構成や、全体的な紙面構成が生徒の思考の流れに沿うようになっており、細部にわたりよく工夫されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
教育図書	1	「つなぐ、つながる」をテーマに内容が構成され、それぞれの内容を相互に関連させて学ぶことができ、目標を達成できるよう、よく工夫されている。(各編)
	2 ①	各節の始めには、学習の導入として「見つめる」と簡単な活動「見つめてみよう」が設定されており、生活を振り返り、学習の見通しを立てられるよう、工夫されている。(p. 20、26 など)
	②	「考えてみよう」では、実践的・体験的な活動を通じた意見交換を行う活動が設定されており、多面的に考え、考えを広げ深めることができるよう、工夫されている。(p. 139、156 など)
	③	住生活の学習では、模擬家族の住空間の使い方について考える場面が設定されており、生徒が自分の家族と重ねながら、既習事項や生活経験と関連付けて考えられるよう、工夫されている。(p. 206)
	3	デジタルコンテンツによる基礎技能動画が掲載されており、生徒が必要な時に何度でも確認でき、技能を確実に習得できるよう、とても配慮されている。(p. 106～107 など)
	4	「センパイに聞こう!」「メッセージ」では仕事への思いや中学生へ伝えたいことなど、学習内容と仕事が結びついていることを実感できるような内容で、豊かな勤労観を育むよう、とても充実している。(p. 35、197 など)
	5	子どもを支える地域の役割や子ども食堂など、社会的な地域の役割が紹介されており、社会の形成に参画する態度を育むよう、配慮されている。(p. 57、73)
	6	温暖化やプラスチックごみ問題など、環境問題を自分事としてとらえられるような写真や資料を掲載し、自分たちの生活と環境との関わりを具体的に考えられるよう、工夫されている。(p. 258～260)
	7	日本の伝統的な年中行事や衣食住の生活に関わる日本の伝統文化について掲載されており、伝統と文化を尊重し、日本文化を伝承していく態度を養うことができるよう、とても配慮されている。(口絵 3～8、p. 140～147 など)
	8	発達段階をふまえてアニメや漫画、ドラマなどにみる家族の例を提示し、生徒のプライバシーに深く踏み込まず内容を理解できるよう、とても配慮されている。(p. 14～15)
教科書展示会等の結果 (学校 7 一般 0 生徒 1 合計 8)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入、やってみよう、学びをいかそう、まとめ という構成になっており、課題解決学習を意識した工夫がなされていた。少し、資料集のようで、内容が多いと感じる部分もあった。 ・写真がかなり多いが、やや古めかしいという印象。ただ写真が大きくてインパクトがあり、わかりやすい。内容が難しいというか詳しいというか、高校の教科書も教育図書は難しいが、それに近い気がした。でも、中高の系統性はあると思う。問題発見からのプロジェクトの仕方が詳しくて色分けもしてあり、いいと思った。和服について、和服着装など詳しく書かれている。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、3年間を見通すとともに、学びを生活に生かす意識付けとなるよう、人や伝統、社会そして生活と「つなぐ、つながる」をキーワードにして、ガイダンスや導入の部分が工夫されている。さらに、「センパイに聞こう!」「メッセージ」では、学習内容と中学生にとっての未来の生活が結びついていることを実感できる内容で、とても充実している。加えて、「見つめる」「見つめてみよう」「学ぶ」「振り返る」の一連のステップを繰り返すことで、「生活に始まり生活に返す」という家庭分野の本質を理解し、実践力を身に付けるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
開 隆 堂	1	学習指導要領の内容 ABC の順で配列しており、生徒を取り巻く家庭や地域などの学習を踏まえたうえで、衣食住等の学習に取り組めるような配列になっており、目標を達成できるよう、配慮されている。(各内容)
	2 ①	学習の案内役の4人の中学生とキャラクターが登場して、中学生の経験を踏まえた問題の気付きや思考が示されており、生徒が学習の見通しを立てられるよう、工夫されている。(p. 92、198、267 など)
	②	「家庭内事故の備え」では、分かりやすいイラストが掲載されており、イラストをもとに実際に起こりうる場面を想起したり、対策などを話し合う中で新たな視点に気付いたりすることができ、対話的な学びが実現できるよう、工夫されている。(p. 242、243 など)
	③	住生活の学習では、模擬家族の住空間の使い方について課題解決できる場面が設定されており、生活経験と関連付けて考え、より深く理解できるよう、工夫されている。(p. 239)
	3	デジタルコンテンツによる基礎技能動画や食品成分表などのデータベースが掲載されており、必要な時に繰り返し確認し、技能を確実に身に付けることができるよう、とても充実している。(p. 120～123、128～149、178～181)
	4	「性別役割分業」や「ウェルビーイング心身ともに健康に暮らすために～仕事と家庭生活～」では、仕事と家庭生活について生徒が将来について考える場面が設定しており、多様な社会における勤労観・職業観を育むよう、よく工夫されている。(p. 28～29)
	5	中学生が社会の一員として役に立つことができるような事例が紹介されており、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養うよう、工夫されている。(p. 84)
	6	「災害に備えた空間」では、防災に関する事柄には防災マークを印して生徒の意識を高めるとともに、「わたしたちの防災」では平常時からの備え、災害発生時の対応など、防災意識を高められるよう、よく工夫されている。(p. 246～255)
	7	衣食住の内容と関連させた日本の伝統的な文化に関する内容・写真・動画が掲載されており、伝統と文化を尊重する態度を育むよう、とても充実している。(p. 158～165 など)
	8	子どもの人権が尊重されるための権利や制度の紹介、資料が掲載されており、人権尊重の精神の涵養が図られるよう、よく工夫されている。(p. 73～75)
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 1 生徒 0 合計 9)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・家族と家庭生活に重きを置いて構成された教科書だった。見方・考え方の記載があまりないので、子どもたちが意識して取り組めるような工夫がなされるといいかと感じた。 ・制服の補修をしようという雰囲気がある。カラーコーディネートの方やデザイナーのページがあり、これまでの教科書に比べて斬新だと感じた。トモ・コイズミは私も東京オリンピック以来、オーガジーを使った東京コレクションなどを調べていたので、やっと教科書が追いついたという気持ちがあった。長く着るためのシャツの畳み方について書かれていた。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・何かを作るとき(調理・ぬう)の手順が横1列にすっきり書かれていた。応用例が多めだった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、学習指導要領の内容項目の順で配列しており、生徒を取り巻く家庭や地域などの身近な環境の学習を踏まえたうえで、衣食住などの学習に取り組むことができ、学習指導要領の目標を達成できるような系列的な配列に配慮されている。さらに、各頁の「話し合ってみよう」「考えてみよう」「調べてみよう」「やってみよう」により、関心・意欲を持って主体的に調べたり、友達と対話しながら協働的に学んだりすることで、より深く理解できるよう、工夫されている。加えて、家族・家庭生活では多様な人々の暮らしに触れ、考えることで生徒の人権感覚を育むよう、よく配慮されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 16 一般 0 生徒 1 合計 17)

【学校】

- ・問いや課題の設定、振り返りなど生徒の思考に沿った配置、動画 QR コードの多さ、色々と配慮され学びやすい工夫がされていました。
- ・どこの会社も主体的対話的で深い学びが達成できるような配慮がなされた教科書のつくりになっていた。また、紙面構成に対して子どもの思考にそのようなかたちで工夫がなされていた。
- ・生活をよりよくするための実践資料が充実しており工夫されていた。また、課題を設定し、主体的にさまざまな解決方法を考える手立てが示されていた。
- ・問題を解決するための手立てや実践的・体験的な学習を通して、生活をよりよくするための工夫されていた。
- ・デジタル教材がどの教科書会社も充実している。
- ・調理実習例が多く紹介しており、生徒のやってみようという興味関心を高める工夫が感じられる。
- ・その道のプロの話が多数紹介しており、生徒が広い視点で考えられるよう工夫が感じられる。
- ・QR コードを読み込む箇所が多く、工夫が多かった。指導書には一覧があることと思うので、授業中に活用していき、生徒の自主学習に繋げていきたいと思った。
- ・イラストがよりわかりやすくなっている。QR コードが付いていて、動画で確認できるようになっている。
- ・各ページに QR コードが付いていて、そこからさらに色々学ぶことができると思いました。早めに教科書を頂ければ、新しい授業計画を立てられると思いますので、よろしくお願いします。
- ・写真が豊富になっていて見やすかった。また、めやすの量を具体的に示してあり、子どもたちにも見やすいと思った。
- ・写真や資料が豊富で生活に密着しているものが掲載されており、また、生徒の興味を引き出しやすいものとなっている
- ・ミシンの動画内容をさらに詳しいとわかりやすい。安全対策について具体的でわかりやすい。
- ・少しサイズが小さく軽量化されている所が良いと思った。
- ・全体的にカラフルで、絵柄も可愛らしかった。
- ・教科書展示の期間、時間をどうにかできないか。

【生徒】

- ・おおまかには変わってないけど、図の書き方や文字の大きさが違って好みに分かれそう。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	積み上げた知識・技能や各単元との関連性を持たせたパフォーマンス活動が学期末に難易度を上げていく形で設定されるなど、配列がよく工夫されている。(2年 p.9~16 など)
	2	扉には単元のゴール(活動)、2年からは単元を貫く問いも明示され、見通しを持って活動した後、問いに対する自分の考えを表現し、自分の学びを振り返るよう、工夫されている。(3年 p.51~58 など)
	②	相手の原稿を読んで学んだことを生かして自分の原稿を再構築したり、グループで話し合って自分の考えを深めたりするなど、とても配慮されている。(3年 p.16 など)
	③	各パート末には本文の内容に関連して自分の考えを言ったり、ペアで話したりする活動があり、単元末や学期末に「Stage Activity」が設定され、4技能5領域が身に付くよう、とても充実している。(3年 p.32~38、p.137 など)
	3	キーセンテンスに文法としての解説があり、色分けされた「Grammar for Communication」の頁へ誘い、詳細に学べるよう、よく工夫されている。(1年 p.20、28~29 など)
	4	身近な職場体験と重ねた表現や実際生徒が活動する視点で構成されているため、親近感を持って学べるよう、よく工夫されている。(2年 p.29~36 など)
	5	UDや防災・安全面から国際化にも焦点を当て、地域の一員として取るべき行動について考え、社会参画への意識を高められるよう、よく工夫されている。(3年 p.51~58 など)
	6	絶滅危惧種や生命の多様性、自然災害や防災などについて考える題材が取り扱われ、生命や自然を尊重する精神を養うよう、とても充実している。(3年 p.31~38 など)
	7	多国籍文化、発展途上国への寄付やフェアトレード等について取り上げ、地球市民として国を超えて助け合うことを考えるよう、よく工夫されている。(3年 p.77~84 など)
	8	水汲みのために学校へ通えない子供、UD、発展途上国の子供の労働問題等を取り扱い、人権尊重の精神の涵養を図る内容が、とても充実している。(1年 p.91~98 など)
教科書展示会等の結果 (学校 14 一般 1 生徒 7 合計 22)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在のバージョンよりは読む量が減って学びやすくなった。 ・Unitの最初にゴールの活動が示されているのはいい。 <p>【一般】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学2年の英語が、年間通じて、シンガポールへのホームステイで埋まっているのは目からウロコだった。ただ、情勢が変わった場合、説明が大変そう。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に見やすい。 ・教科書は少し小さい方がよい。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、コミュニケーションの目的・場面・状況が明確に設定され、興味・関心を持たせる写真やデジタルコンテンツ、視覚的にとらえる補助教材が豊富にあり、4技能5領域の高度な統合型学習活動も充実している。さらに、学習の見通しと振り返りも明確にポイントがおさえられ、ゴールとしての言語活動も毎単元よく工夫されている。加えて、小学校からの円滑な接続にとても配慮されており、1学期かけて小学校で慣れ親しんだコミュニケーション活動が設定され、文法事項や発音と綴りの関係性等、繰り返し学ぶ配列もよく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
開 隆 堂	1	4技能5領域の統合的なパフォーマンス活動が設定され、発達段階に応じ身の回りのことから社会的な場面へと徐々に難易度が上げられている。スピーチ原稿の書き方等完成までの手順が丁寧でイメージしやすく、とても配慮されている。(1年 p. 44、p. 45～49 など)
	2 ①	各単元の扉には内容に関連するインパクトのある写真と何ができるようになるかが記され、各頁に今の立ち位置を記すイラストがあり、見通しを持って学習するよう、工夫されている。(3年 p. 79～87 など)
	②	グループで協働しておすすめスポットのチラシを作り上げたり、ディスカッションしたりする活動もあり、互いにアドバイスし合ったことをもとに原稿を修正するなど、よく工夫されている。(2年 p. 87～91 など)
	③	総合的な学習の時間などとも関連付けられそうな、レストランにSDGsの取組を提案するというテーマでディスカッションを行う。問題を見いだして解決策を考えるのに適した題材であり、即興的なやり取りを行うなど、充実している。(3年 p. 89～93 など)
	3	3年では発展的な学習として長文の読み物資料が巻末に掲載されている。興味を引く写真や心に訴える内容が充実している。(3年 p. 121～125 など)
	4	発展途上国に貢献した日本人、国内外で活躍する獣医師等の話題を取り上げ、働くことの意義や尊さについて実感できるよう、工夫されている。(2年 p. 19～27 など)
	5	地域のスポーツ大会を考えたり、UDの道具や施設を紹介したり、社会参画や地域の発展に寄与する態度を養えるよう、よく工夫されている。(3年 p. 37、p. 63 など)
	6	様々な国の自然環境、世界自然遺産、海洋プラスチックごみに関する学習を通して、環境保全に寄与する態度を養えるよう、とても充実している。(3年 p. 79～87 など)
	7	フェアトレード、野球を通じた国際貢献、トルコとの友情の話等を通じて、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育むよう、とても充実している。(2年 p. 92～94 など)
	8	パラスポーツ、筆談や手話をする店員、UD等について取り上げられ、共生社会の形成概念と人権尊重の精神を涵養できるよう、よく工夫されている。(3年 p. 29～37 など)
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 0 生徒 5 合計 13)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・基本文が会話体になっているのがいい。場面の中で覚えやすい。 ・言語活動も多く、内容の話題が身近なものでわかりやすかった。 ・教科書の中に書き込むことが出来るスペースが多く、設けてあった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・英語のイラストがいっぱいあっていい。 ・表紙がアニメっぽくて好き。 ・カラフルでやる気がでそうと思った。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、各単元、最小限の対話文を用いた漫画形式で導入され、新出表現の使用場面を生徒がイメージしやすいよう工夫されている。さらに、Small Talkや単元末のReview & Retell、Actionなど、対話的な学習を継続的に行う活動が設定されており、実生活に関連のある豆知識やインパクトのある写真などで、生徒の興味・関心を引いたり学ぶ意欲を高めたりと工夫されている。加えて、特にリーディング教材が読みごたえがあり、読み進めるためのサポートとなるような問いや思考力を育てるような問いなど工夫を凝らしてあり、道徳的心情の醸成にも大いに役立つ心に迫る内容が各学年とても充実している。</p>		

発行	観点	調査結果
三省堂	1	単元末に4技能5領域の言語活動「Goal Activity」、学期末に各技能を統合的に学習する「Project」が設定されており、3年間で系統的に学習しながら英語力を身に付けられるよう、内容がとても充実している。(3年 p. 50～51 など)
	2 ①	最近脚光を浴びているインド映画や生徒にとって身近な漫画・アニメ等が取り上げられており、4コマ漫画を英語に翻訳するなど興味・関心を高められるような内容が豊富で、よく工夫されている。(3年 p. 55～63 など)
	②	各単元末に設定された言語活動では、発表後聞き手が質問したり、ペアで感想やアドバイスを伝え合ったりする場面が設定されており、考えを広げるよう、配慮されている。(2年 p. 22～23 など)
	③	理想のロボット選手権(1年)、観光マップ(2年)、ラジオCM(3年)など、思考力を高めるような「Project」が年間3回ずつ設定されている。見本を参考にしながら思考を整理し、情報を精査して考えを形成するのに適している。(3年 p. 76～77 など)
	3	「For Self-study」で学び方が記されたり、語彙・文法説明や簡単なやりとりなどにイラストが多く使用されたりと、よく工夫されている。(2年 p. 64、p. 96 など)
	4	世界で得た様々な経験を仕事に生かす実在するパン職人の活躍を紹介する題材を通して、勤労感や職業観を育めるよう、よく工夫されている。(2年 p. 27～35 など)
	5	公平性に関する様々な具体例が取り上げられており、身近な社会問題を多面的・多角的な視点で考え、公共の精神を高めるよう、よく工夫されている。(3年 p. 67～73 など)
	6	世界の水事情の題材を基に身の回りの環境問題と解決策について考え、環境保全に寄与する態度を養うよう、工夫されている。(2年 p. 45～53 など)
7	天草の郷土料理であるせんだご汁の非常食を地域の人々と開発した生徒の話から、郷土を愛する心を養うことができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 122～123 など)	
8	キング牧師の公民権運動やアフリカの飢餓、多様性等について取り扱われており、人権尊重の精神を涵養できるよう、よく工夫されている。(3年 p. 78～81 など)	
教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 0 生徒 3 合計 8)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 縦に長すぎる。生徒のバッグに収まりが悪そうだし、机に入るのだろうかと思った。 紙面の配置がわかりにくい。本文以外の欄外にある単語や英文の字が小さいものもあった。 対話の仕方について例示をしていて表現力を高める工夫があった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 一つ一つが大きくて分かりやすい。 自分で考えて書くところが多くていい。 文字が大きくて見やすかった。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、インパクトのある写真やイラストと英語での問い、そして単元の場面やゴールの活動等が扉に掲載され、興味・関心や見通しを持って学習に取り組めるよう、とても工夫されている。さらに、バーチャルサファリツアーやレビュー評価といった今の時代を反映した設定、単元末や学期末には4技能を駆使した高度な言語活動の設定など、充実している。加えて、文法事項を含め、自分で学習するための手立てや補助資料も多く、学び方についても触れてあり、繰り返し学習するための手立てがよく充実している。</p>		

発行	観点	調査結果
教育出版	1	各パート末に「Think(Read) & Try」、単元末に「Task 1.」が設定され、学習した本文の内容を読み返して要約したり、まとめたりする構成になっている。本文の内容を繰り返し活用しながら理解を深め、定着を図るよう、とても配慮されている。(2年 p. 11～18 など)
	2	単元のゴールに対し、到達状況を4段階で振り返る設定がされている。また、実生活に関連した興味・関心を示す内容と4技能習得に向けたコツや視点が明確になる「Tips」が掲載され、家庭学習の意欲付けにもなるよう、工夫されている。(2年 p. 72 など)
	②	単元最初の2パートの活動の最後に「Think & Try」、単元末には「Task 2.」が設定され、自分の考えを書いたり、友達と意見交換したりする設定になっており、自己の考えを広げ深めるよう、工夫されている。(1年 p. 59～67 など)
	③	各単元末の「Task2.」では、知識を相互に関連付けながら思いや考えを少しずつ表現できるように設定されている。また、ディスカッションやディベート等を通して他者の考えを知り、自分の考えを深めることができるよう、工夫されている。(2年「Task」 p. 18 など)
	3	新出文法等を用いた質問と応答例が一覧で掲載されており、英語が苦手な生徒も基本的な会話練習や継続的な活用ができるよう、配慮されている。(1年 p. 108 など)
	4	将来どんな人物になりたいか、自分らしい進路選択とは、なぜ働くのか等が連続で取り上げられ、勤労観・職業観を育めるよう、よく工夫されている。(3年 p. 53～60 など)
	5	SDGs や世界の人々に役立つデザイン等など、世界にも目を向けながら主体的に社会の形成に参画する態度を育むよう、よく工夫されている。(1年 p. 129～136 など)
	6	SDGs、地球温暖化、北海道の野生動物保護、宇宙ゴミ(3年)などの学習を通して、環境保全に寄与する態度を養えるよう、よく工夫されている。(2年 P. 23～30 など)
	7	広島原爆に関わるマンガ、広島に住む中学3年生のスピーチを題材にし、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育めるよう、とても配慮されている。(3年 p. 107～111 など)
	8	ピクトグラム、介助犬、手話の違い、UD、パラリンピック、などが取り上げられ、共生社会について考えを深められるよう、とても充実している。(2年 p. 11～18 など)
教科書展示会等の結果 (学校 7 一般 0 生徒 4 合計 11)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 文法の説明はきちんとしていて、自己表現が促されるような工夫が見られる。 言語活動が少ないと感じた。 絵や要点のまとめ方がおもしろいと感じた。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> イラストが多くて、分かりやすかった。 まとめがわかりやすかった。 色が穏やかで分かりやすい。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、単元で学習した基本的な知識から活用へと本文の内容を繰り返し使用し、振り返りながら身に付けるよう構成されている。さらに、1年生では無理なくスタートできるようなゆとりある活動と教科書に直接書き込めるような工夫があり、小中接続にも配慮されている。加えて、3年生ではまとまった文章を読む教材もストーリーが興味深く、ディスカッションやディベートも丁寧な手順と共に設定されるなど、興味を持って主体的に学べるよう工夫されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
光 村 図 書	1	コミュニケーションの目的・場面・状況と学ぶ必然性が明確に設定されており、様々な文法事項や表現が生き生きと理解できるようなストーリー展開と、できるようになるための4技能5領域の系統的な言語活動が、とても充実している。(3年 p. 19~27 など)
	2 ①	英語を学ぶ目的やICTの生かし方、「英語の学び方ガイド」が記されている。また、3年間連続したストーリー展開と実写ドラマにより、実生活等と内容を重ねながら興味・関心を持って学習を進めるよう、とても配慮されている。(2年 p. 101~109 など)
	②	各パートで積み上げたストーリーとの関連から必然性のある言語活動が単元ゴールで設定されている。伝え方を見直す場面等で自分の考えを広げ、よりよいものへと深める対話的な活動となるよう、よく工夫されている。(2年 p. 19~27 など)
	③	身近なことから社会や未来へ考えを広げたり、他者の考えを聞いたり読んだりして自分の意見を再考する活動がある。興味深い場面設定と多様なものの見方・考え方を伴う言語活動など、深い学びが実現するよう、よく工夫されている。(2年 p. 86~87 など)
	3	基本文に文法の解説があり、「Active Grammar」や巻末資料のページへ誘い、自主学習でも活用しやすいよう、とても配慮されている。(3年 p. 139~143 など)
	4	ピースボランティアやフェアトレードショップオーナーの話など、将来について考えながら、勤労観・職業観を育めるよう、よく工夫されている。(3年 p. 61~69 など)
	5	ボランティアについて考えたり、社会のためにできることを表現する活動を通して、社会の発展に寄与する態度を養うよう、よく工夫されている。(2年 p. 71~79 など)
	6	セヴァン・スズキさんの「伝説のスピーチ」を取り上げ、環境保全に寄与する態度を養えるよう、工夫されている。(3年 p. 92~95 など)
	7	海外の学校生活や、多様な肌色やヒジヤブを含む絵文字の紹介等、異文化理解や国際協調の精神を養うことができるよう、よく工夫されている。(2年 p. 112~115 など)
	8	杉原千畝の伝記、アフリカの女性教育や米国黒人差別問題等が取り扱われ、人権尊重の精神を涵養するよう、とても配慮されている。(3年 p. 40~43 など)
教科書展示会等の結果 (学校 17 一般 0 生徒 5 合計 22)		
<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文が1年からずっと続いているのがよい。生徒も続きを知りたいという思いがモチベーションにつながっている。 リスニングは聞く量が多いが、聞き取るポイントが絞られているので必要な情報だけ聞き取れればよいという態度の育成になる。 これをぜひ採用していただきたい。小学校でも採用されるなら、中学校編で出てくるキャラクターが引き続き出てきているので、中1始めの英語の橋渡しがうまくいきそうである。 <p>【生徒】</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語があって教科書を読もうと思えるし、今まで使ってきた会社の教科書だからよい。 シンプルで分かりやすい。 今まで使っていたのと同じだけれども少し内容も異なっていてまだまだ見ていたいと思いました。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、コミュニケーションの目的や場面、状況と学ぶ必然性が明確にあり、3年間を通じたストーリー性や内容と活動の連続性が重視されているため、登場人物に感情移入しながら興味・関心を持って学習を進められる設定になっている。さらに、4技能5領域の系統的な言語活動が無理なくバランスよく配置されている。加えて、主体的に取り組める手立てや問いかけが随所に設定され、多面的な見方・考え方をしながら深い学びにつながる統合的な学習活動もとても充実している。</p>		

発行	観点	調査結果
啓林館	1	1年 Unit 4 から単元末に4技能5領域のいずれかに特化した言語活動が系統的に配置されている。3つのステップを踏んで最終的には英語で伝えるよう設定されており、よく工夫されている。(2年 p.43 など)
	2	扉でインプット・アウトプットの単元目標が提示され、4段階で振り返る設定になっている。本文の内容に関して興味を持つ文化的な内容が「Notes」で記され、紙面が見やすく学びやすいよう、配慮されている。(1年 p.21～28 など)
	②	「Let's Write」では、ステップを踏んでまとまりのある文章を書く設定になっている。ペアやグループで読み合い、出された意見を参考に修正して再構築する流れがあり、自己の考えを広げ深める対話的な学びができるよう、とても配慮されている。(3年 p.62 など)
	③	各学年統合的な学習「Project」が年間3回設定されており、マッピングで思考を深めたり、ペアやグループで中間振り返りをしてブラッシュアップした後に完成させたりするなど、工夫されている。(2年 p.44～45 など)
	3	自己表現に役立つ「Word Box」が巻末にあり、「英語の学び方」が適宜紹介される等、家庭学習の参考にもなるよう、工夫されている。(3年 p.4 など)
	4	NPO を立ち上げた日本人女性や大谷選手がどう夢を叶えたかなど、夢の実現や生き方について考えを深めることができるよう、よく工夫されている。(3年 p.77～87 など)
	5	エコフレンドリー活動やUD、シンガポールでの道徳政策など様々な話題を取り上げ、社会の発展に寄与する態度を養うよう、よく工夫されている。(3年 p.51～61 など)
	6	被爆樹木アオギリ、佐々木貞子さんや被爆体験の語り部などについて取り上げ、生命を尊重する精神を養うことができるよう、よく工夫されている。(3年 p.17～27 など)
	7	祭りや食文化などが外国と対比する形で紹介され、日本の伝統と文化を尊重するとともに、異文化理解の精神を高められるよう、よく工夫されている。(2年 p.109～118 など)
	8	すべての人のための文化祭をテーマに、ピクトグラムやサイボーグ、点字ブロックやUD など、共生社会への意識が向上するよう、よく工夫されている。(3年 p.51～61 など)
教科書展示会等の結果 (学校 4 一般 0 生徒 3 合計 7)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> レイアウトが少し見づらいつと感じた。 他社の教科書に比べると、イラストがはっきりしない印象がある。 テーマや半分で取り扱う人が新しく生徒は親しみやすいのではないかと思う。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 詳しく書いてある。 シンプルだけど分かりやすくていいと思う。 教科書が少し大きく感じたので少し小さい方が良かったと思いました。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、精選された内容と統一感のある紙面は学びやすさと見やすさがあり、支援を要する生徒にも、とても配慮されている。さらに、基本文習得のための手立てが充実しており、会話文などを聞いたり、ペアやグループでやりとりしたりしながら定着に向けて反復練習し、単元末には4技能5領域のいずれかに特化した言語活動が1年生の途中から系統的に配置されている。加えて、学校生活に関する身近な話題から、国内外の様々な文化や自然、人物等を取り扱った視野を広げる話題まで、興味・関心を高める内容が設定されている。</p>		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 22 一般 2 生徒 13 合計 37)

【学校】

- ・毎年閲覧しているが、内容的に SDGs の視点や自己表現活動の豊富さに感動を覚える。ただ一方でもっとも大事なことは、いかにして教員自身が「それ (=教科書)」を有効活用できるかどうか? である。そう言った意味では、閲覧会のたびにある種の「戦慄」を感じてならない。
- ・読み物教材は、時代に合った新しい話題と歴史的なもの両方を選択してあるので良いと思う。3年間を通してストーリー仕立てになっているので、生徒は登場人物に親しみを感じながら学習できる。学年途中で教科書会社が変わると流れが繋がらなくなるので、できれば3年間同じものがよい。
- ・小学校との接続を意識して作られていると思う。
- ・どの教科書も、言語活動を用いたものが多く、生徒の興味・関心を引くような内容が多かったように思う。新出単語や本文内容の量においては、教科書によっては差があるように感じた
- ・内容がより具体的になっていた分、文字が小さくなっていて感じました。写真が増えていて、より、イメージしやすいものになっていました。使われている英文は、ネイティブの人が使っているような熟語が増えているように感じました。
- ・全体として文法事項の前倒しがさらに進んでいる印象です。過去進行形や There 構文を中1で扱っているものがあり驚きました。
- ・外国語に関しては、デジタル教科書の使い勝手が重要なので、デジタル教科書の展示もしてもらいたかった。
- ・県立図書館に行ってきました。夜7時まで閲覧可能なのがありがたかったです。教職員が勤務終了後に見に行けるような時間設定を他の場所でも短期間でいいので設けていただけたら、もっと現場の声を拾えるだろうになあと考えたことでした。
- ・花園まちづくりセンターの展示会に参加しましたが、夜21時まで開いているので閲覧しやすく助かりました。
- ・協同型学習ができる活動の改善や、SDGs等リーディング教材の題材がより見られた。意図は十分理解できるが、内容の難易度が上がっている上に、協同型学習は時間がかかるため、教科書を終わらせるのが精一杯で、学習進度の遅い生徒がついていけないのかどうか益々心配になった。
- ・教材として適切なもの、と熟慮に熟慮を重ねた結果、差し替えねばならなくなった教科書会社は、本当に気の毒だと思う。どの会社も分かりやすく、楽しんで英語を学んで欲しいという意図が伝わってきた。

【一般】

- ・英語の授業が楽しいです。キャラがいい。
- ・主に英語の教科書を見せていただきました。どの教科書も色やイラストを豊富に使い、プラスαの情報も多く、大人の目としては面白く感じました。しかし中学生の目線で見ると情報量の多さに少し戸惑うかもしれません。難点としてサイズを上げます。机に中でもカバンの中でもはみ出します。ただ「大きい」ではなく、定形サイズでないのはなぜだか知りたいくらい、各社が作っているようすが。

【生徒】

- ・見やすい、まとめのページがあるのが嬉しい、絵もあるのでわかりやすいと思いました。
- ・私は here we go がいいと思いました！理由は内容も今と同じように進んでいくし今まで使っていたので使いやすいと思ったからです！！
- ・絵やイラストが多くて分かりやすかった。
- ・どれも物語が気になるものばかりで面白そう。
- ・表紙のデザインがいい。読みやすい
- ・表紙のデザインが良い。中身がわかりやすくなっている
- ・表紙や中身にイラストをつけて、もっとわかりやすく、興味が湧く教科書にして欲しいです。

発行	観点	調査結果
東京書籍	1	各学年の巻頭に「1年間で学ぶこと」「道徳科とは」「道徳科の授業はこんな時間に」、さらに第1教材の最後に「学習の流れ」が示され、道徳で学ぶことと学び方について計5頁で書かれており、とても充実している。
	2	教材末では、教材文に沿って考える中心発問と教材から離れて自分を見つめて考える設問が示され、教材冒頭に示した学習のテーマに沿った設問となっており、生徒が自分自身の問題として捉えることができるよう、よく工夫されている。(2年 p.124~127)
	②	各学年巻頭の「道徳科の授業はこんな時間に」では、話し合いを通して考えていくモデルが示されており、対話的な学びに向けて、よく工夫されている。(p.4~5)
	③	ポスターやグラフ、漫画などを用いた教材を通して、生徒の想像を広げ、多面的・多角的に価値を捉えることができるよう、よく工夫されている。(2年 p.28~30)
	3	各学年14~18程度のコラム「Plus」には、キャリア教育やソーシャルスキルなど多様な資料があり、学習意欲を喚起することができ、とても充実している。(3年 p.137)
	4	1,2年では、コラムの中で様々な仕事に就く3人の人物を掲載し、二次元コードにはその人物の中学生の頃の夢や夢中だったこと、その先の進路について紹介されており、発達段階に応じた勤労観・職業観が育まれるよう、とても工夫されている。(2年 p.107)
	5	各学年2つ「道徳×情報モラル」を設定している。情報化社会での生き方を考えられる内容となっており、動画も含む多様な教材を通して、分かりやすく学べるよう、よく工夫されている。(2年 p.54~57『いいね』のために?) Plus「それは思いこみでは?」)
	6	子供の自殺件数が多くなる9月に全学年で、「いのちを考える」ユニットが設定され、防災も含めた様々なテーマで生命の尊さを考える教材3つとコラム1つで構成されており、とても配慮されている。(いのちを考える3年 p.65~76など)
	7	郷土の行事や風景、携わる人の写真資料を通して、美しさや誇りを感じることができ、伝統と文化を尊重することに興味・関心を持って考えることができるよう、工夫されている。(1年 p.162~165)
	8	LGBTQ やアンコンシャスバイアス、高齢者、被爆者、障害者の人権など、多様な教材やコラムが掲載されており、人権尊重の態度が養えるよう、とても配慮されている。(1年 p.119など)
教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 4 生徒 0 合計 9)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 付録の学びの振り返り、心情円盤がいい。いじめに関する資料がわかりやすく、ハッとさせられる内容でよかった。 全てに置いてバランスが良かった。見やすい教材が多く、授業する側も楽しく授業ができそうだと感じた。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> 道徳教科書の字が小さいかと思った。文章量も多く、読みの苦手な児童には難しいかと... 東京書籍の道徳の表紙、男生徒、女生徒の絵はかわいいのですが、ジェンダーの観点からはどうなのかなと思いました。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、教材巻頭の学習テーマと教材末の設問「考えよう」「見つめよう」が直結され、さらに二次元コードの充実により、生徒が見通しを持って学びに向かうよう、よく工夫されている。さらに、現代的課題について、多様な教材を用い、生徒が興味・関心を持って主体的に考えることができるような構成となっており、道徳的価値理解が深められるよう、よく工夫されている。加えて、「いのち」「いじめ」について、多面的・多角的な視点からユニットが構成されており、とても充実している。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
教育出版	1	現代的課題について 3 つのユニット(いじめをなくそう、つながり合って生きる、いのちをかがやかせる)で系統的に構成され、巻頭に道徳の学び方や広げ方の紹介を 3 頁で紹介し、とても充実している。(p.4~6)
	2	教材末には、教材冒頭の「問い」につながる「学びの道しるべ」があり、何を、どのように考え、話し合っていくのか、教材内容に沿って考えることができるよう、工夫されている。(2年 p.88~91)
	①	自分の考えを整理したり、他の人の考えと比べたりする言語活動を設定し、対話を通じた学び合いができるよう、工夫されている。(1年 p.96~101)
	②	各教材冒頭のねらいと関連した意識付けの問いに加え、写真、イラスト、グラフ、漫画等、多種多様な資料で教材が構成されており、教材末の「学びの道しるべ」の問いで自分の考えを深めることができるよう、工夫されている。(2年 p.28~33)
	3	防災教育について、熊本地震や東日本大震災など震災関連の教材が掲載され、生徒の防災意識の高揚に向けて、とても充実している。(1年 p.182~185)
	4	宇宙開発、清掃、震災復興、動物飼育などに携わる人たちの姿を教材にしなが、生徒の発達段階に応じた勤労観・職業観を育むことができるよう、よく工夫されている。(2年 p.76~81 など)
	5	情報モラルについて考える教材が各学年に掲載されており、発達段階に応じて考えられるよう、よく工夫されている。(2年 p.66~71「SNS とどうつき合う？」コラム「SNS について考えよう」)
	6	各学年、ユニット「いのちをかがやかせる」を設定されている。自他の生命を尊重し、自分らしく生きることについて考えることができるよう、よく工夫されている。(1年 p.146~149)
	7	郷土料理、伝統芸能に取り組む人物、日本人の心など多様な伝統と文化について考えることができるよう、よく工夫されている。(1年 p.186~189)
	8	障害者の人権、外国人の人権、高齢者の人権、病気を患った人の人権など、多様な人権課題が取り上げられており、人権尊重の精神を育むよう、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校 5 一般 1 生徒 0 合計 6)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートがよかった。わかりやすい絵本のような資料がいい。 ・導入で使える問いが、題材名の所にあるところが良かった。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・人権について深く考えさせるテーマが多く、とても良い。「分身ロボットでかなえたいこと」(2年 P62~)では、様々な環境によって「孤独」のストレスに苦しめられている人を私自身の経験を通して考えられている。重度のしょうがい者の新しい社会参加の方法にも触れ、「その人がそこにいる」状態をつくり、人を誰でも誰かに必要とされたいし、必要としてくれる人がいるかぎり、人は生きていけると一人ひとりが自らと照らし合わせて考えられる。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、巻頭のオリエンテーションでは、生徒の日常生活で直面することが多い問題場面を取り上げ、自分事として考えてみたいという意欲を高めることができるよう、工夫されている。さらに、教材横には、授業の導入場面で活用できる問いが掲載されており、ねらいとする道徳的価値へ意識付けたり、学習テーマを他の人と共有したりする手立てとなり、見通しを持って学習することができるよう、よく工夫されている。加えて、いくつかの指導方法の例が示してあり、特に体験的な学習(役割演技)を生かした話合いの充実が図られるよう、工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
光村図書	1	すべての教材がテーマを持った9つのユニットに分かれ、連続する教材が関わりながらテーマに向かって考えられるようになっている。特に現代的課題の3観点(いじめ、情報モラル、人権)については重点化されており、よく工夫されている。
	2 ①	各学年の第1教材に「道徳の学習を始めよう」、第2教材末に、「道徳で大切にしたいこと」、最終教材で「1年間の学びを振り返ろう」が設定されており、生徒が1年間の学びについて見通しを持ちながら探求することができるよう、よく工夫されている。(p.4~15、3年p.170~173「1年間の学びを振り返ろう」)
	②	「チャレンジ 問いを立てよう」では、教材を基に発達段階に応じたテーマと手順を示し、問いを立てて話し合うことができるよう、よく工夫されている。(1年p.38~39)
	③	理解した内容をもとに自分の生活を振り返ったり、今後の生き方を考えたりすることができるような問いかけがあり、よく工夫されている。(2年p.43~45「『いじり』って」)
	3	「いじめを許さない心について考える」と題して、2つの教材とコラムで構成されたユニットが取り入れ上げられており、いじめ問題について集中的に継続して考えを深めていけるよう、とても配慮されている。(p.36~45)
	4	扱われている写真、特に人の表情がよく、将来への展望を持つことにつながり、キャリア教育の視点からも多様な教材があり、配慮されている(3年p.72~79など)
	5	「社会参画」について、ボランティア活動や消防団、選挙等の教材を通して、主体的に社会に参画しようとする態度を養うよう、よく工夫されている。(2年p.70~73)
	6	生命の尊さについて各学年3つの教材が設定されており、生命について「今ここにいることの不思議」「つながりと関わり」「命に終わりがある」など多面的に考えられ、よく工夫されている。
	7	各学年、発達段階に応じて地域や日本の伝統文化を扱った教材が写真等の豊富や資料とともに掲載されており、生徒が日本の伝統に親しみ、地域に愛着が持てるよう、工夫されている。
	8	「共に生きるために大切なこと」というユニットを設定し、人権に対する知識と考え方について学び、二次元コード等も活用しながら、生徒の人権に対する感性を高め、自身の考えを深めることができるよう、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校5 一般1 生徒1 合計7)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシートがついているのがいい。ソーシャルスキルなどの内容があってよかった。全体的に問いかけが多く、自分自身で問いを生み出す工夫がされていた。 ・色々な手法で考察するやり方が勉強になる。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・考えること、まとめること、広げることに際し、わかりやすくまとめてあり、考えやすく工夫してある。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> ・漫画が多くて楽しく授業を受けれると思いました。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、第1教材では一年間、道徳科で何を学んでいくのか意識化を図り、第2教材では、教材末に「問い」について、どのように考え、学び合いを進めるのかについて、生徒が見通しを持って取り組めるよう、よく工夫されている。さらに、「問い」を基にした対話や体験的な学習のモデルが「チャレンジ」や「まなびをプラス」に具体的に示してあり、「考え、議論する道徳」の土台を育成できるよう、よく工夫されている。</p>		

発行	観点	調査結果
日本文教出版	1	巻頭「道徳科での学びを始めよう！」では学び方について4頁で、添付されたミニ教材を基に、学習過程とともにその方法も吹き出しを使いながら示されている。頁内の二次元コードでは、学び方について動画で説明しており、よく工夫されている。(p.4～7)
	2	各学年の教材冒頭に、4つの視点を表すマーク、学びのキーワード、主な登場人物紹介、二次元コードが載せられている。二次元コードでは、朗読、資料、ワークシート、道具箱(心情メーター、シンキングツール、フリーワークシート)など、学ぶことに興味・関心を持てるよう、教材が配列され、よく工夫されている。
	②	「学びを深めよう」では、多様な学習方法を示し、対話を通して考えることができるよう、工夫されている。(1年 p.89、103、114)
	③	「自分にプラスワン」では、学んだことを生かすための発問が示されており、深い学びの実現ができるよう、工夫されている。(2年 p.70～75)
	3	いじめ防止にむけて、様々な視点から構成されたコラムがあり、きめ細かな指導ができるよう、とても工夫されている。(1年 p.34～35、3年 p.42～43)
	4	コラム「あすへのメッセージ」では教材の登場人物の言葉を掲載しており、多様な価値観や生き方について考えを深められるよう、とても工夫されている。(2年 p.119 コラム「中村哲さんの言葉」)
	5	各学年、情報モラルについての教材とコラムが掲載され、特にコラムの題材が、情報社会の中で、よりよいICT社会の担い手になるための視点となっており、よく工夫されている。(3年 p.60～67「親友と語り合った『孤独の解消』」コラム「AIと情報社会」)
	6	「生命の尊さ」について、教材が各学年3つずつ配列されており、生命及び自然を尊重する態度を育むよう、工夫されている。
	7	熊本地震時に活躍した中学生や熊本城の写真が掲載されており、郷土を愛する心を育むことができるよう、工夫されている。(2年 p.148)
	8	子どもの人権、高齢者の人権、インターネットによる人権侵害、外国人の人権、女性の人権など、多様な人権課題を取り上げ、人権尊重の精神の涵養を図ることができるよう、とても充実している。
教科書展示会等の結果 (学校 8 一般 2 生徒 0 合計 10)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> ・日本文教出版のノートが刷新されていた。自分への振り返りのもとに4、自由欄が付け加えられていた。授業の感想等書き込めるので、使いやすくなった。 ・別冊ノートが書き込み易くいい。最近の漫画やセクシャルマイノリティを扱った資料もあった。 【一般】 <ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートがスッキリしていて自由度が増していた。 ・表紙からLGBTQに配慮がありいいと思います。内容についても現代の状況を幅広くとらえ子ども達によりそって書かれていると思いました。 		
選 定 委 員 会 の 意 見		
<p>本教科書は、「いじめと向き合う」ユニットでは、未然防止を重点的に取り扱い、特に「視野を広げて」ではいじめを構造化し、生徒が主体的に考えを深められるよう、工夫されている。このユニットでは「お互いを大切にするコミュニケーション」も設定され、さらに二次元コードでも相談窓口やワークシートを掲載して、よく工夫されている。さらに、ノートの改良がなされ、各教材に添付されている二次元コードでは教材文も読み込むことができ、学んだことと子供が自己の成長を感じ、生き方につなぐことができるよう、とても配慮されている。</p>		

発行	観点	調査結果
学研	1	現代的課題の⑭観点 (命、多様性、キャリア、いじめ防止、情報モラル、グローバル、環境、安全、健康、伝統文化、家庭連携、スポーツ、法教育、消費者教育)をアイコン化して示し、目標及び内容が達成できるよう、工夫されている。
	2	教材末の「考えよう」は生徒が自己を見つめるきっかけとなる発問が記載され、工夫されている。(2年 p. 42～46)
	②	各学年1～3つ程度「思考ツールで考えよう」が記載されており、直線上やPMI表に自分の考えを整理した後、話し合う活動を取り入れていて、自分の考えを基にした対話ができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 117、2年 p. 111)
	③	「考えよう」では、教材を基に既存の考えを問い直す設問がある。自己を見つめ考えることができるよう、工夫がみられる。(2年 p. 24～27)
	3	二次元コードをタブレット端末で読み込むと、教材に関連した多様な資料が見られるようになっており、補充的・発展的学習に活用できるよう、工夫されている。
	4	各学年、「未来に向かって」としてユニット化され、世界を舞台に活躍する人とそれを支えながら活躍する人々を教材で連続して配置されており、勤労観や職業観を広げ、自己の生き方を見つめることができるよう、とても工夫されている。(1年 p. 140～149「イチローの軌跡」「認められたクラブ」)
	5	コラムに熊本北高の写真や熊本市の大西一史市長のツイッターの書き込みの内容が掲載されており、SNSの課題だけではなく利点についても取り上げ、活用する人間としての責任について実感をともなって考えることができるよう、工夫されている。(2年 p. 47)
	6	各学年「いのち」を最重点テーマとして取り上げ、3つの教材が掲載されており、発達段階に応じ、多面的・多角的に捉えることができるよう、とても配慮されている。
	7	連続した教材で、日本文化に魅せられた外国人と日本人の姿を掲載し、生徒が伝統と文化の尊重や国を愛する態度について、多面的・多角的に考えることができるよう、よく工夫されている。(1年 p. 132～135)
	8	インターネットによる人権侵害、女性の人権、外国人の人権、障害者の人権、高齢者の人権など、直接的、間接的に幅広く人権課題について考え、人権尊重の精神の涵養に向けて考えを深められるよう、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校 6 一般 0 生徒 2 合計 8)		
【学校】 <ul style="list-style-type: none"> 教科書に直接書き込めていい。SNSの事例が分かりやすいイラストでいい。ローランドや渡辺直美など最近の芸能人が扱われていて生徒の興味をひき易い。 「深めよう」にさまざまな思考の方法があり、面白かった。 【生徒】 <ul style="list-style-type: none"> 全体的に読みやすく、色合いもよく、ストーリー性もあった。 文章のしたくらの場所は何関係があるのマークがあるからわかりやすいと思いました。 		
選定委員会の意見		
<p>本教科書は、ユニットの内容項目を異なるもので構成するなどの工夫が見られ、一つのテーマについて、多面的・多角的に捉えることができるよう、配慮されている。さらに、教材末の「深めよう」では問題解決的な学習展開が丁寧に例示され、「考え議論する道徳」の実現に向けた多様な指導ができるよう、工夫がみられる。加えて、キャリア教育の視点から考える教材について、生徒が身近に感じることができる人や職業を示し、表舞台に立つ人と裏方で支える人と両方の立場が連続した教材で掲載され、とても工夫されている。</p>		

発行	観点	調 査 結 果
あ か つ き 教 育 図 書	1	現代的課題について系統的に配置され、1年で3つ、2、3年で4つのユニット(いじめ防止、情報モラル、キャリア形成、共生社会)が生まれ、目標及び内容が達成できるよう、とても配慮されている。
	2 ①	教材末には、教材に合わせ、2つ発問が設定されている。また「自分との対話」という設問も示され、教材での学びを踏まえて、自分自身や価値について問い直すことができるよう、工夫がみられる。(2年 p.148～153)
	②	各学年に設定されている「マイ・プラス」では、問いを立てた話し合い活動を通して、自分の考えを深めることができるよう、工夫がみられる。(2年 p.94～95)
	③	教材末の「自己との対話」は、自分の生き方につながる発問となっており、自分自身の問題として考えさせるよう、工夫されている。(2年 p.30～33)
	3	各学年6～8つ程度、コラム「Thinking」が掲載されており、教材で学んだことを深めたり、広げたり、生徒の実態に応じて補充したりすることができるよう、工夫がみられる。
	4	2年「加奈子の職場体験」では、本市のナイストライ(職場体験)と関連付けることができ、勤労観や職業観について実感を伴って学ぶことができるよう、よく工夫されている。(2年 p.60～63)
	5	「社会参画」について、1年は中学生によるボランティア、3年はごみをなくす町の取組を通して、主体的に社会を形成しようとする態度を育めるよう、工夫がみられる。(1年 p.72～77、3年 p.134～139)
	6	「生命の尊さ」については各学年3つの教材が掲載されている。特に3年ではさらにコラムが2つ掲載されており、発達段階に応じて、系統立てて教材を配列するなど、生命及び自然を尊重する態度を育むよう、配慮されている。
	7	中学生の作文、慈善活動、史実などの教材が取り上げられており、多面的・多角的に考え、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育むよう、とても配慮されている。(1年 p.144～149「国際協力ってどういうこと?」)
	8	コラムにおいて、ベビーカー問題や貧困問題を取り上げ、身近な人権問題の内容も多数含んでおり、人権尊重の精神の涵養を図るよう、とても配慮されている。
教科書展示会等の結果 (学校6 一般1 生徒0 合計7)		
【学校】 ・資料の長さが短めのものが多くよかったです。 ・羽生選手や大谷選手など、生徒の関心をひく題材が多い。4コマ漫画などもわかりやすくよかったです。学習の記録のワークシートがついているのも良い。 【一般】 ・「日本と中国への祖国愛がすばらしい」として教える教材として載せられた教材ならば、あまりにも子どもたちの思考や理解力を低く見過ぎていないか。外国の人たちとの共生の時代を迎えつつある日本において、帰化していないというだけで、日々日本での生活を営んでいる人々が政治と全く関係なく生きねばならぬことは王貞治だけでなく多くの在日外国人の問題である。この教材でそのようなことも含めて学習できるのならばいいのであるが。		
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、巻頭のオリエンテーションで道徳科の時間で考えることを3つ説明し、第1教材を使って学び方を示しており、道徳科の目標及び内容の達成と、年間を通した学びが主体的に学習に取り組めるよう、工夫されている。さらに、「考え方」を大切にした発問を示し、道徳的課題について自分事として考えることができるよう、工夫されている。加えて、情報モラルに関して、生徒の実態に合った教材が掲載されており、道徳科の学びと自分の生活をつなげて学べるよう、工夫されている。		

発行	観点	調 査 結 果
日本教科書	1	教材を学習指導要領の内容項目順に配置し、各学校の年間指導計画に関連付けた教材の配列を工夫することができるよう、配慮がみられる。
	2 ①	教材冒頭に、4つの視点を表すマークと内容項目の番号、ウェルビーイングカード、教材によっては二次元コード(各学年7~14個)が載せられている。二次元コードでは、理解の補充発展に活用できる資料や動画など、学ぶことに興味・関心が持てるよう、工夫がみられる。
	②	巻頭で「ウェルビーイングカード」の紹介と活用の仕方が示され、巻末のカードを使い、自分の意見を伝えたり、共有したりしながら対話が活発になるよう、工夫されている。(p.6)
	③	巻頭には視点別内容項目順のほかにテーマを示し、発達段階に応じて取り組み、問いを基に自己の生き方についての考えが深まるよう、工夫されている。(p.2~3、2年 p.155「いつかは言いたい二度目のごめん」)
	3	各学年、いじめ問題について、学校生活の場面を中心に、直接的に扱う教材と間接的に扱う教材の二種類を配置しており、多面的・多角的に考えることができるよう、工夫されている。
	4	先人の伝記だけではなく、現在各方面で活躍する人の生き方から、やりがいや目標、希望の実現など、主体的に将来について考えることができるよう、工夫されている。(3年 p.54~57「五つの誓い」)
	5	情報モラルに関して、生成AIとの関わり方などから、生徒自身がネット社会にどう生き抜いていくかを考えることができるよう、よく工夫されている。(2年 p.12~15「AIさんは僕の助っ人」)
	6	「生命の尊さ」について、各学年2~3つの教材が掲載されている。発達段階に応じて、系統立てて教材を配列するなど、「生命の尊厳」について考えを深め、人間だけでなく生物の命を尊重する態度を育むよう、配慮されている。(1年 p.132~135「どうにかできない? ~ペットの殺処分~」)
7	文化や習慣の違いを認め合いながら、共に生きることの大切さを考えさせる教材が取り上げられ、国際社会に寄与する態度を育むよう、配慮されている。(1年 p.69~72)	
8	共生社会について、身近な人権問題の内容を多数含んでおり、多様性の中で学ぶことの大切さが理解できるよう、よく工夫されている。(2年 p.76~79)	
		教科書展示会等の結果 (学校3 一般0 生徒0 合計3)
		【学校】 ・ウェルビーイングカードの取り扱いが斬新だと感じた。 ・ウェルビーイング使っている授業を見てみたい。動画教材もついているのがすごい。
選 定 委 員 会 の 意 見		
本教科書は、巻頭のオリエンテーションでは、道徳科の目標及び内容の達成を図るため、4つの視点に基づき、内容項目順に教材を配置し、学校の実態に応じて指導計画を立てたり、創意工夫をしたりできるように、配慮されている。さらに、情報モラルに関して、発達段階に応じて主体的に学べるように教材が配置されており、道徳の学びと自分の生活が繋がられるよう、工夫されている。		

教科書展示会の全体的な意見 (学校 14 一般 5 生徒 7 合計 26)

【学校】

- ・特支学級で使う教科書を参考にしました。種類が豊富で迷いましたが、個に合う教科書は必要だと思います。
- ・取り扱われている教材については、長い間読み継がれているものもあれば、最近話題となっている人物や課題に注目しているものもあった。時代背景等子どもたちの感覚では想像しにくいものもあるので、時代に合わせて変えていく必要があると思う。道徳ノートがあったのは日本文教出版だけだった。毎週ワークシートを印刷することを考えると、柔軟に使える道徳ノートは働き方改革のうえでもあった方がいいと思う。
- ・長文の題材が減り、写真や図が多くなり、内容を理解しやすくなっている。そのため、子どもたちが登場人物などの心を考え、自分ならどうするかをイメージしやすくなっている。
- ・生徒が理解し易い内容(考え易いイラストや図など)や最近の有名人の資料があって、生徒の興味、関心を引く内容が多くなっていた。読み物資料の内容が、アニメーションや動画になったものがあるとありがたいです。
- ・教科書会社ごとに教材や問いなどに特徴があり面白かった。色々な教科書会社の資料を使って、オリジナルの教科書ができればいいと思いました。
- ・どの教科書も見やすく読みやすい工夫がされて入り、考えやすくなっていると感じた。(文章を内容ごとに区切ったり、写真やイラストを多く載せていたり)
- ・内容が自分ごととして考えやすい内容(身近な内容, 教室で起こりそうなこと)が多いと感じた。
- ・いろいろと工夫がある面、魅力が感じられない教材も多く見られた。いっその教科書会社の努力を期待する。
- ・道徳の学び方がわかりやすく示されていたり、対話を促したり、動作化を具体的に示したりなど、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がなされていました。表紙の絵や挿絵に、多様性の尊重が感じられるものが多く、時代を反映していると感じました。
- ・一つ一つの教材に、内容項目(それだけでなく考える方向性など)書いてあり、はじめっから子どもの思考を広げにくい。

【一般】

- ・道徳の教科書は各社工夫されていて良いと思いました。しかし、有名人を使いすぎていて道徳本来の内容から少し離れてしまっているように感じました。
- ・1社だけノートがあり、使い勝手は良いのではないかと思います。
- ・QRコードはどの出版社も工夫されていて便利で良いと思います。
- ・「道徳」が正教科になって7年、最初のころに比べると内容は変わって来ているように見えるがどうしても表面的な理解、思考に留まっているように思える。水原を扱おうとした会社もそうだが、偉人伝のような物はその人の全面的なとらえ方をすれば今の時代には合わないものもある。(マザーテレサが中絶を最大の罰とした事等・・・)
- ・道徳の教科書を中心に目を通しました。挨拶だったり、友情だったり、偉人伝のような文章だったり、「心のありよう」を「教科書」で教える事に違和感を持ちました。特別な考えを押しつけたり、まだ発達途上の中学生に「こうあるべき」だと教える事は酷な事で教師にとっても負担の大きな事だと思います。「道徳」の正教科には反対です。

【生徒】

- ・色々な種類があって面白い
- ・文字が小さいものがあつたりしたがとても見やすい
- ・道徳っぽい教科書だな～
- ・内容が良かったから
- ・表紙をパッと見てどんな教科かすぐわかるのでいいなあと思いました。

